# 平成２８年度
# 多摩区区民意識アンケート調査
# 報 告 書

平成２９年３月

川崎市多摩区

# 目　次


**Ⅰ．調査概要** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

１ 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

２ 調査の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

３ 主要な調査項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

４ 回収状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

５ 図表の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

６ 数の表現 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

７ 標本誤差 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

**Ⅱ．調査回答者の属性** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

１ 問23 性別 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

２ 問24 年齢 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

３ 問25 職業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

４ 問25-1 業種・職務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

５ 問26 通勤先／通学先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

６ 問27 居住地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

７ 問28 住居形態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

８ 問29 世帯人数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

９ 問29 同居家族・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

１０ 問30 子どもの年代 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

１１ 問31 最寄り駅までの交通手段・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

１２ 問32 居住年数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

１３ 問33 区の知らせや情報の入手手段 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

**Ⅲ．調査結果** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

１ 多摩区の長所・魅力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

２ 住みやすさ　 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

３ 定住意向　 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

４ 区外転居意向の理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

５ 多摩区に対する愛着や誇り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

６ 多摩区の生活環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

７ 市政についてよくやっていると思うもの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

８ 市政について今後特に力を入れてほしいもの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

９ 市の施策や事業の総合満足度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

１０ 地域活動の状況　 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48

１１ 行っている地域活動の分野 …… 51
１２ 地域活動を行っていない理由 …… 53
１３ 地域活動を始めるために必要な機会や場 …… 55
１４ 地域活動への取り組み意向 …… 57
１５ 地域活動への関心分野 …… 59
１６ 町内会・自治会への加入状況 …… 61
１７ 町内会・自治会に加入していない理由 …… 64
１８ 区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの …… 66
１９ 多摩区の見どころ …… 68
２０ 「ピクニックタウン多摩区」の認知状況 …… 70
２１ 「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて必要な取組 …… 72
２２ 「地域包括ケアシステム」の認知状況 …… 74
２３ 「地域包括ケアシステム」で取り組むべき分野 …… 76
２４ 近所付き合いの程度 …… 79
２５ 近所に手助けを頼める人の有無 …… 81
２６ 地域の健康づくり活動への参加経験と参加意向 …… 83
２７ 「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向 …… 86
２８ 知っている３大学関連イベント …… 89
２９ 区役所が力をいれて取り組むべき施策 …… 92

**Ⅳ．調査票** …… 99

# Ⅰ. 調 査 概 要

# Ⅰ．調　査　概　要

## １．　調査の目的

区民が日頃多摩区について感じていることや、区民の地域活動に関する意識、多摩区役所が推進する主な取組に関する意識、さらには、区役所が力を入れて取り組むべき施策などを調査することで、多摩区役所が区民に身近な総合行政機関として、地域の問題解決や、地域の魅力を活かした取組を効果的に推進していくための参考とすることを目的とした。

## ２．　調査の方法

（１）　調査の対象者　　·····　多摩区在住の１８歳以上の男女個人（外国人を含む）

（２）　標本数　　·····　２，０００ サンプル

（３）　標本抽出方法　　·····　住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出

（４）　調査方法　　·····　郵送法（郵送配布・郵送回収）

（５）　調査期間　　·····　平成28年10月15日（土）～11月21日（月）

（６）　調査委託機関　　·····　株式会社　綜 合 企 画

## ３．　主要な調査項目

（１）　生活環境の満足度について

（２）　市政への参加、地域でのボランティア活動などについて

（３）　区役所が推進する主な取組について

## ４．　回収状況

（１）　標　　本　　数　：　2,000 票

（２）　無 効 回 答 数　：　2 票

（３）　有 効 回 答 数　：　817 票

（４）　有 効 回 収 率　：　40.9％

## ５．　図表の見方

（１）　表中のｎは回答者総数のことである。いくつでも○（複数回答）などの場合は回答が２つ以上ありうる。したがって、合計比は100％を超える。

（２）　百分比はＮを100％として算出し、図表中では原則として単純集計については小数第２位を四捨五入して第１位まで、その他のクロス集計については小数第１位を四捨五入して整数としたものを使用した。このため、百分比の合計が100%に満たない、又は上回る場合がある。

## ６． 数の表現

Ｎ＝調査対象者数

n ＝各質問ごとの回答者数

## ７． 標本誤差

（１）各項目のはじめに質問項目と共に示してある単純集計のｎは、回答者数のことである。質問に対する回答は、1つの場合や2つ以上、いくつでもよい場合(複数回答)などがあるが、複数回答の場合、合計比は100％を超えることがある。

（２）百分比はｎを100%として算出し、本文及び図表中では原則として小数第２位を四捨五入して小数第１位まで示した（経年推移では、小数第１位を四捨五入して整数で表示）。図表中の「0」または「0.0」は四捨五入の結果を示し、「－」は皆無の結果を示している。このため、百分比の合計が100％に満たない、あるいは上回る場合がある。また、２つ以上の選択肢の合計値が、グラフと文中との間で誤差が生じる場合もある。

（３）標本誤差

この調査の標本誤差（サンプル誤差）はおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数（ｎ）、及び②回答の比率（P）によって異なる。

$$b = 2\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差（単純無作為抽出の場合）
N = 母集団数
n = 比率算出の基数（サンプル数）
P = 回答の比率

40.9％

| 回答の比率 / 基数(n) | 10%または 90%前後 | 20%または 80%前後 | 30%または 70%前後 | 40%または 60%前後 | 50%前後 |
|---|---|---|---|---|---|
| 817 | ±2.1 | ±2.8 | ±3.2 | ±3.4 | ±3.5 |
| 674 | ±2.2 | ±3.0 | ±3.4 | ±3.6 | ±3.7 |
| 646 | ±2.3 | ±3.1 | ±3.6 | ±3.8 | ±3.9 |
| 520 | ±2.6 | ±3.5 | ±4.0 | ±4.3 | ±4.4 |
| 481 | ±2.8 | ±3.7 | ±4.2 | ±4.5 | ±4.6 |
| 281 | ±3.3 | ±4.3 | ±5.0 | ±5.3 | ±5.4 |
| 158 | ±3.9 | ±5.1 | ±5.9 | ±6.3 | ±6.4 |
| 86 | ±5.9 | ±7.8 | ±9.0 | ±9.6 | ±9.8 |

注） １．上表は $\frac{N-n}{N-1} \fallingdotseq 1$ として算出した。

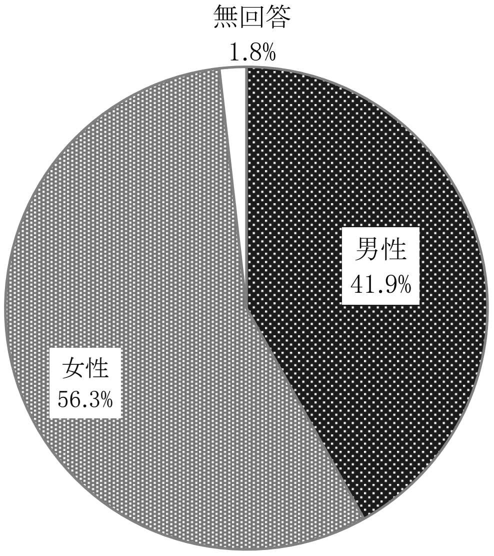
２．この表は、ある設問の回答者数が817人でありその設問中の選択肢の回答比率が60％であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±3.4％以内ということを表わす。

# Ⅱ．調査回答者の属性

# Ⅱ. 調 査 回 答 者 の 属 性

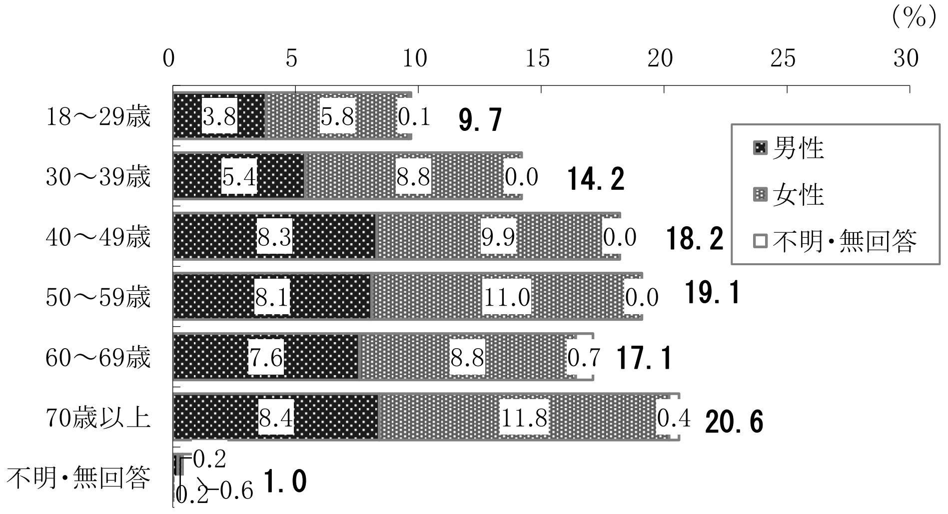
## 問23　性別

（N=817）



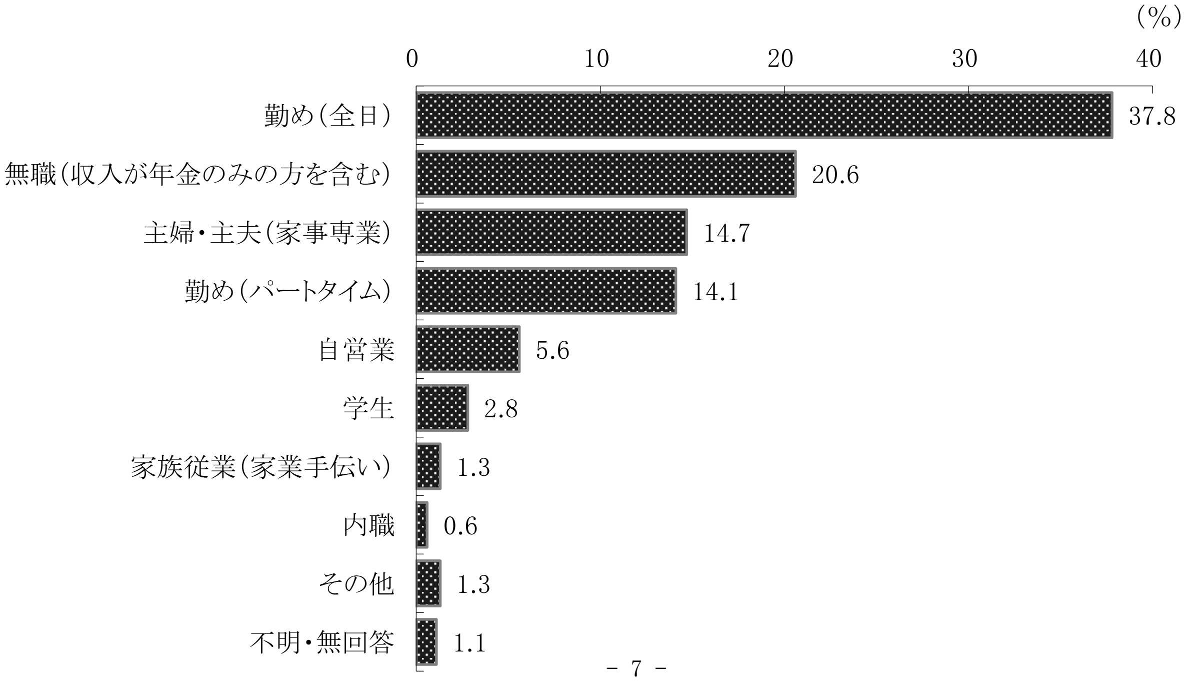

## 問24　年齢

（N=817）



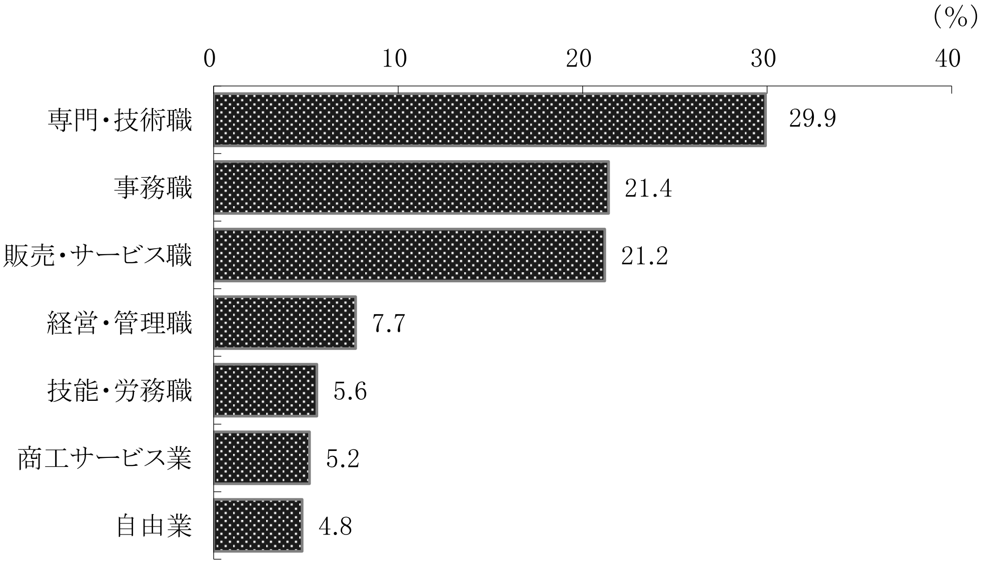

## 問25　職業

（N=817）



**問25-1　業種・職務**

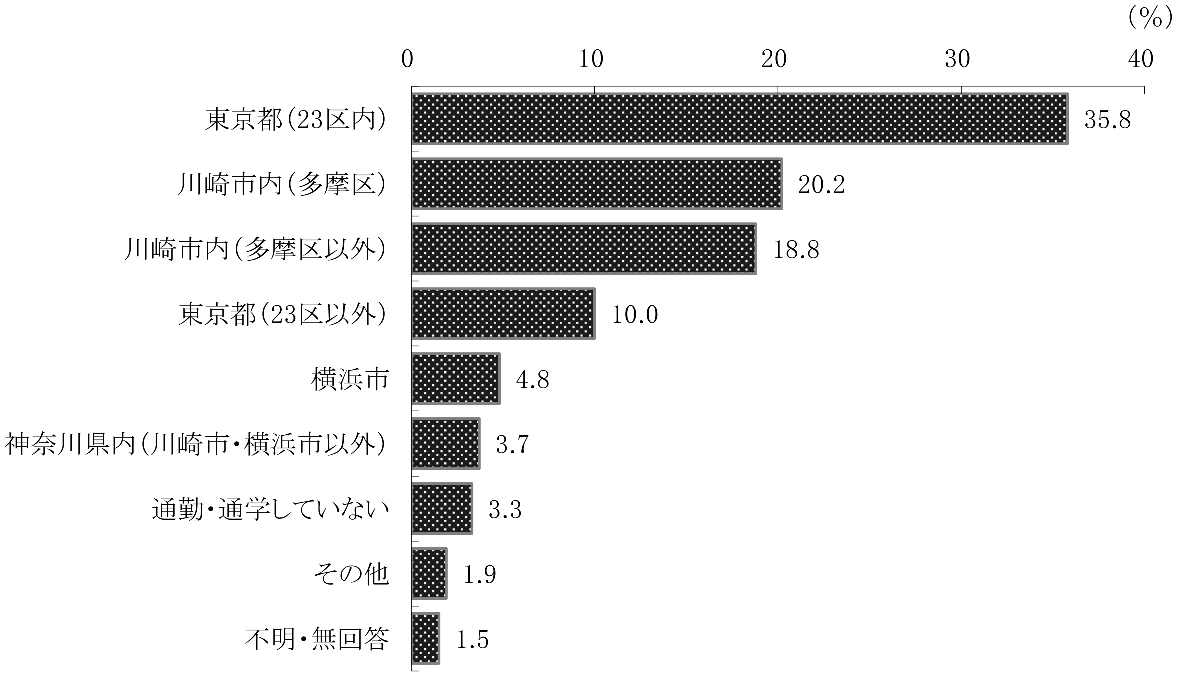
（N=481）




※ 問25で「1.自営業」、「2.家族従業（家業手伝い）」、「3.勤め（全日）」、「4.勤め（パートタイム）」と選択した人のみ回答。

**問26　　通勤先／通学先**

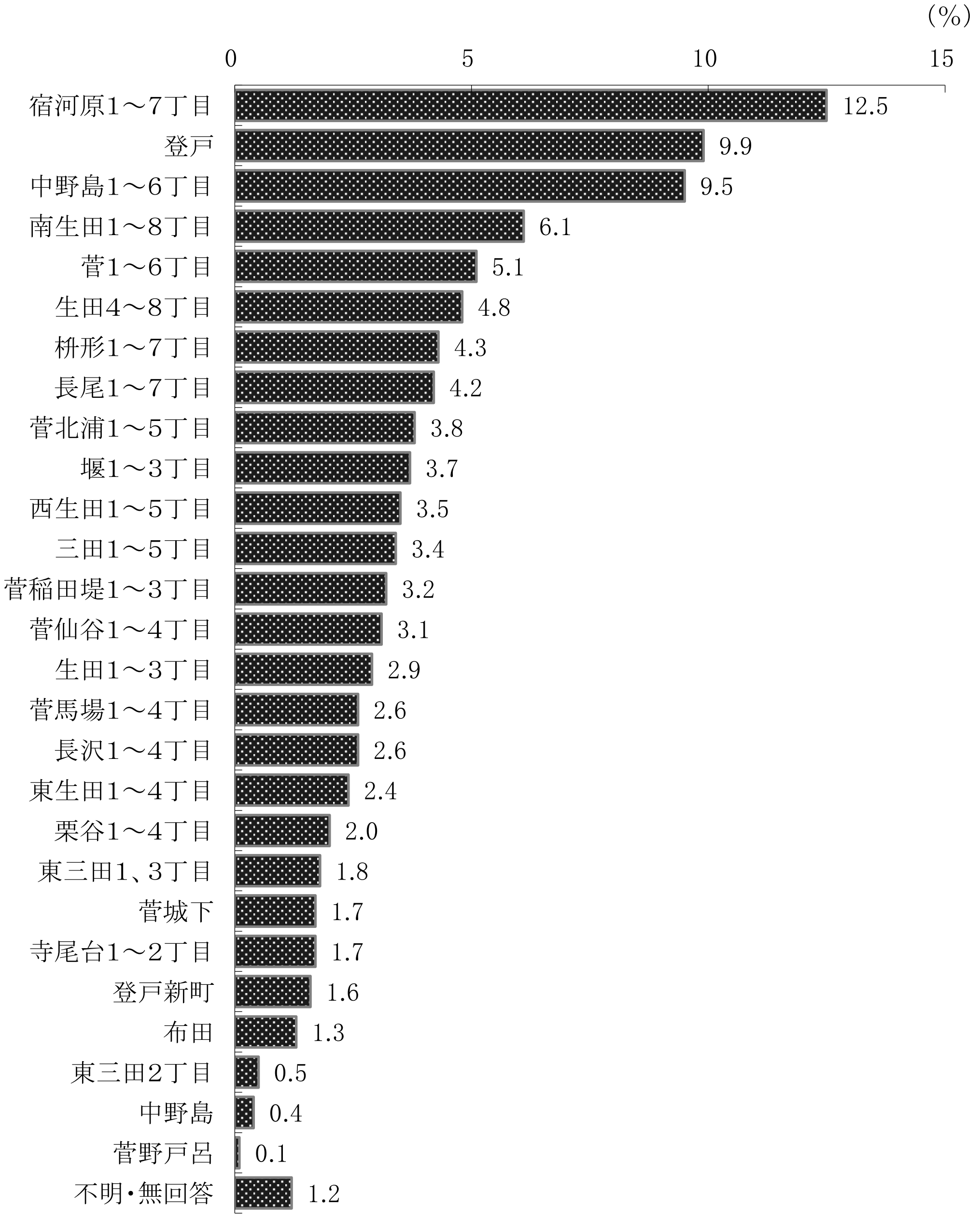
（N=520）




※ 問25で「6.主婦・主夫（家業専業）」、「8.無職（収入が年金のみの方を含む）」、「不明・無回答」であった人を除いて集計。

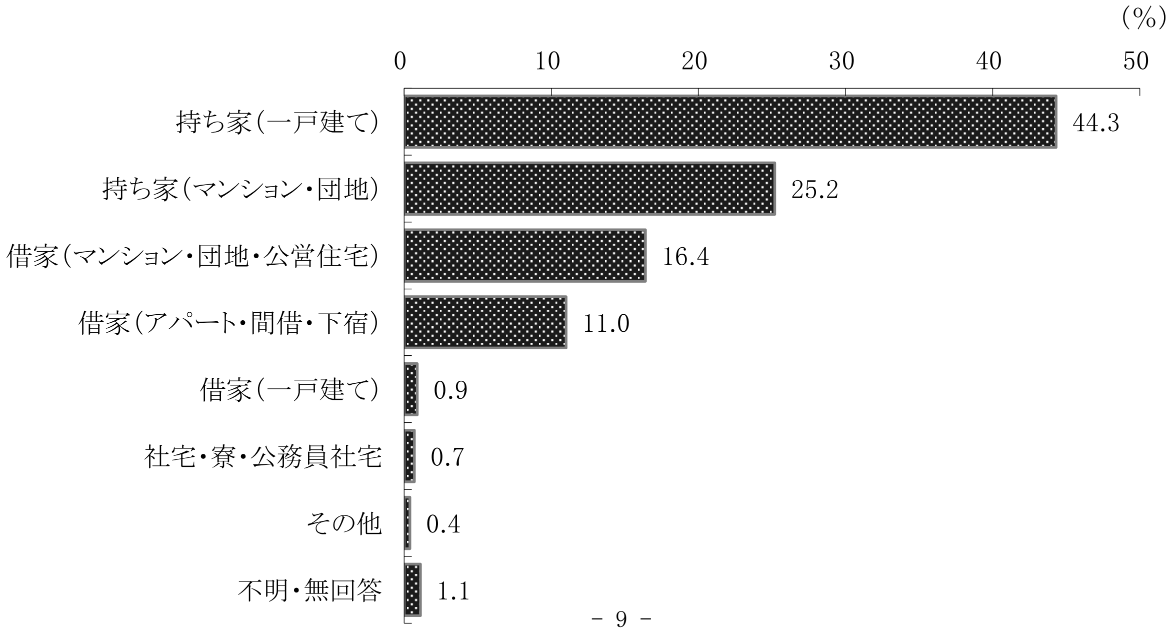
## 問27　居住地

（N=817）



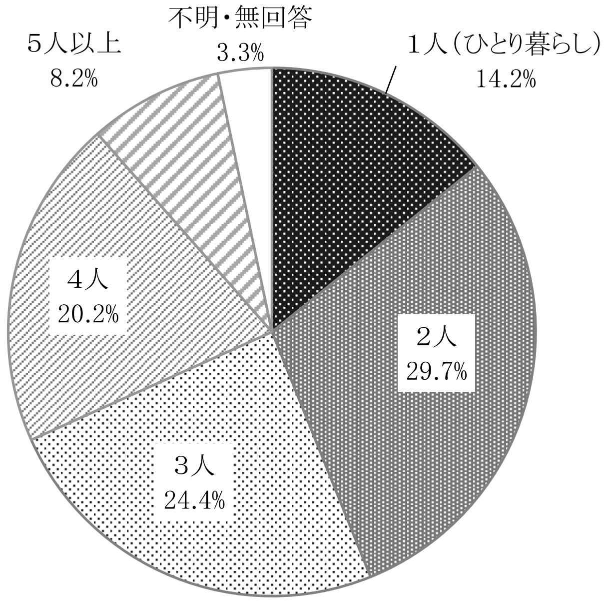

## 問28　住居形態

（N=817）



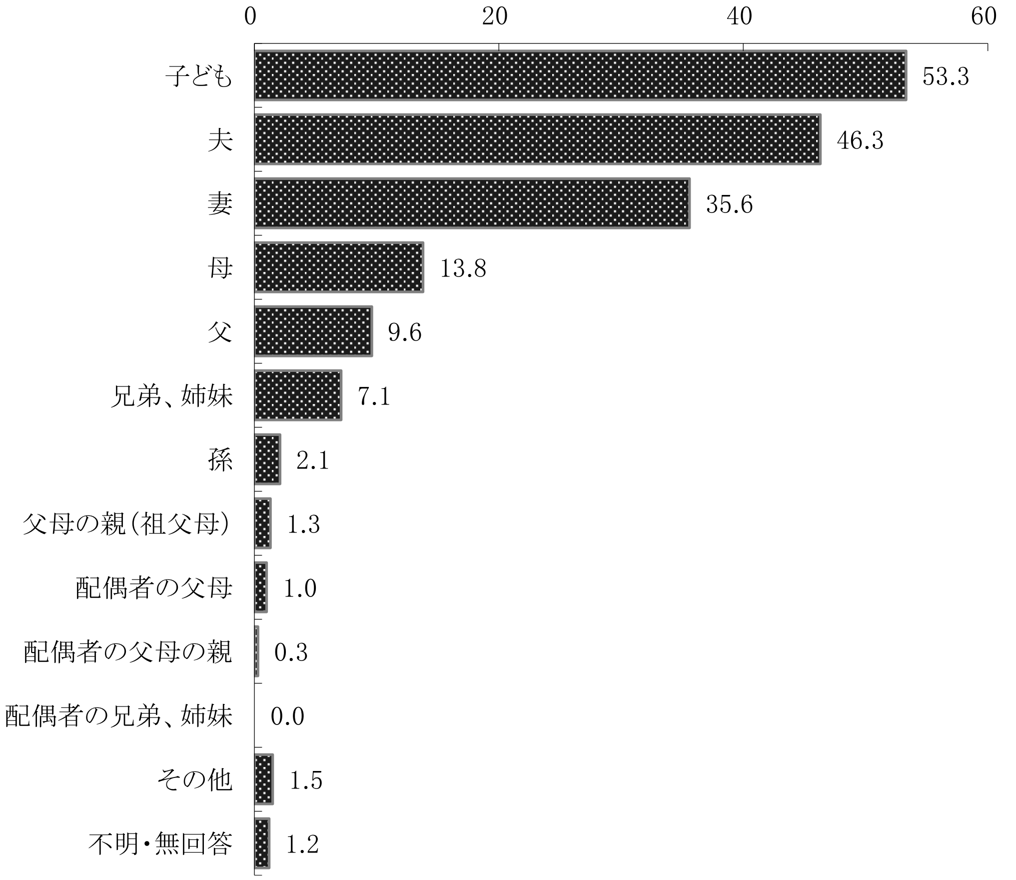
## 問29　世帯人数

（N=817）



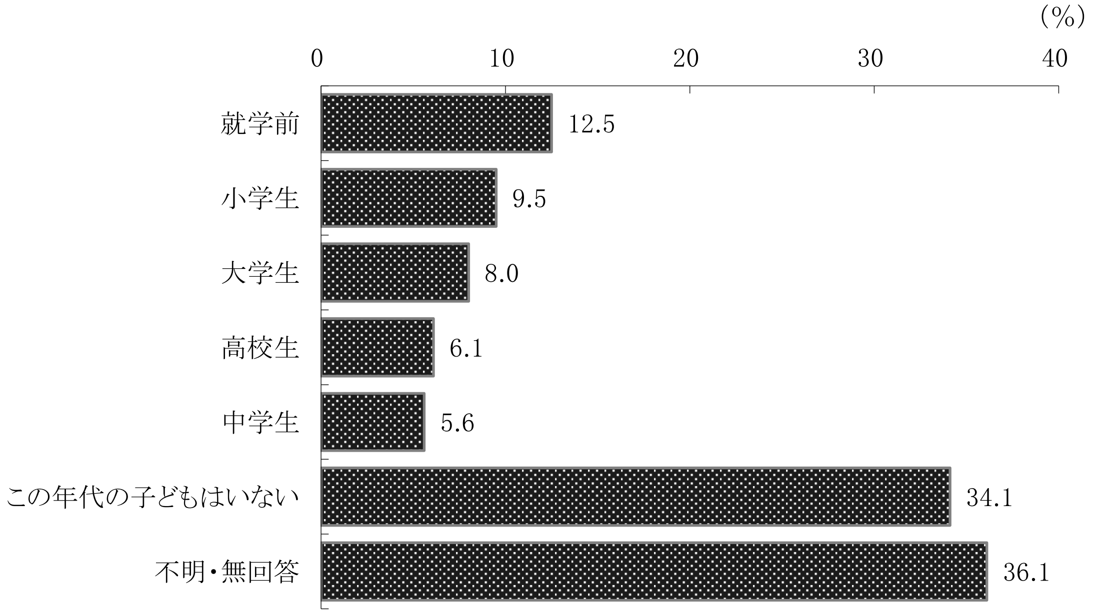

## 同居家族

（N=674）



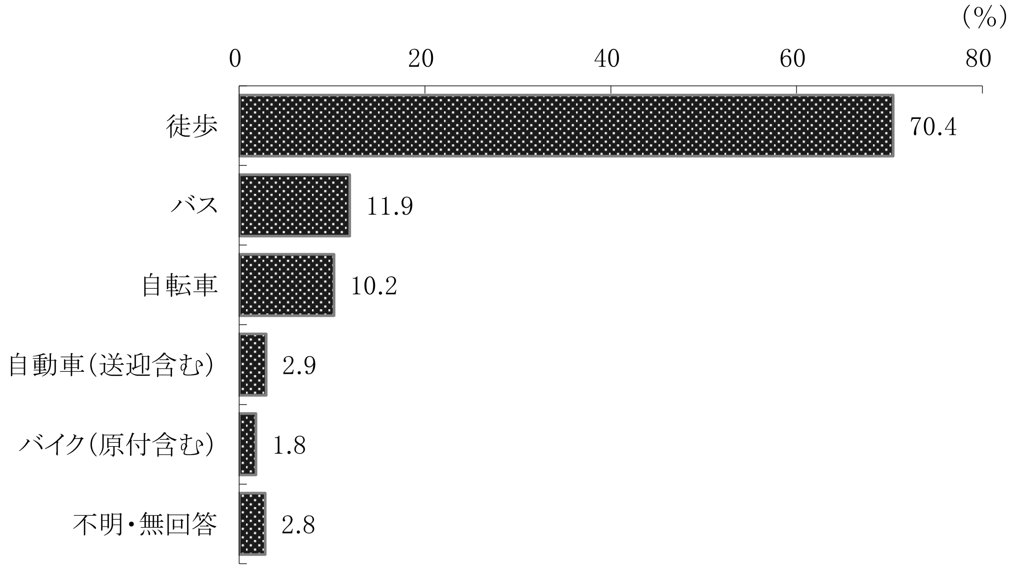
## 問30　子どもの年代

（N=817）



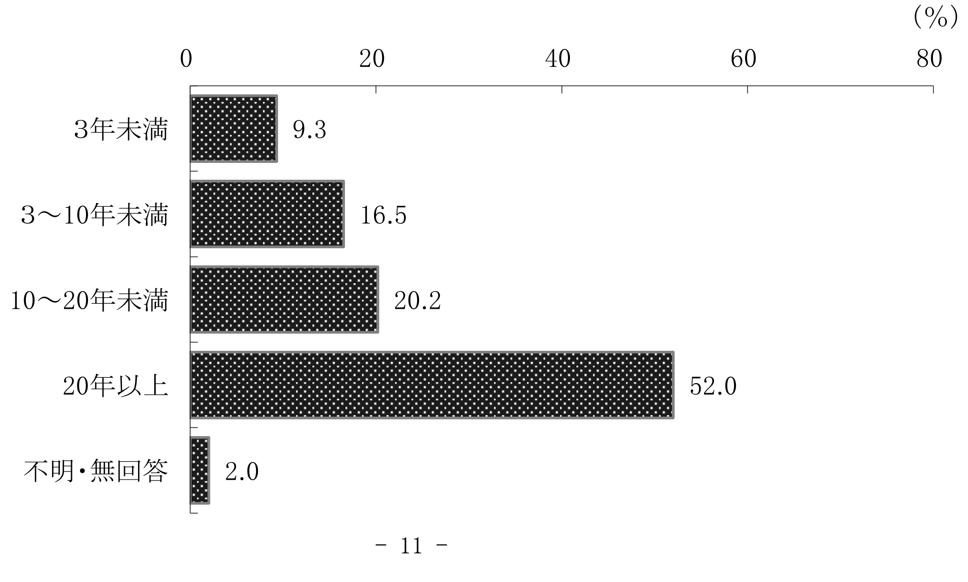

## 問31　最寄り駅までの交通手段

（N=817）



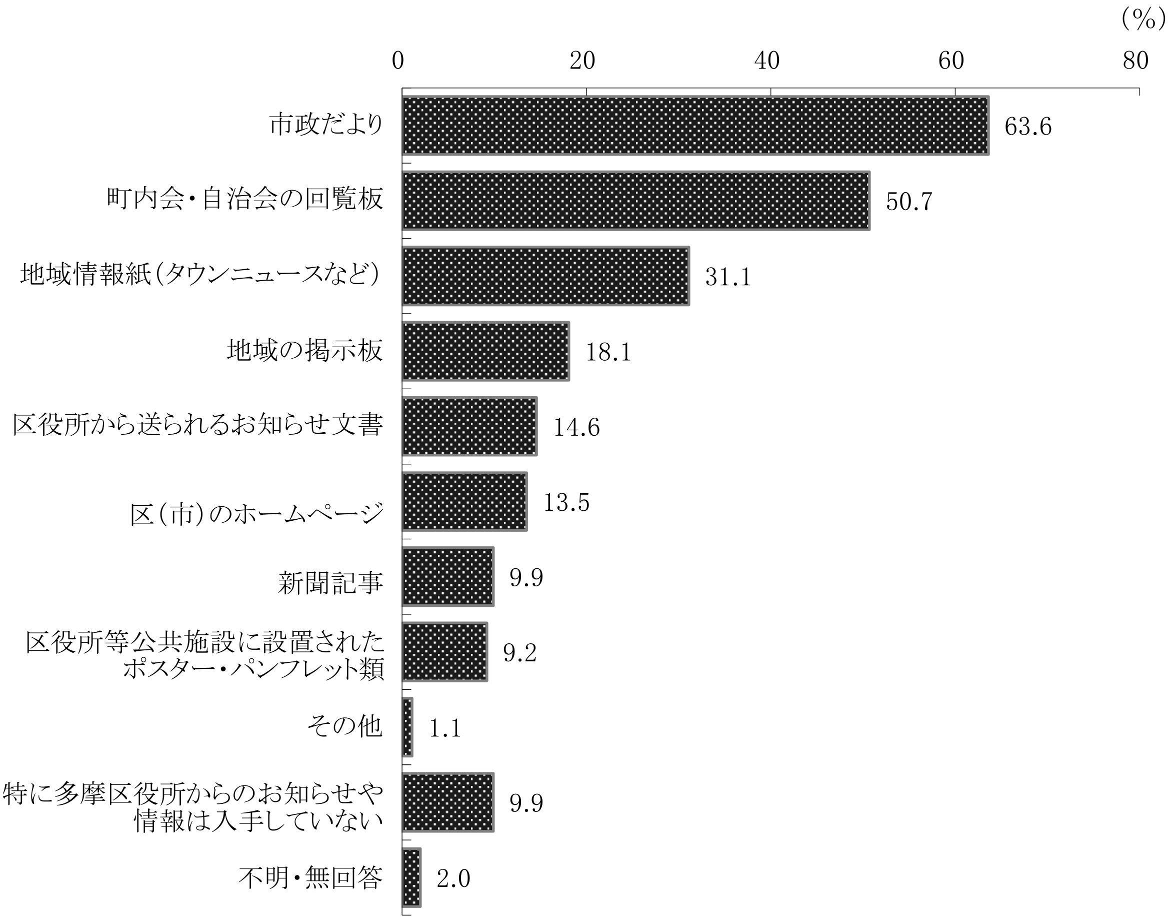

## 問32　居住年数

（N=817）



## 問33　区の知らせや情報の入手手段

（N=817）



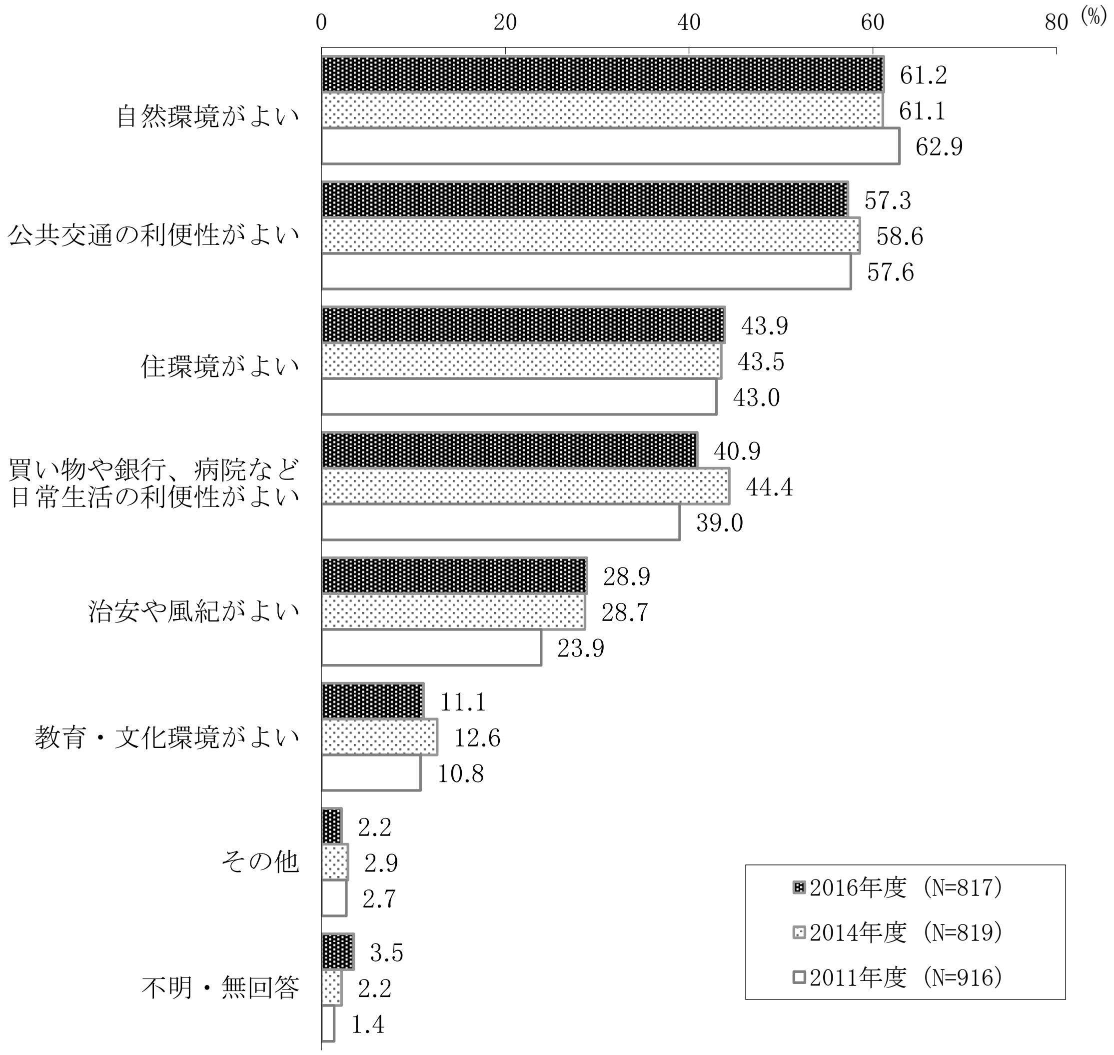
# Ⅲ. 調 査 結 果

# Ⅲ 調 査 結 果

## １．多摩区の長所・魅力

問１　　あなたが多摩区の長所・魅力と思っているものは何ですか。（いくつでも○）

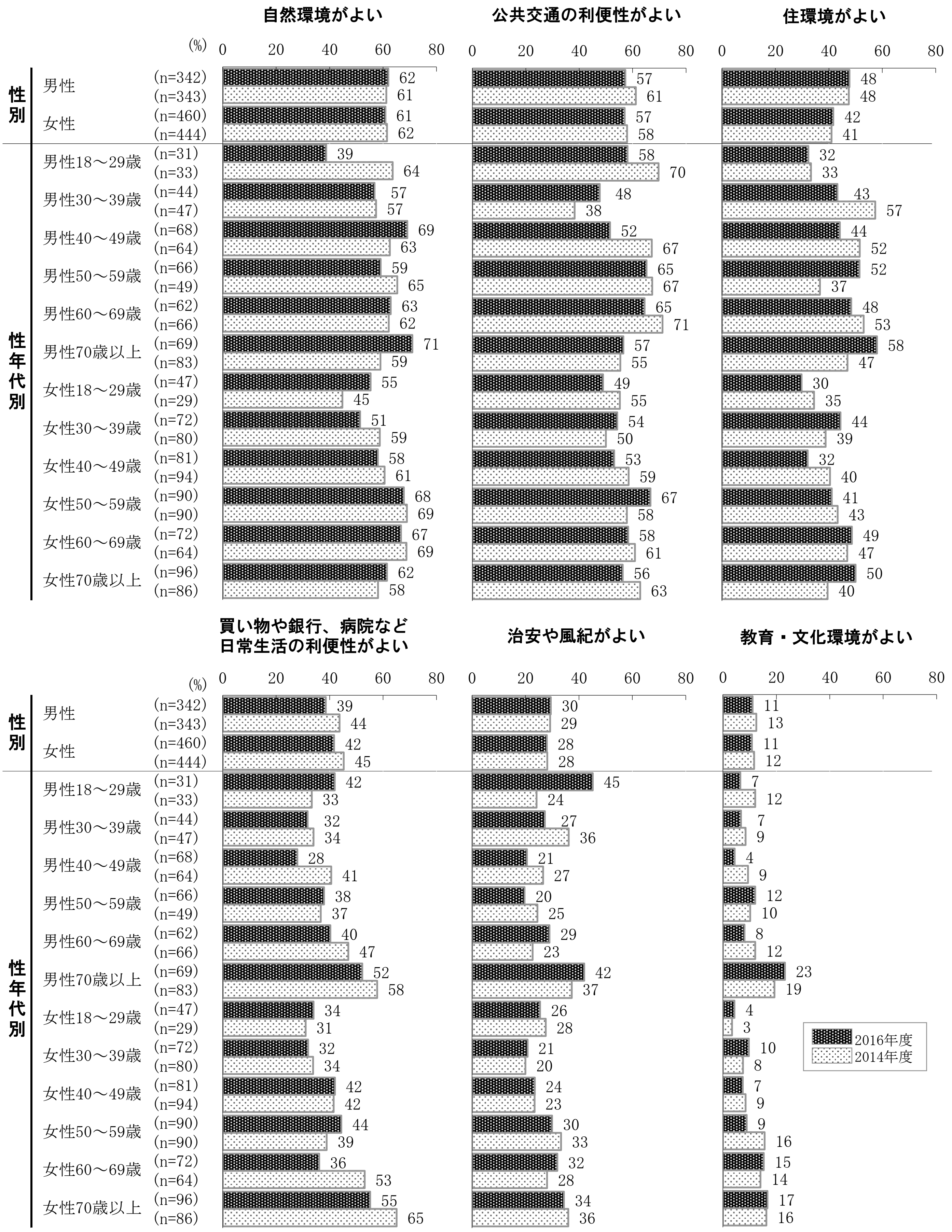
**図 １－１　多摩区の長所・魅力**




「多摩区の長所・魅力」について聞いたところ、「自然環境がよい」（61.2％）が最も高い結果となり、次いで「公共交通の利便性がよい」（57.3％）と上位２項目が50％を超える高い結果となった。

2014年度も「自然環境がよい」、「公共交通の利便性がよい」が上位２項目となっており、ほぼ同じ傾向となった。

## 図 1－2　多摩区の長所・魅力（性別・性年代別）

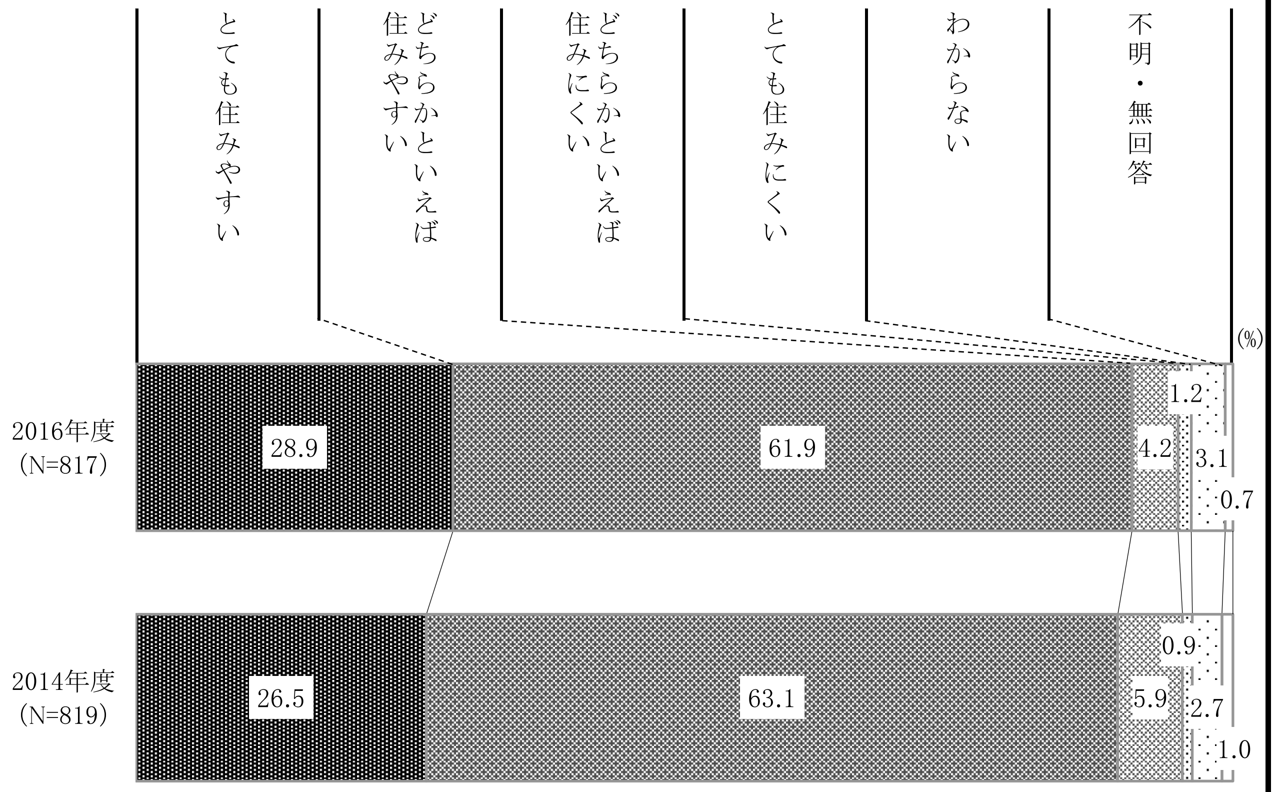



性別による各項目の大きな差は見られなかったが、性年代別では「買い物や銀行、病院など日常生活の利便性がよい」では、男女ともに70歳以上が高い結果となった。

## ２．住みやすさ

問２　　あなたにとって多摩区はどの程度住みやすいですか。（○は１つだけ）

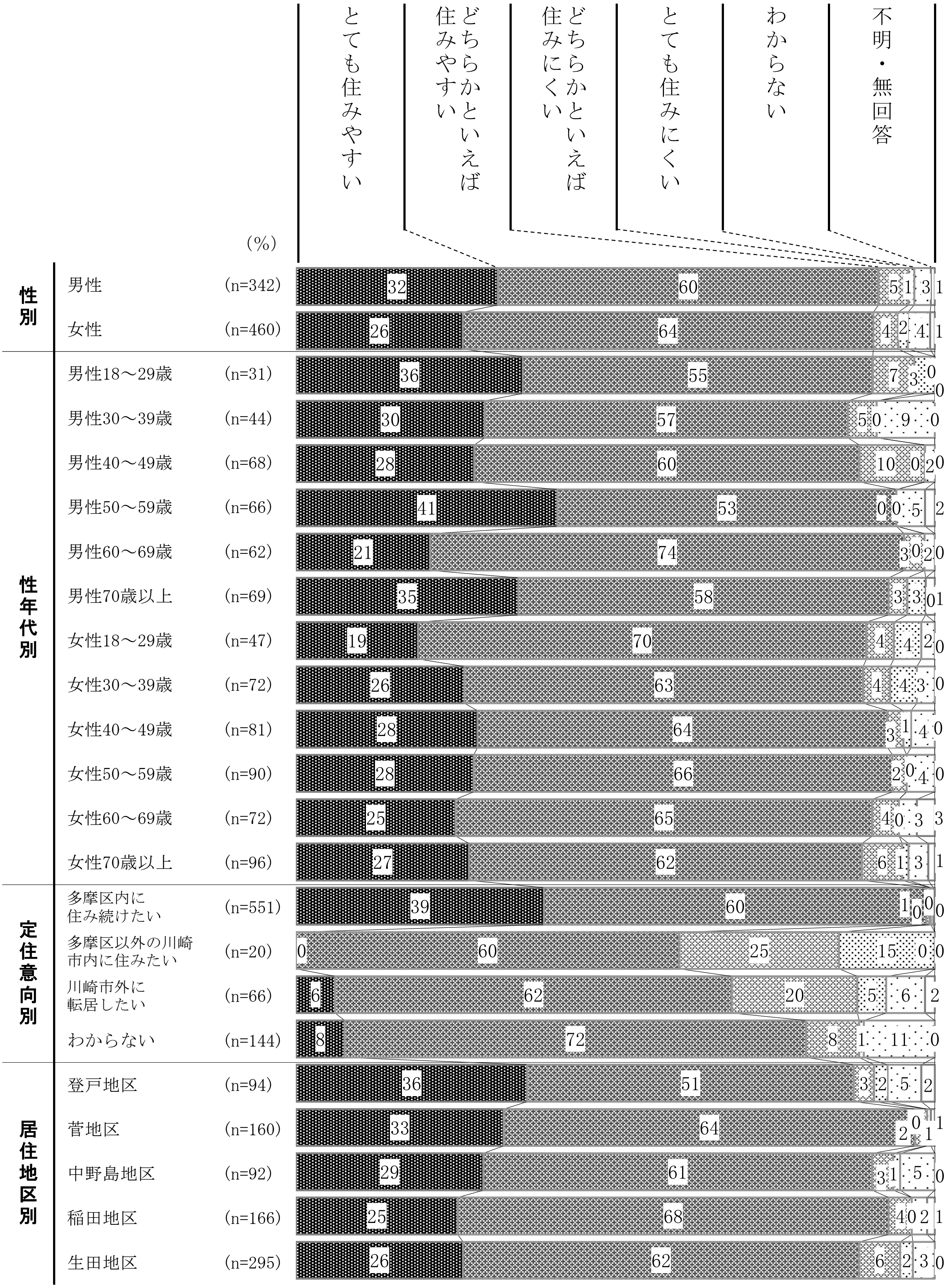
**図 ２－１　住みやすさ**




「住みやすさ」について聞いたところ、「どちらかといえば住みやすい」（61.9%）、「とても住みやすい」（28.9%）の順となり、「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい計』（90.8%）が高い結果となった。

2014年度との比較では、『住みやすい計』が（89.6%）とほぼ変わらない結果となった。

## 図 2－2　住みやすさ（性別・性年代別・定住意向別・居住地区別）

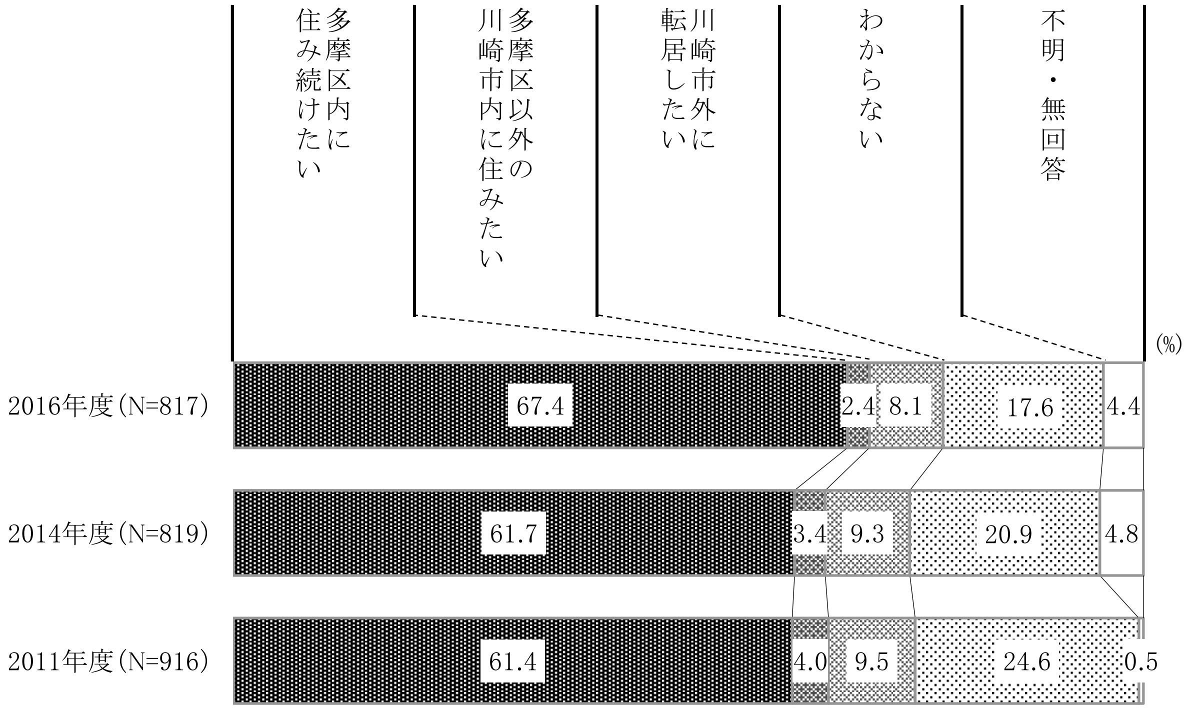



「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい計』では、性別、性年代別、定住意向別、居住地区別の全てで半数を超える高い結果となった。

## ３．定住意向

問３　　あなたは多摩区に住み続けたいと思いますか（○は１つだけ）

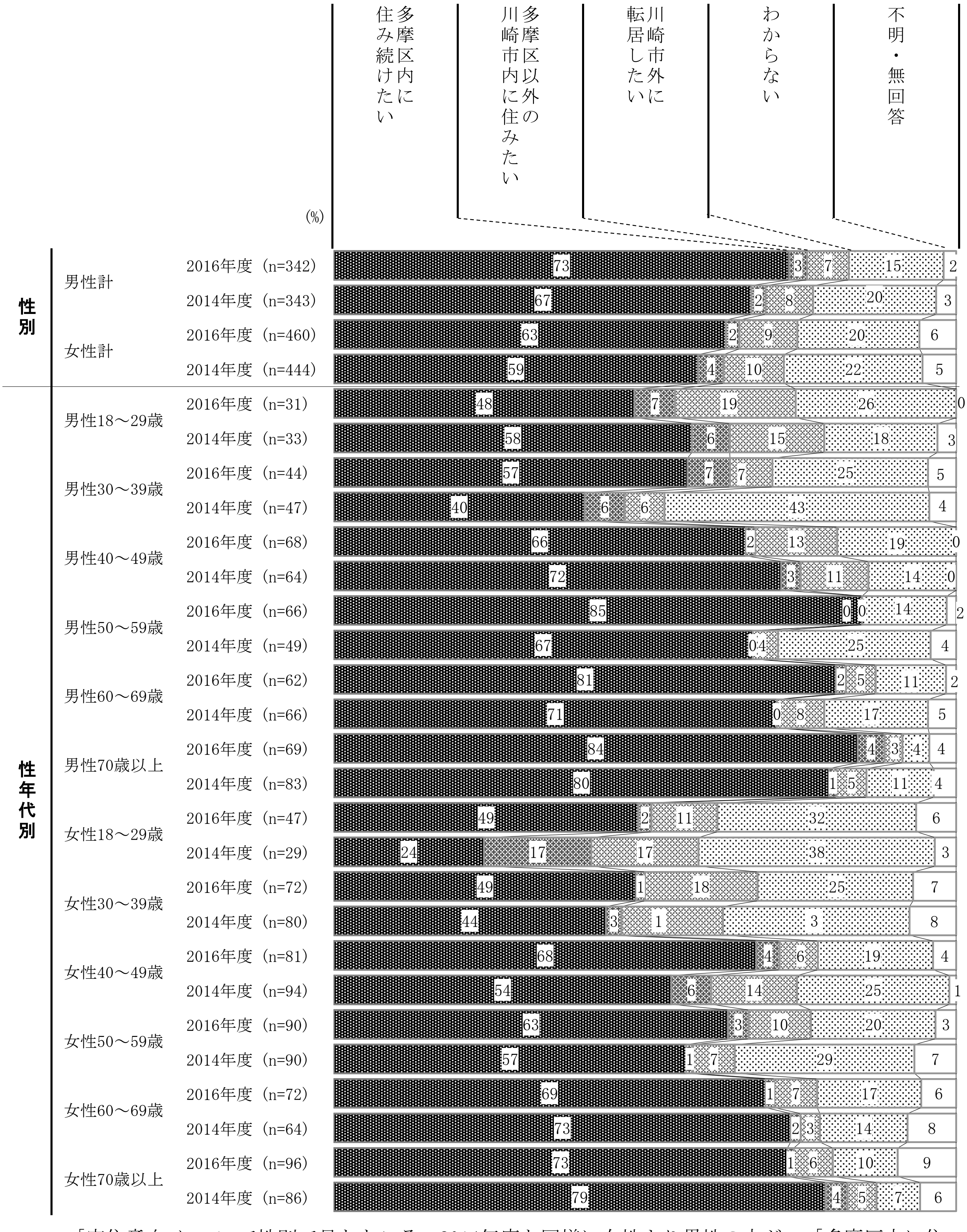
**図 ３－１　定住意向**




「定住意向」について聞いたところ、「多摩区内に住み続けたい」（67.4%）が最も高い結果となった。

2014年度も、「多摩区内に住み続けたい」（61.7%）の割合が最も高かったが、2016年度はさらに上昇した。

**図 3－2　定住意向（性別・性年代別）**

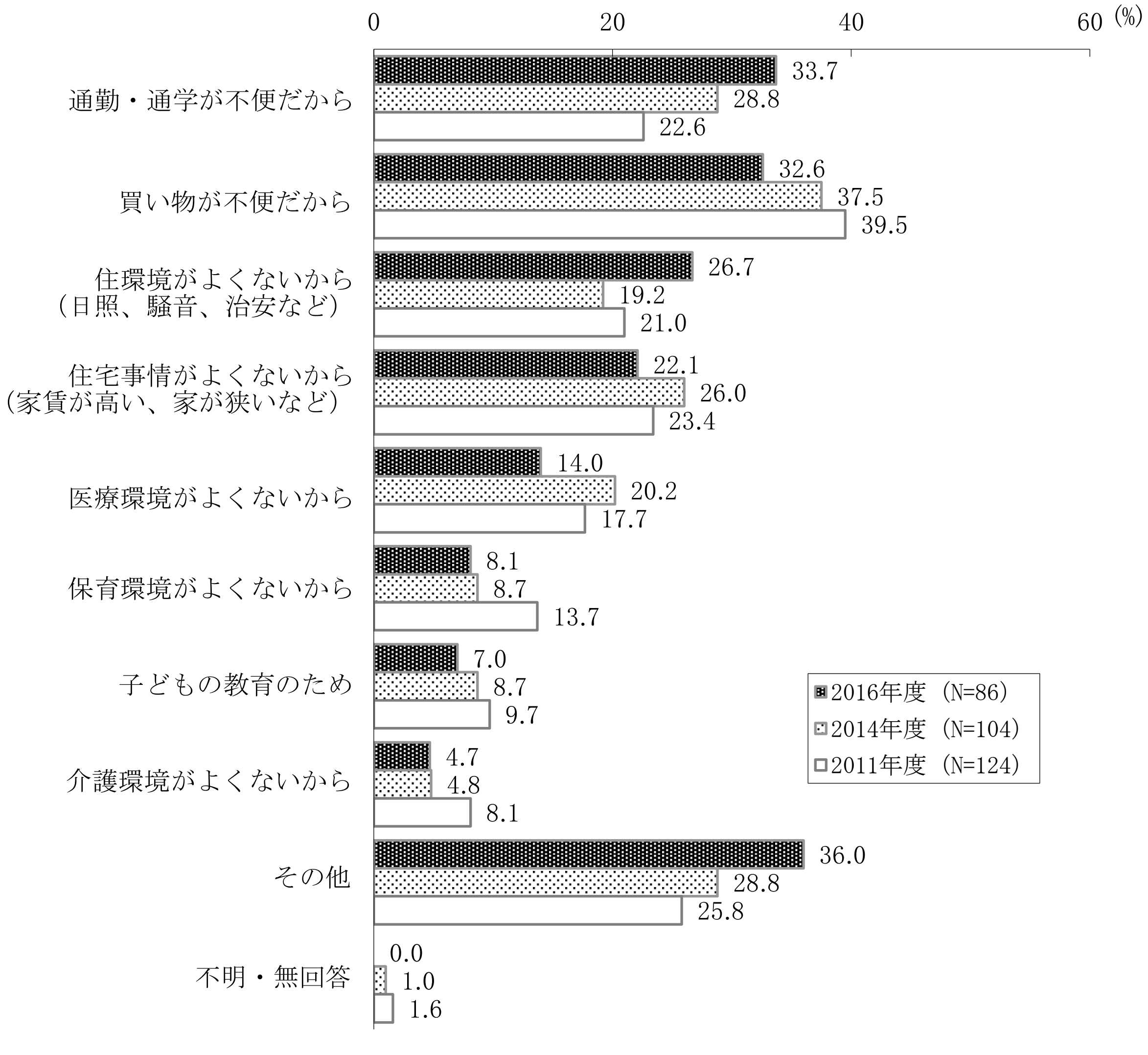



「定住意向」について性別で見たところ、2014年度と同様に女性より男性の方が、「多摩区内に住み続けたい」率が高い結果となった。性年代別では、男性が50～59歳、女性が70歳以上で「多摩区内に住み続けたい」率が最も高くなっている。

## ４．区外転居意向の理由

問３－１　その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

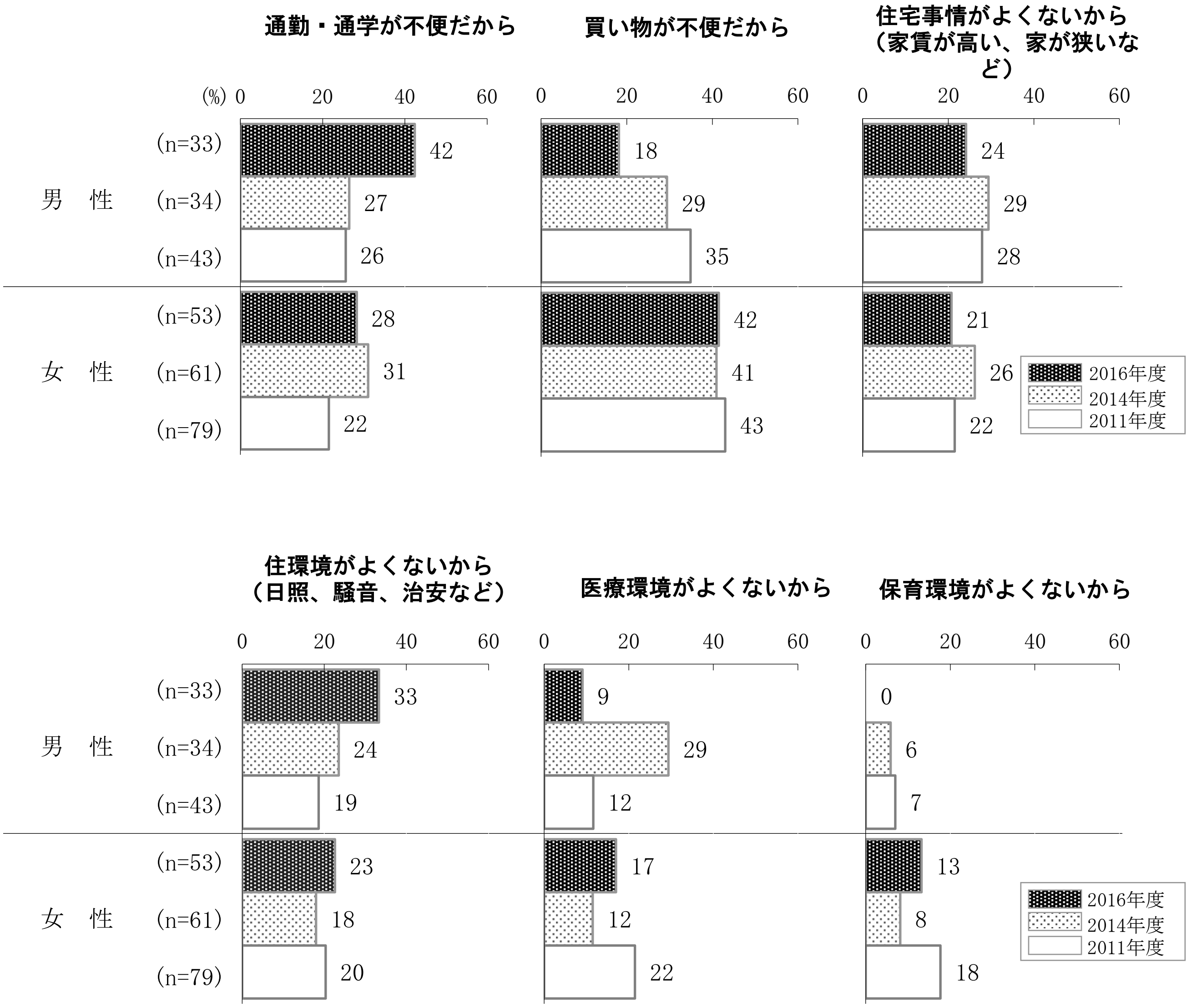
**図 ４－１　区外転居意向の理由**




（３）の定住意向で「多摩区以外の川崎市内に住みたい」、「川崎市外に転居したい」と回答した人に「区外転居意向の理由」について聞いたところ、「通勤・通学が不便だから」（33.7%）が最も高く、次いで「買い物が不便だから」（32.6%）、「住環境がよくないから（日照、騒音、治安など）」（26.7%）の順となり、上位３項目は2014年度から全て変動があった。

その中で「住環境がよくないから（日照、騒音、治安など)」は、2014年度と比較して7.5ポイント上昇する結果となった。

## 図 ４－２　区外転居意向の理由（性別）＜上位６位＞



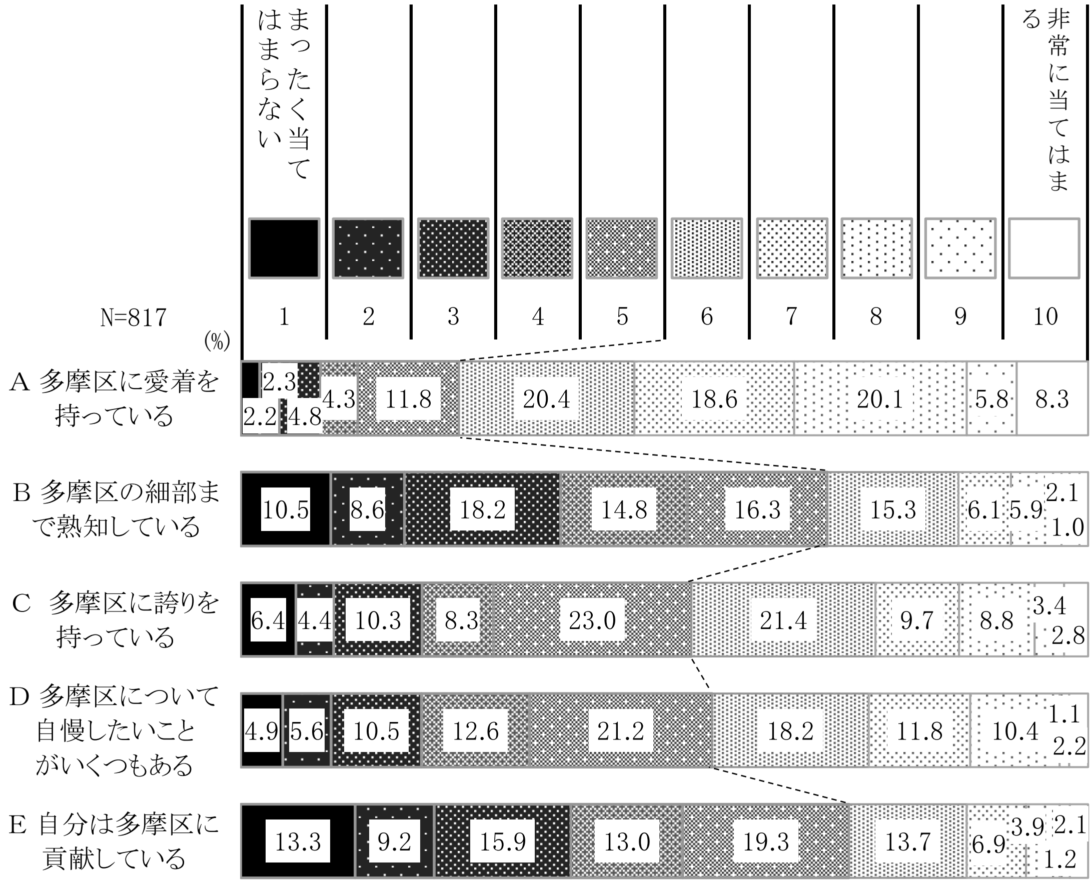

「区外転居意向の理由」について性別で見たところ、「通勤・通学が不便だから」では、2014年度と比較して男性が15ポイント上昇する結果となった。

また、「買い物が不便だから」は、男性よりも女性の方が高い結果となった。

## ５．多摩区に対する愛着や誇り

問４　　多摩区はあなたにとって、以下の項目に関してどの程度あてはまりますか。
あてはまると感じるものをお選びください。（○は各項目で１つだけ）
（「非常に当てはまる」を10、「まったく当てはまらない」を１として10段階）

**図 ５－１　多摩区に対する愛着や誇り**



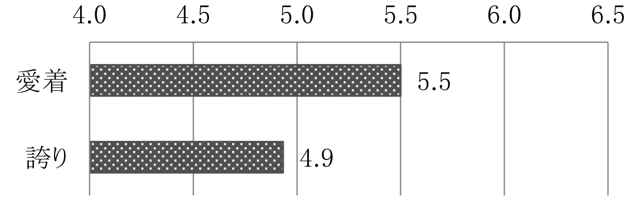

| | 当てはまらない計 (%) | 当てはまる計 (%) | 加重平均 |
|---|---|---|---|
| A 多摩区に愛着を持っている | 25.4% | 73.2% | 6.6 |
| B 多摩区の細部まで熟知している | 68.4% | 30.4% | 4.4 |
| C 多摩区に誇りを持っている | 52.4% | 46.1% | 5.3 |
| D 多摩区について自慢したいことがいくつもある | 54.8% | 43.7% | 5.2 |
| E 自分は多摩区に貢献している | 70.7% | 27.8% | 4.3 |

「１」から「５」までの合計を『当てはまらない計』、「６」から「１０」までの合計を『当てはまる計』とする。

「６」から「１０」までを『当てはまる計』とすると、他の項目に比べ、「A 多摩区に愛着を持っている」（73.2％）が最も高かった。

一方、『当てはまる計』が最も低かったのが、「E 自分は多摩区に貢献している」（27.8％）となった。

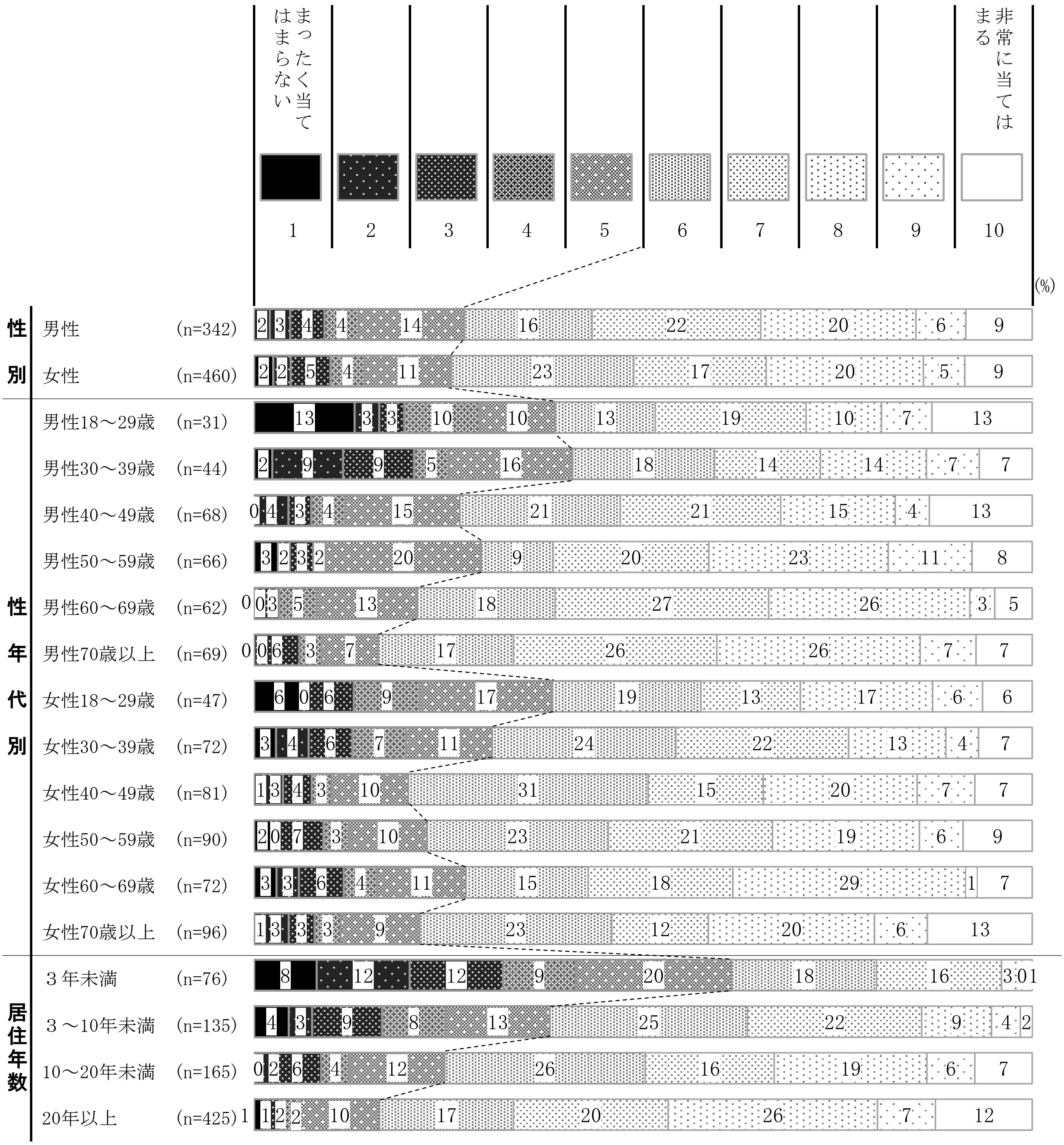
**図５－２　シビックプライド指標**




シビックプライド指標とは、自分の住んでいるまちに対する愛着や誇りを表す概念のこと。多摩区では、質問A，Bを「愛着」、質問C，D，Eを「誇り」の指標として、それぞれの質問項目の平均値から算出した。

## 図 ５－３　多摩区に対する愛着や誇り（性年代別）

### 問４．（ア）多摩区に愛着を持っている

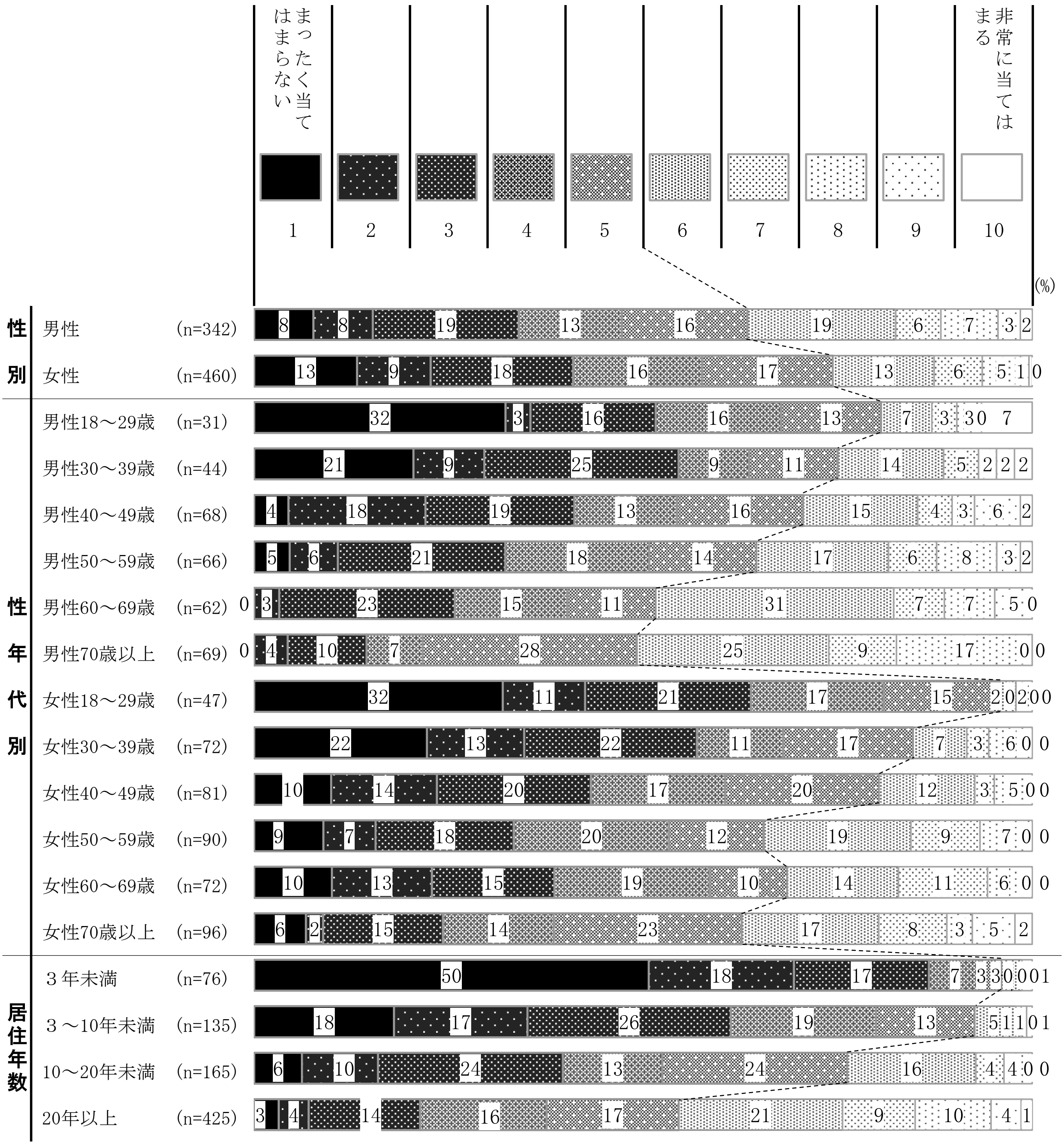



「６」から「１０」までを合計した『当てはまる計』の割合は、男女とも、年齢が上がるほど高くなる傾向となった。

同様に、『当てはまる計』の割合は、居住年数が長くなるほど高くなった。

## 図 5－4　多摩区に対する愛着や誇り（性年代別）

### 問4．（イ）多摩区の細部まで熟知している



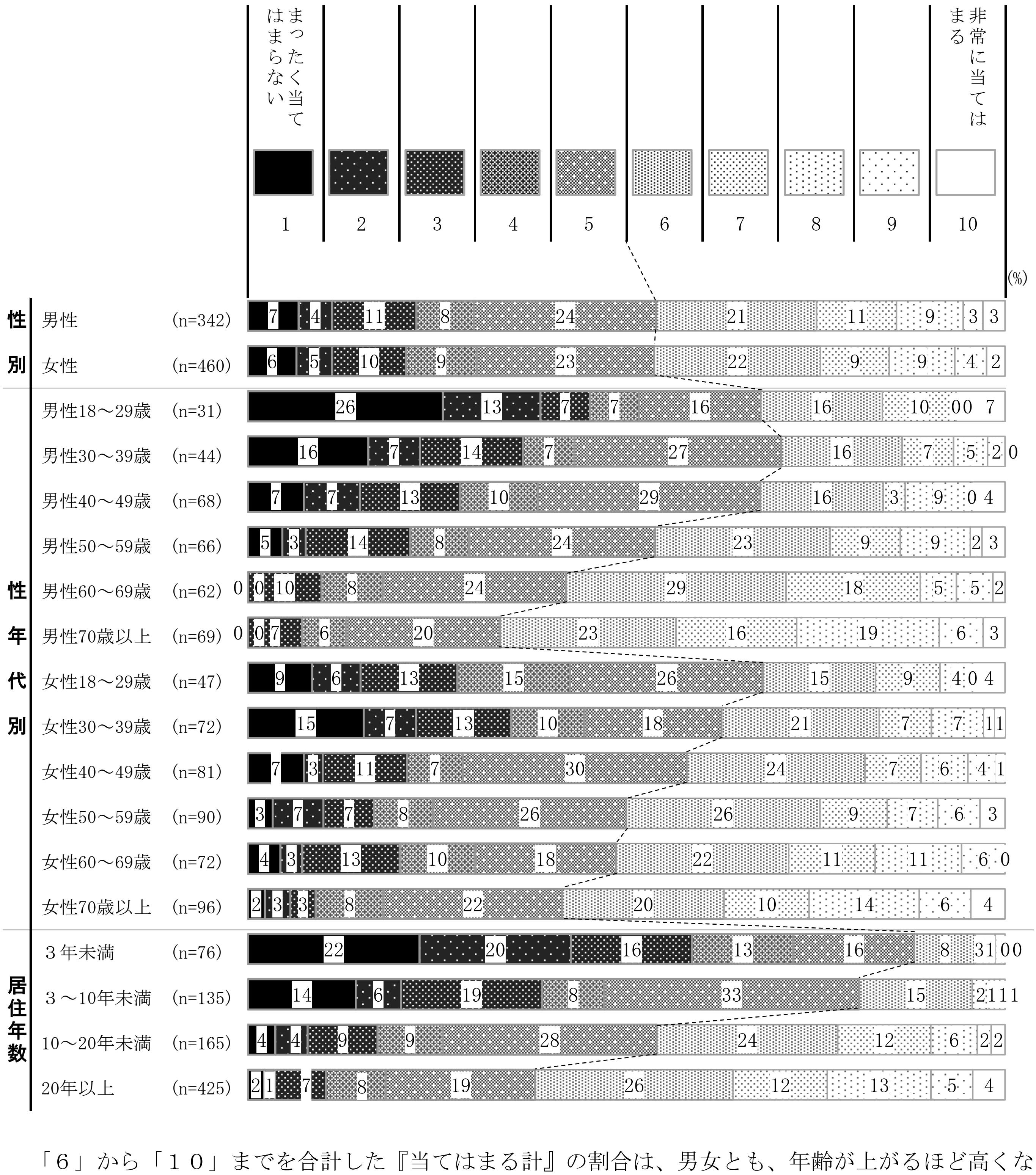

「６」から「１０」までを合計した『当てはまる計』の割合は、男女とも、年齢が上がるほど高くなる傾向となった。

同様に、『当てはまる計』の割合は、居住年数が長くなるほど高くなった。

また、他の「多摩区に対する愛着や誇り」の項目と比較すると、性別による差異が大きく、男性より女性のほうが、『当てはまる計』の割合が高くなった。

## 図 5－5　多摩区に対する愛着や誇り（性年代別）

### 問4．（ウ）多摩区に誇りを持っている



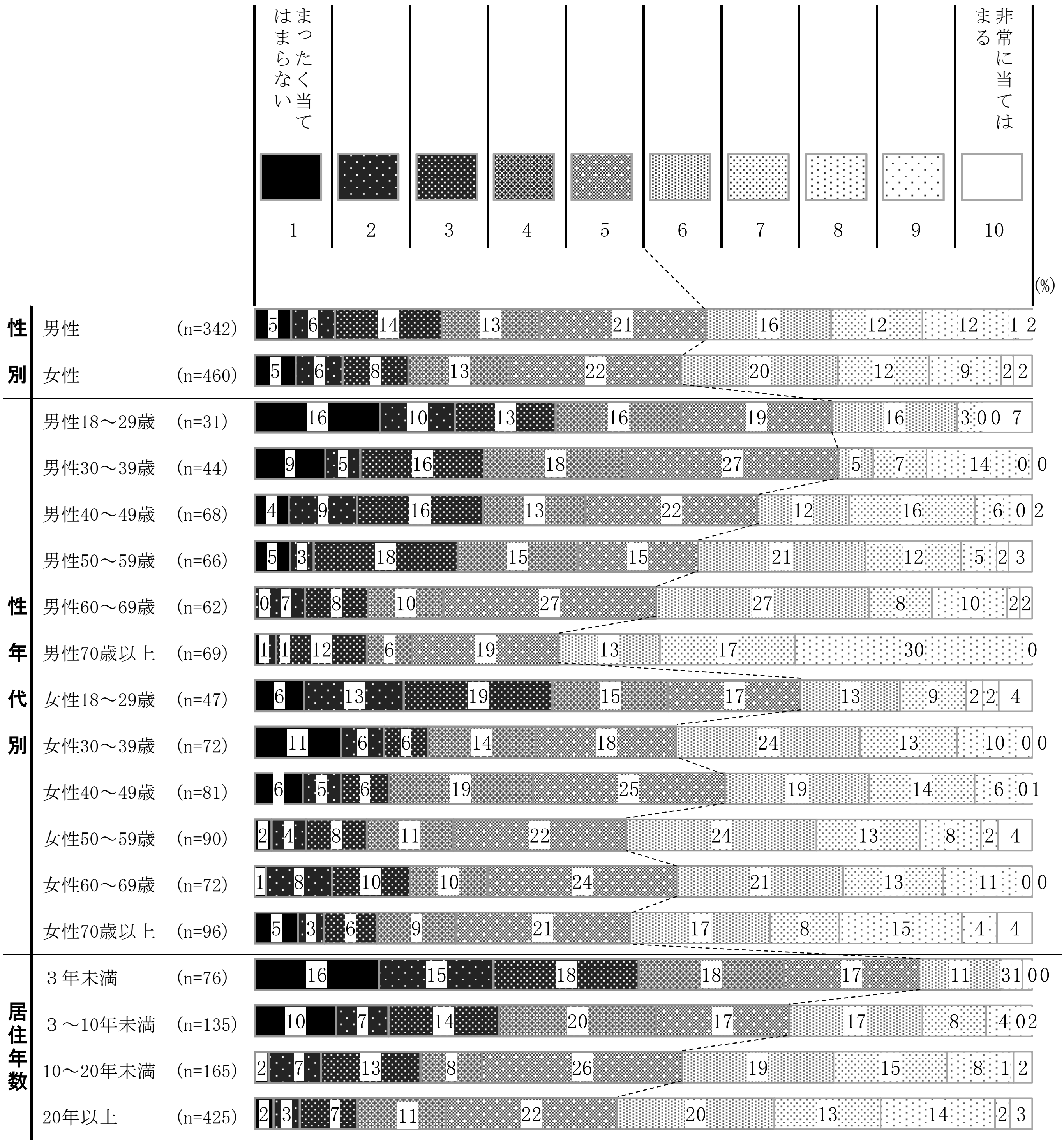

「６」から「１０」までを合計した『当てはまる計』の割合は、男女とも、年齢が上がるほど高くなる傾向となった。

同様に、『当てはまる計』の割合は、居住年数が長くなるほど高くなった。

一方、性別による差異は、ほとんど見られなかった。

## 図 5－6　多摩区に対する愛着や誇り（性年代別）

## 問4．（エ）多摩区について自慢したいことがいくつもある

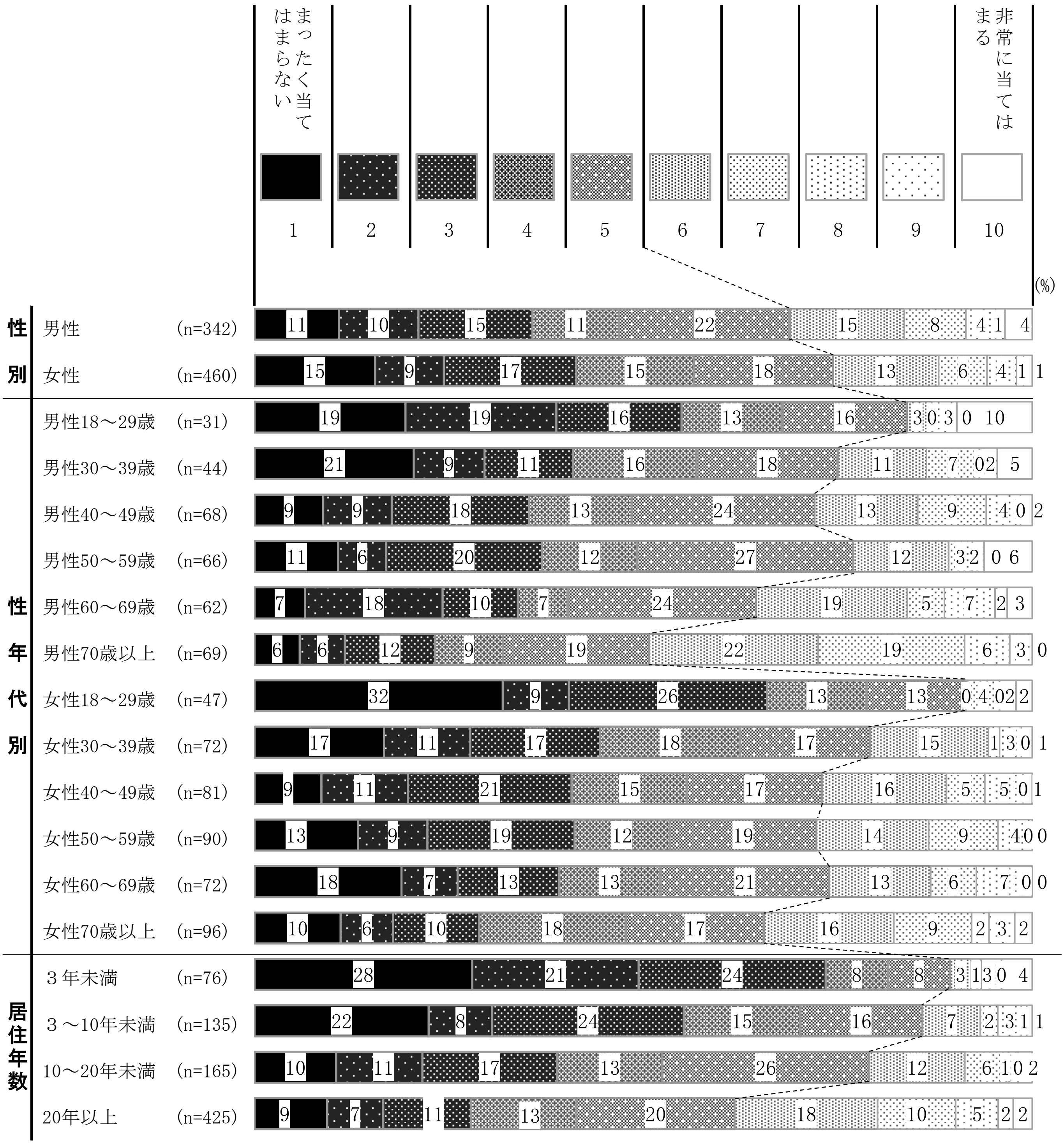



「６」から「１０」までを合計した『当てはまる計』の割合は、男女とも、年齢が上がるほど高くなる傾向となった。

同様に、『当てはまる計』の割合は、居住年数が長くなるほど高くなった。

## 図 ５－７　多摩区に対する愛着や誇り（性年代別）

## 問４．（オ）自分は多摩区に貢献している



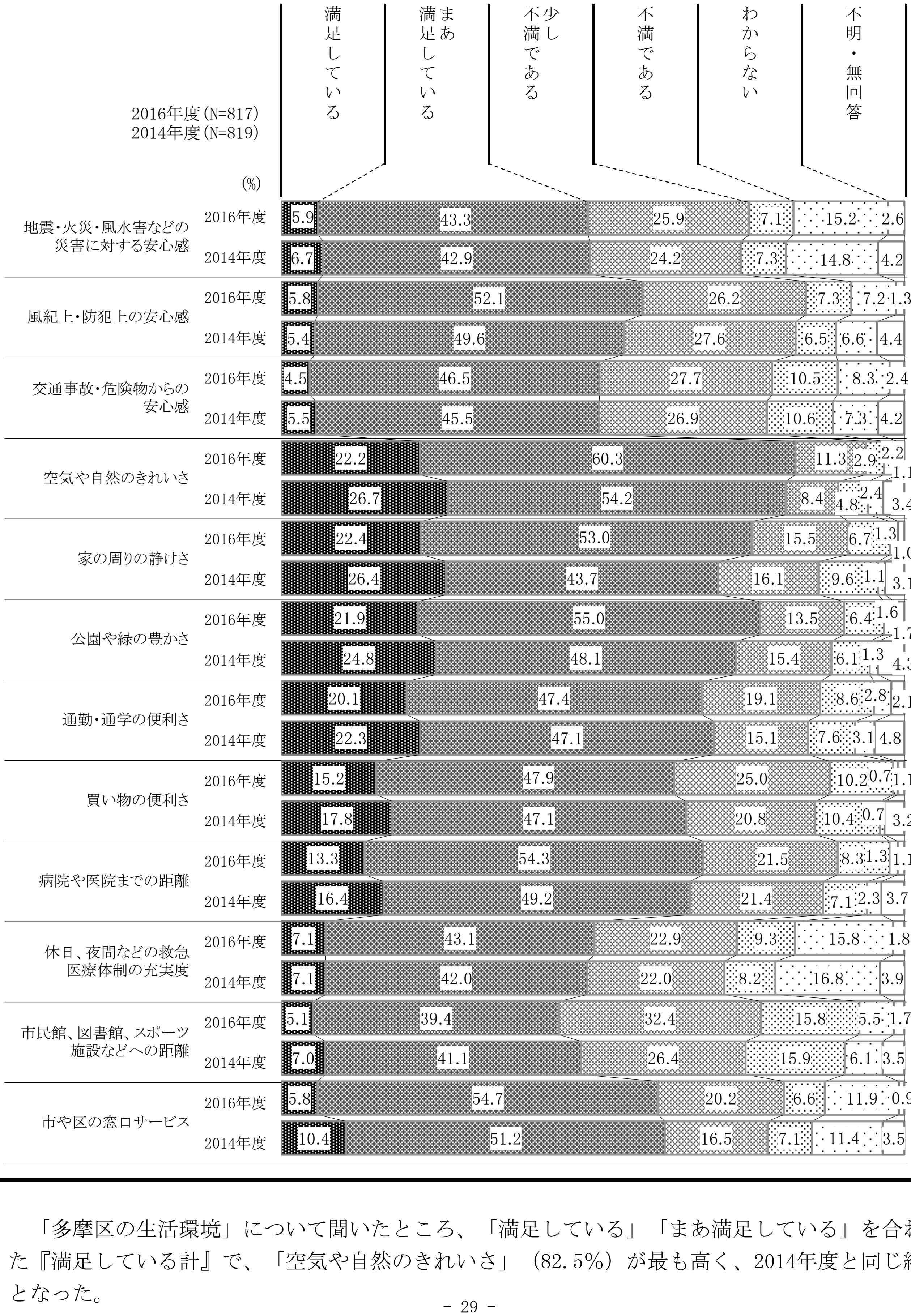

「６」から「１０」までを合計した『当てはまる計』の割合は、男女とも、年齢が上がるほど高くなる傾向となった。

同様に、『当てはまる計』の割合は、居住年数が長くなるほど高くなった。

## ６．多摩区の生活環境

問５　多摩区の生活環境についてお伺いします。次にあげる項目についてどの程度満足していますか。（○はそれぞれ１つずつ）

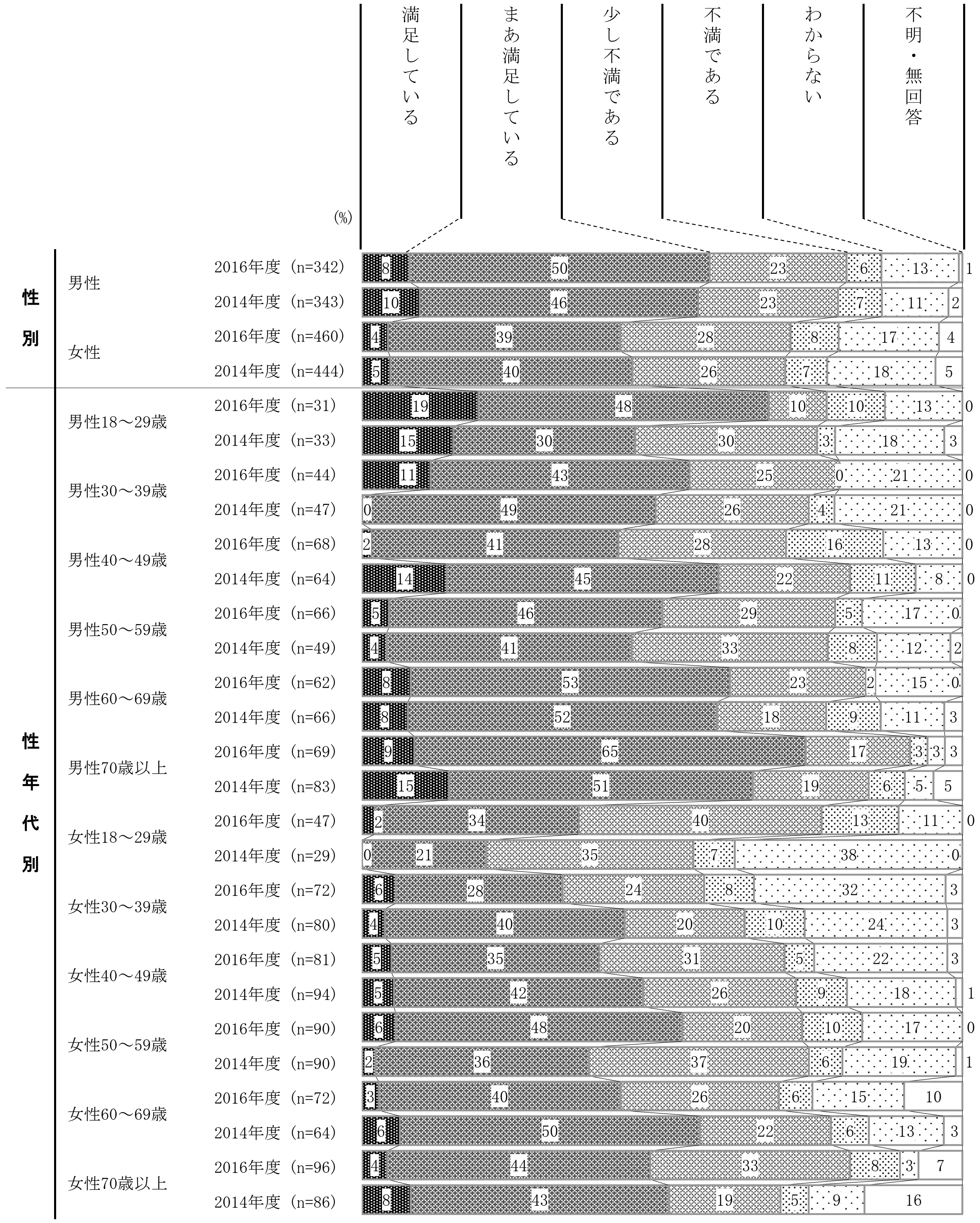
**図 ６－１　多摩区の生活環境**




「多摩区の生活環境」について聞いたところ、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、「空気や自然のきれいさ」（82.5％）が最も高く、2014年度と同じ結果となった。

## 図 6－2　多摩区の生活環境（性年代別）

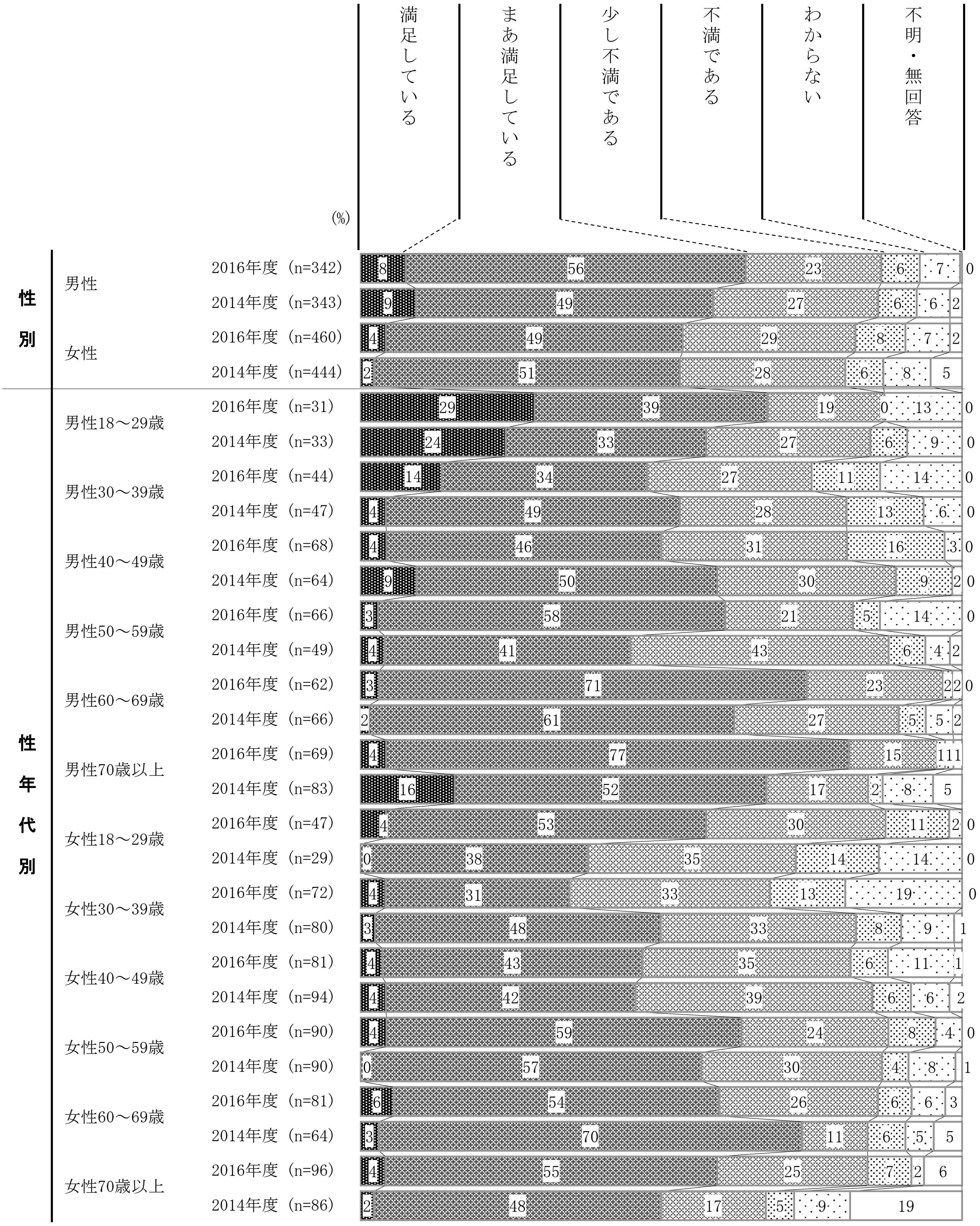
### （ア）地震・火災・風水害などの災害に対する安心感




「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」では、「満足している」、「まあ満足している」を合わせた『満足している計』が、男性70歳以上で74％と最も高い結果となった。

## 図 6－3　多摩区の生活環境（性年代別）

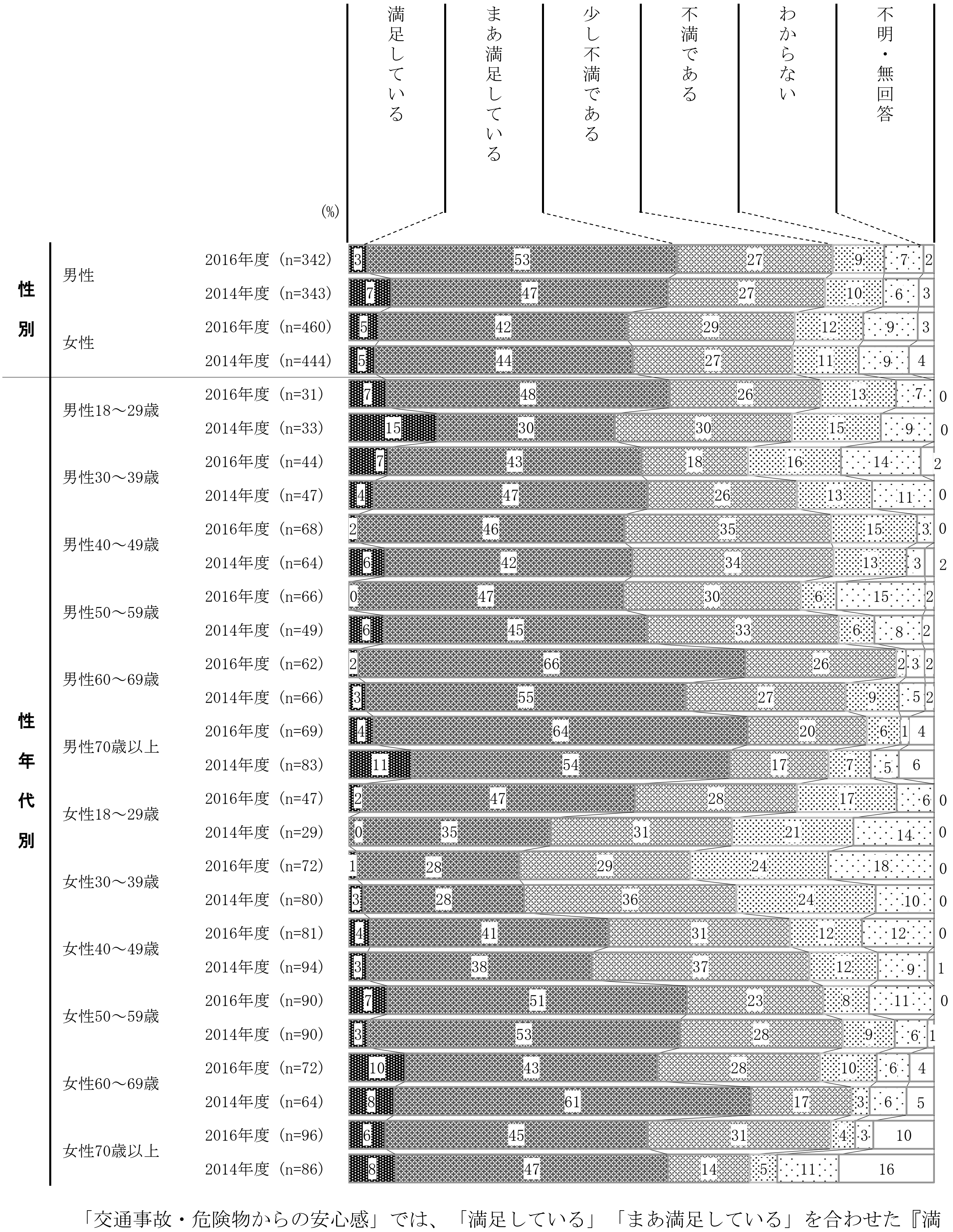
### （イ）風紀上・防犯上の安心感



「風紀上・防犯上の安心感」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、2014年度に続き男性70歳以上で高い結果となった。また女性60～69歳で、2014年度より13ポイント低い結果となった。

## 図 6－4　多摩区の生活環境（性年代別）

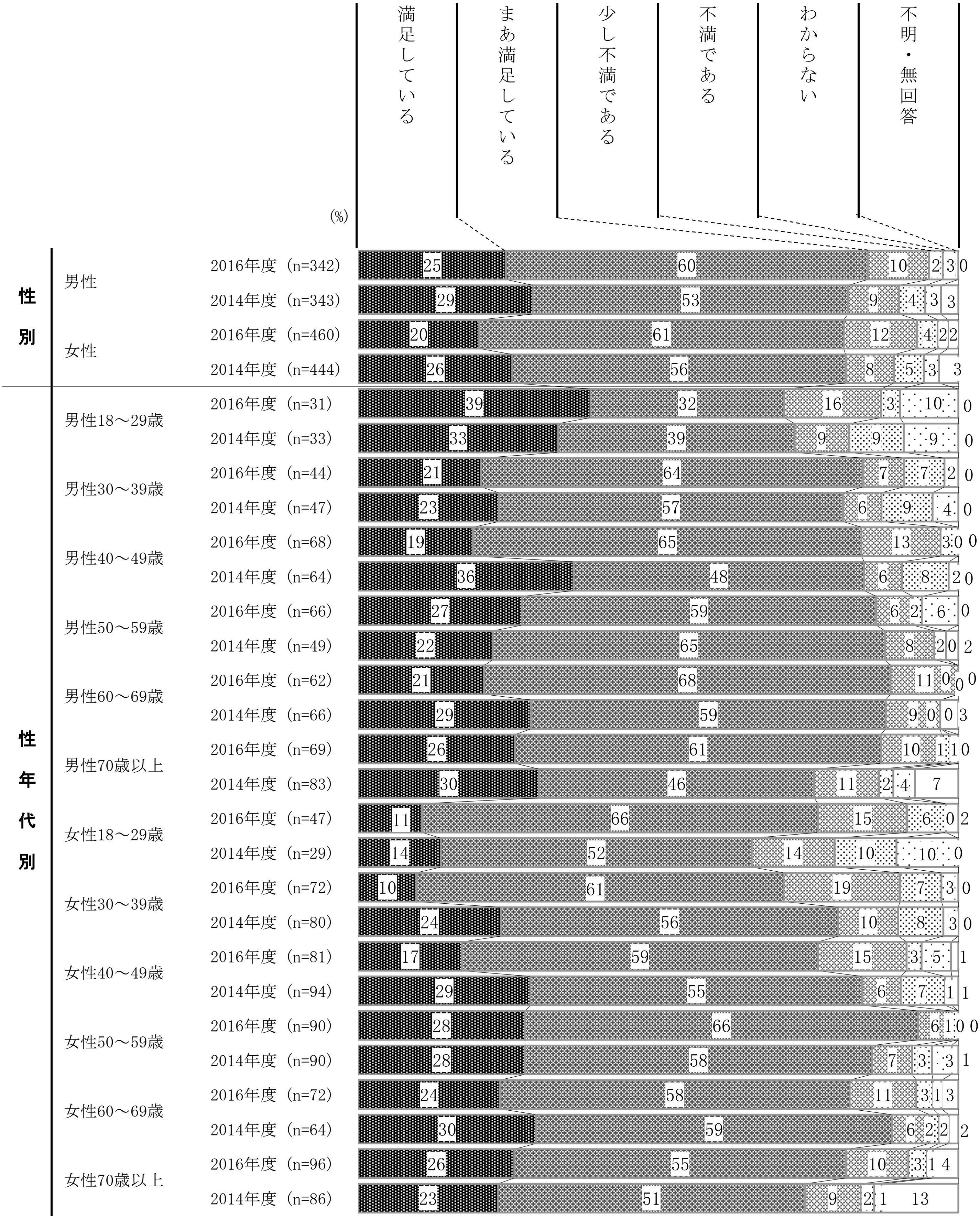
### （ウ）交通事故・危険物からの安心感




「交通事故・危険物からの安心感」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性60歳以上で高い結果となった。

## 図 6－5　多摩区の生活環境（性年代別）

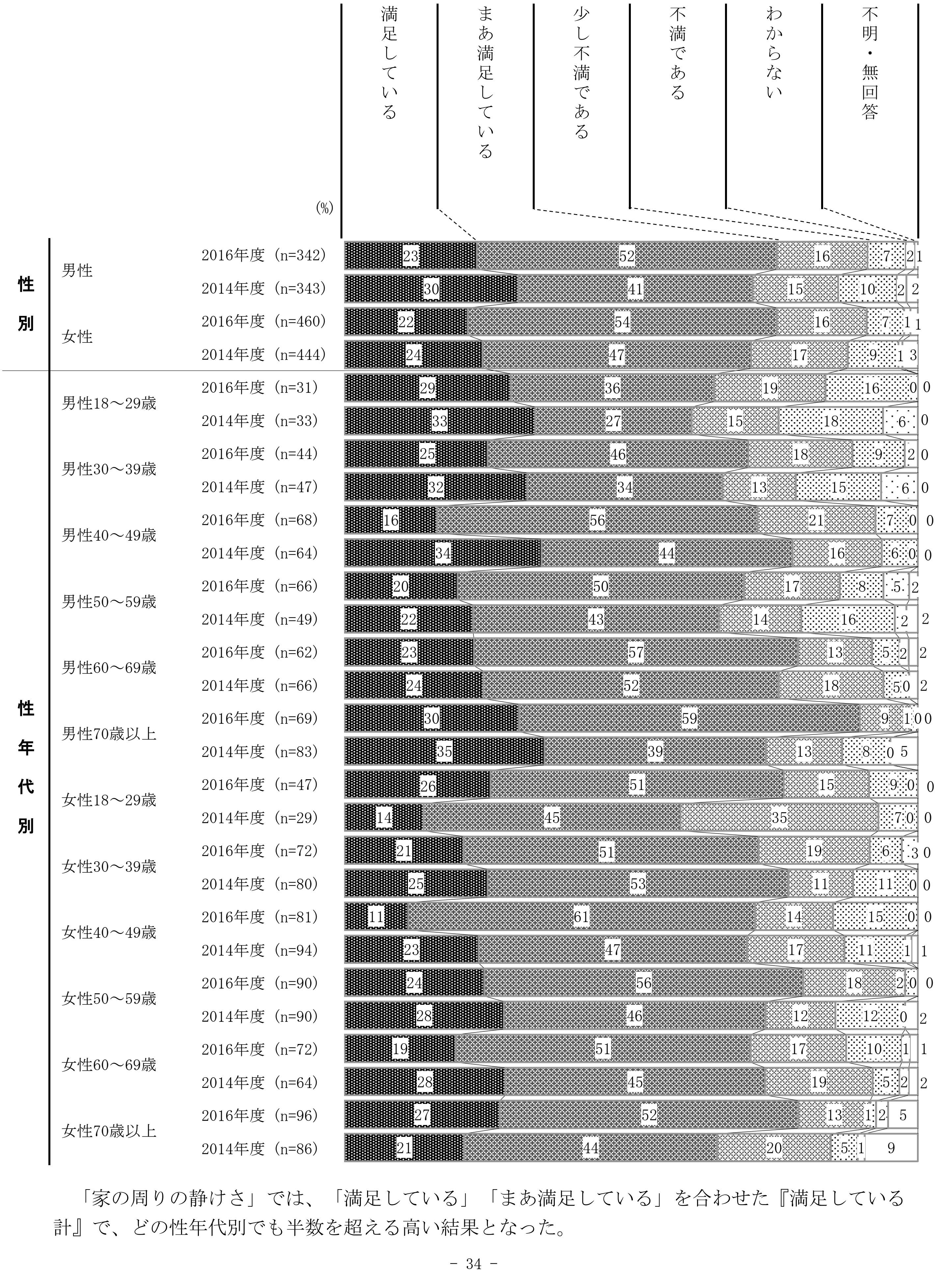
### （エ）空気や自然のきれいさ




「空気や自然のきれいさ」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、どの性年代別でも50％を超える高い結果となった。

## 図 6－6　多摩区の生活環境（性年代別）

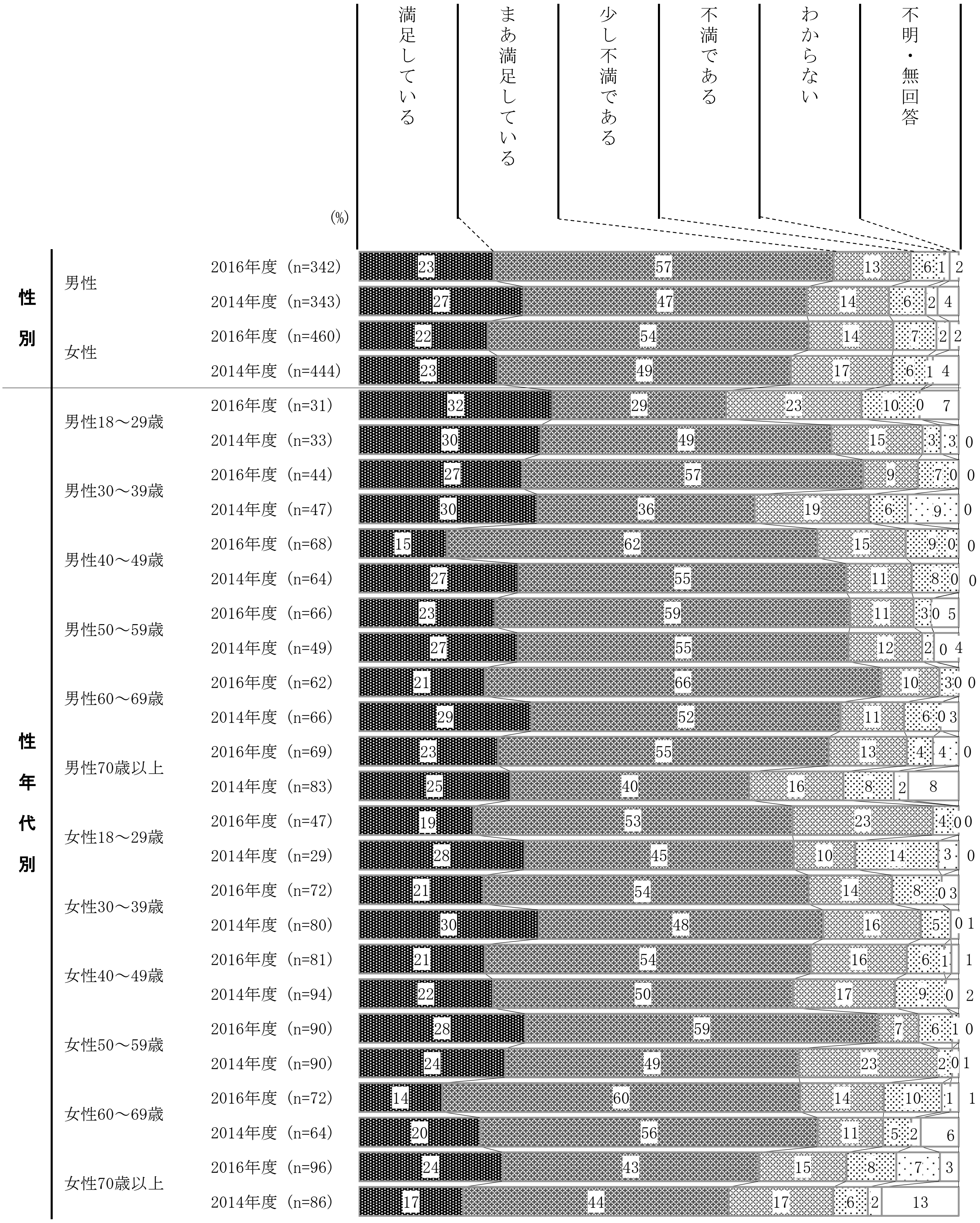
### （オ）家の周りの静けさ




「家の周りの静けさ」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、どの性年代別でも半数を超える高い結果となった。

## 図 ６－７　多摩区の生活環境（性年代別）

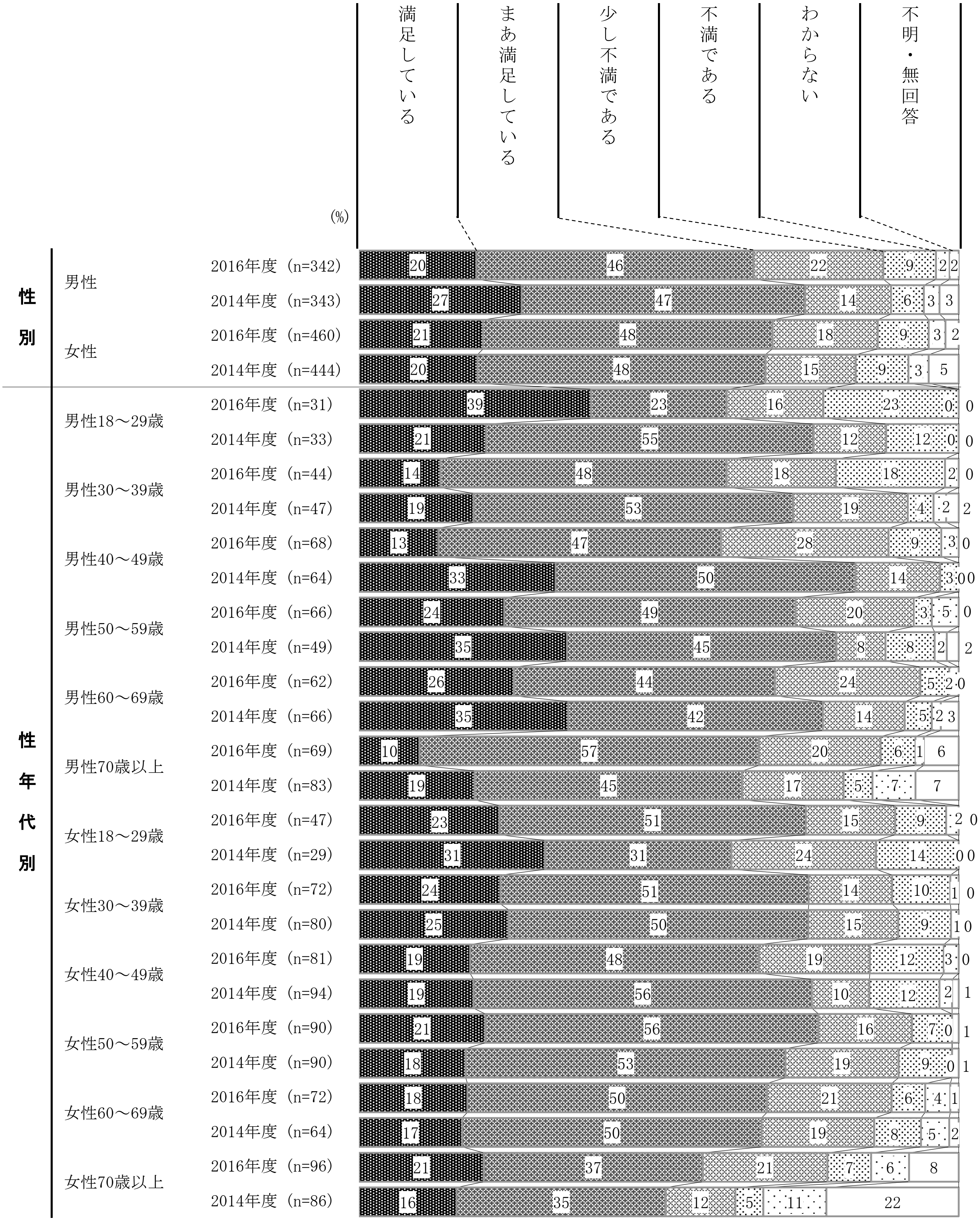
### （カ）公園や緑の豊かさ




「公園や緑の豊かさ」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、どの性年代別でも半数を超える高い結果となった。特に男性では60～69歳、女性では50～59歳で最も割合が高くなっている。

## 図 ６－８　多摩区の生活環境（性年代別）

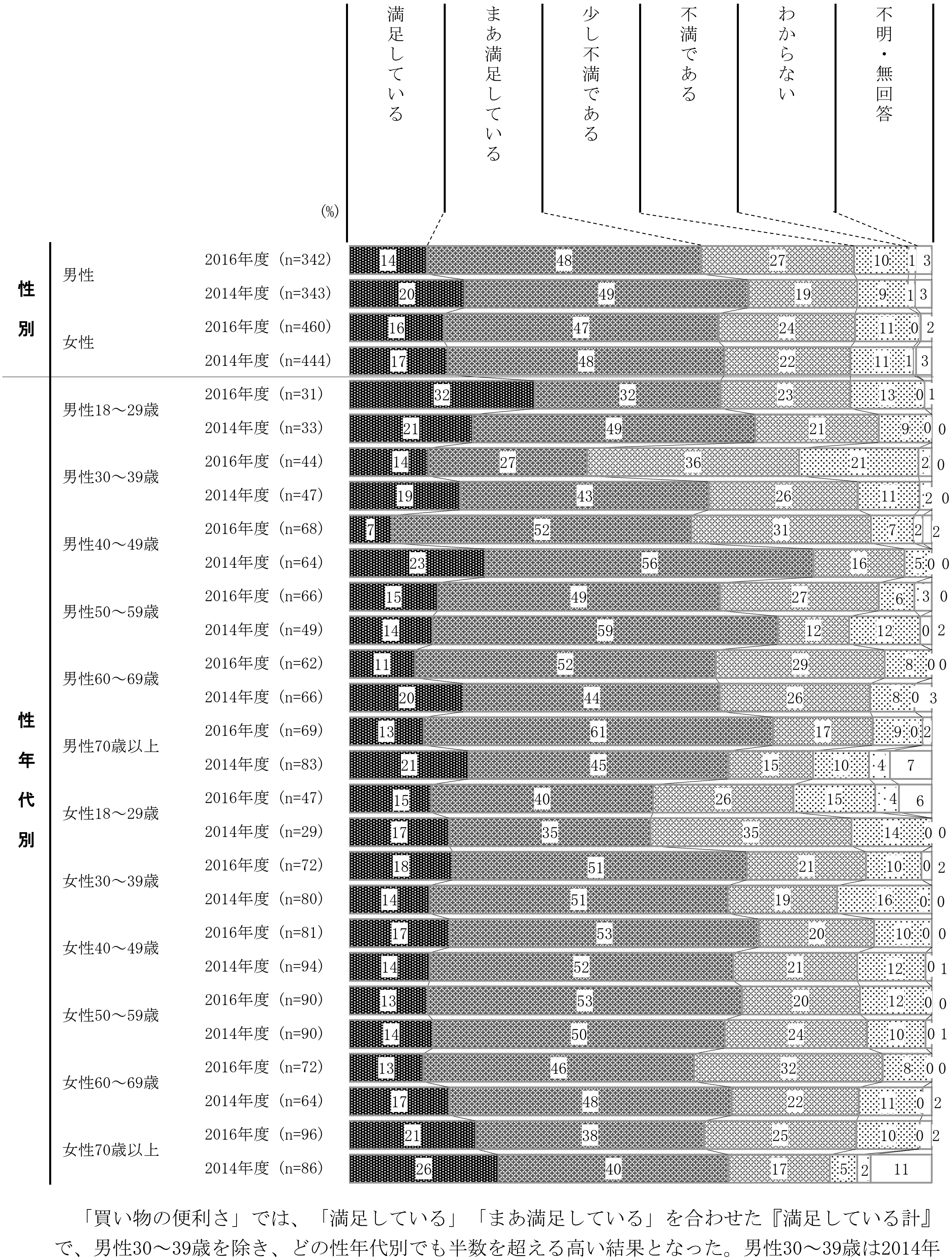
### （キ）通勤・通学の便利さ




「通勤・通学の便利さ」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、性年代別でも半数を超える高い結果となった。

## 図 ６－９　多摩区の生活環境（性年代別）

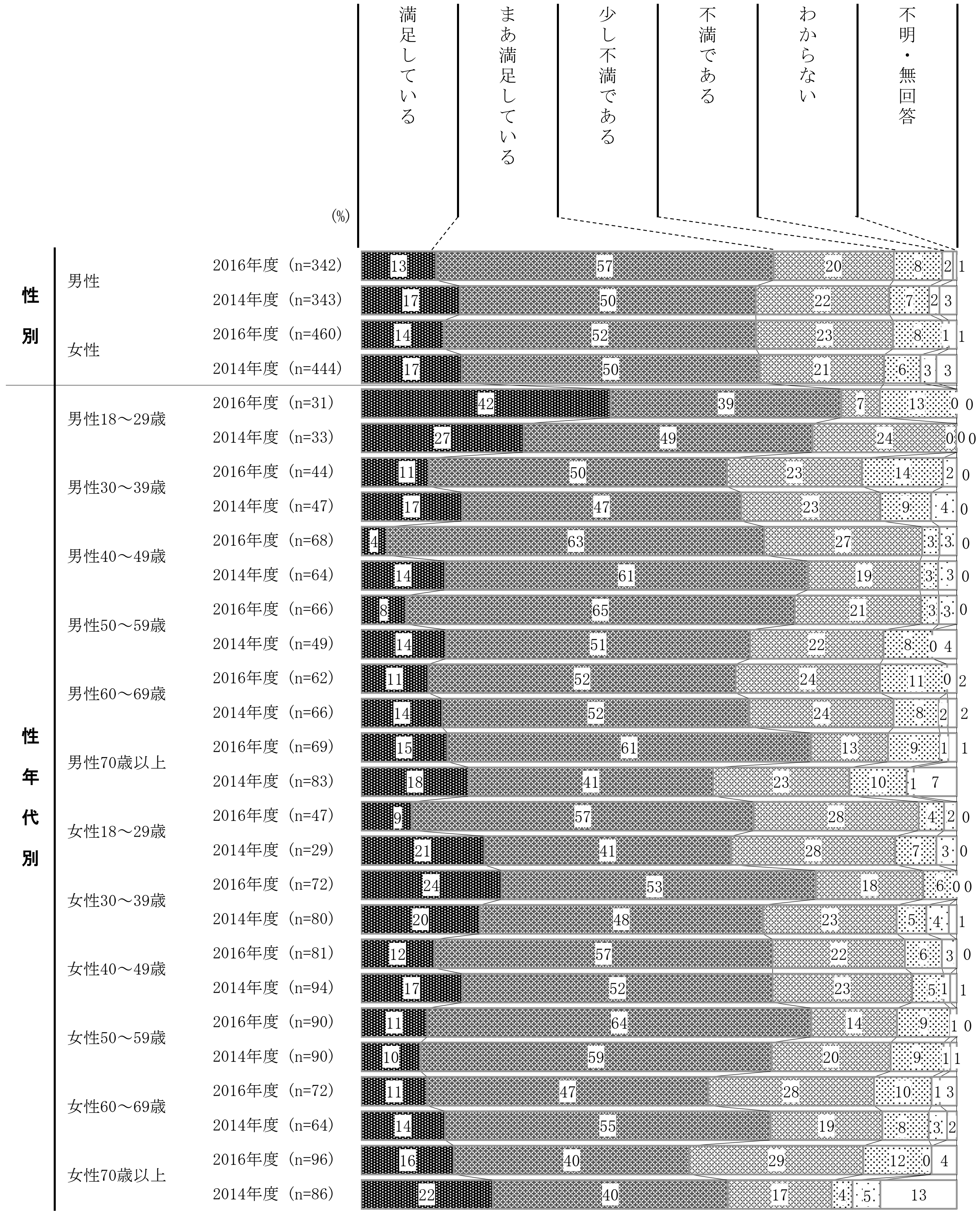
### （ク）買い物の便利さ




「買い物の便利さ」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性30～39歳を除き、どの性年代別でも半数を超える高い結果となった。男性30～39歳は2014年度と比較し21ポイント低くなっている。

## 図６－１０　多摩区の生活環境（性年代別）

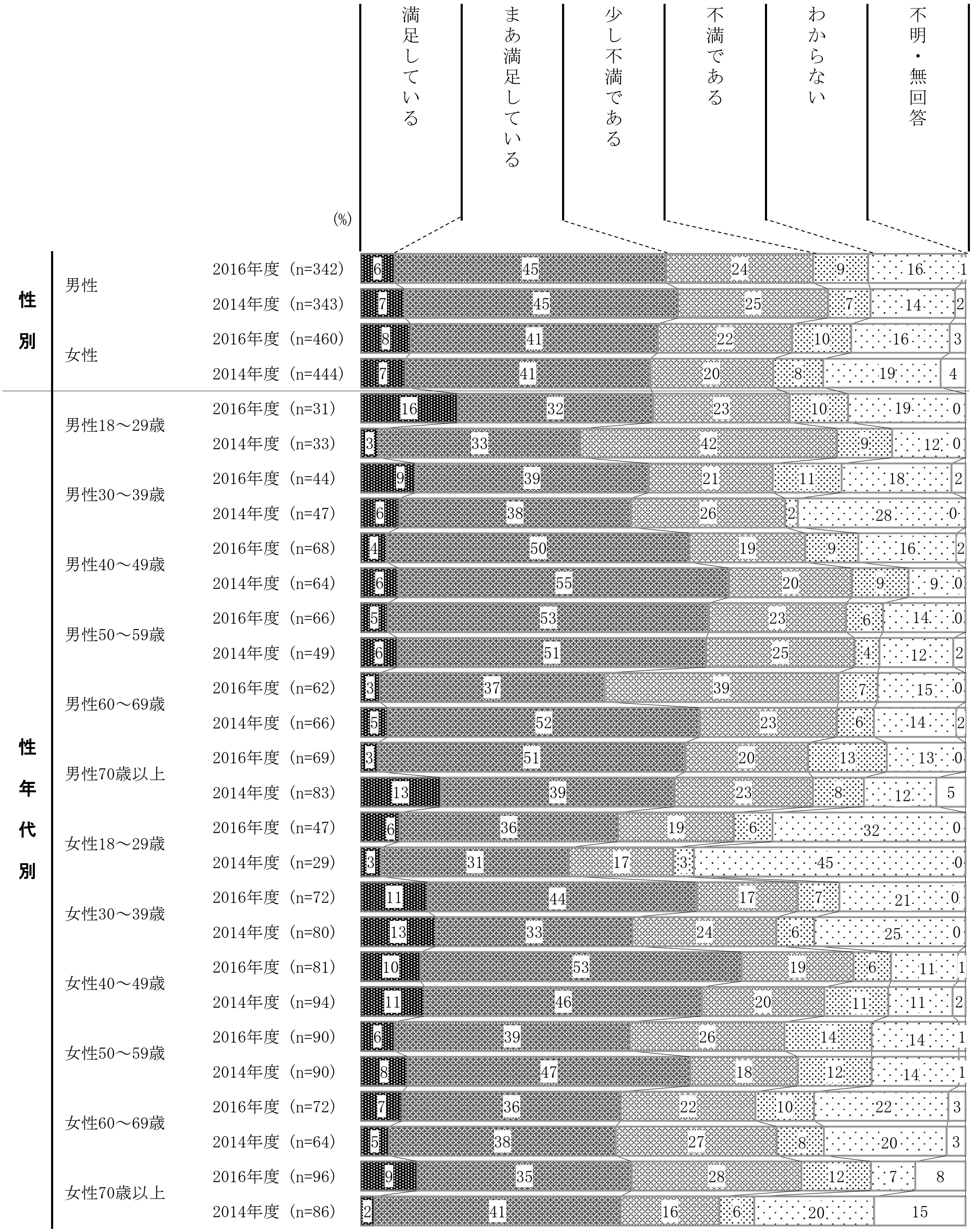
### （ケ）病院や医院までの距離




「病院や医院までの距離」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男女ともに半数を超える高い結果となった。

## 図 6－11　多摩区の生活環境（性年代別）

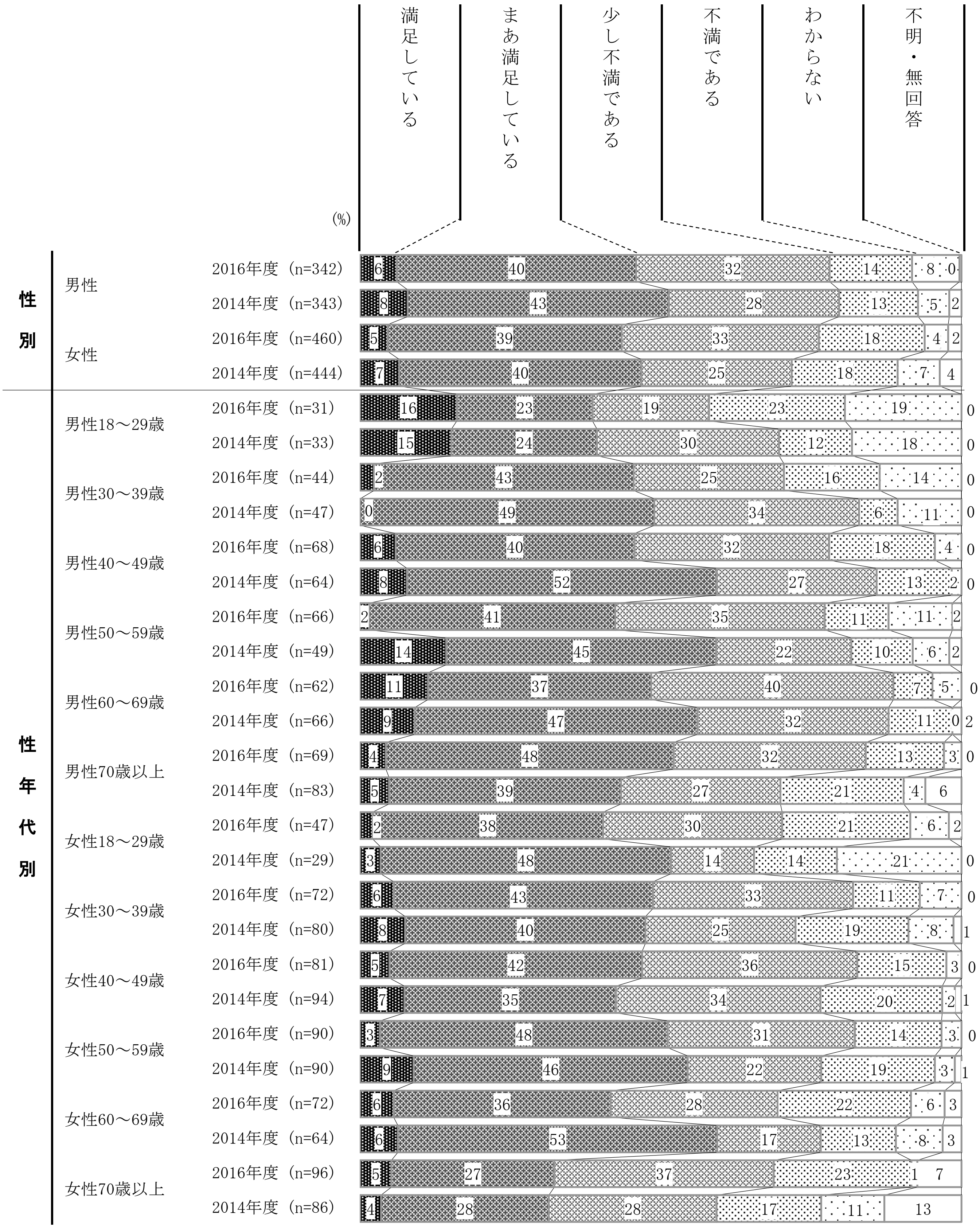
## （コ）休日、夜間などの救急医療体制の充実度




「休日、夜間などの救急医療体制の充実度」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、女性40～49歳が63％と最も高くなっている一方、男性60～69歳は40％と最も低くなっている。

## 図 6－12　多摩区の生活環境（性年代別）

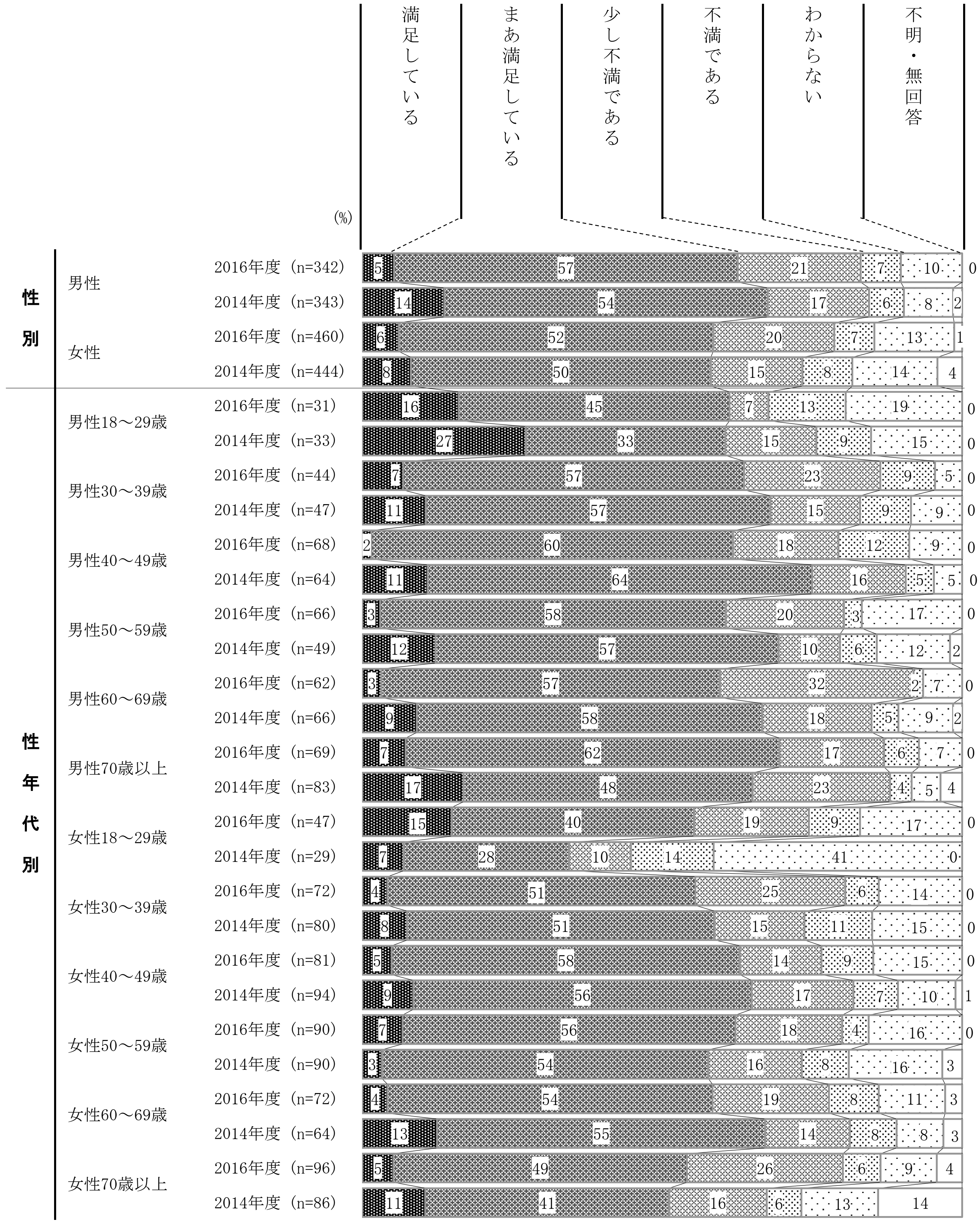
### （サ）市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離




「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性では70歳以上で52%、女性では50～59歳以上で51%とそれぞれ割合が最も高くなっている。

## 図 ６－１３　多摩区の生活環境（性年代別）

### （シ）市や区の窓口サービス

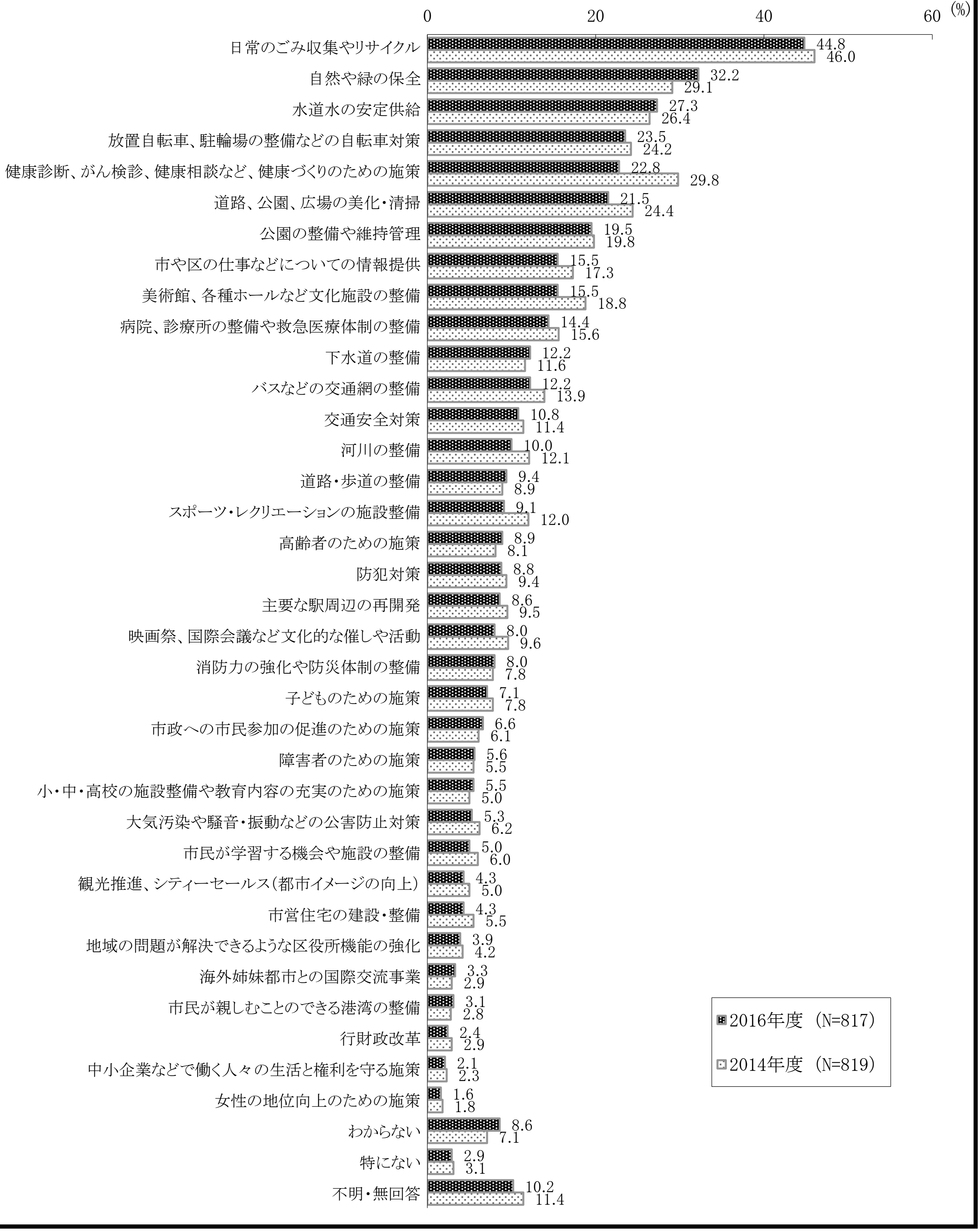



「市や区の窓口サービス」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男女ともに半数を超える高い結果となった。

## ７．市政についてよくやっていると思うもの

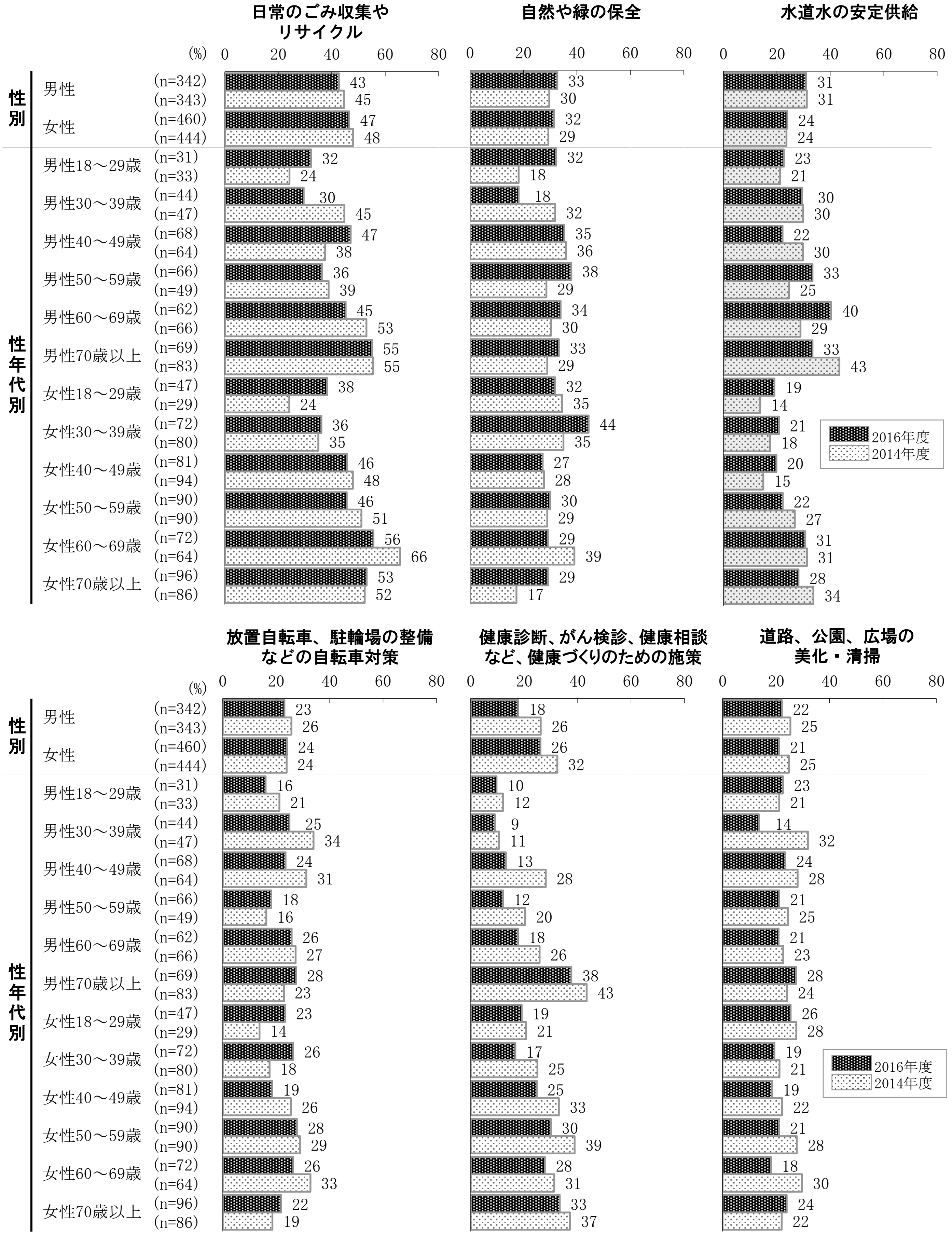
問６　市政について総合的にお伺いします。次にあげる仕事の中で、よくやっていると思われるものは、どれですか。（あてはまるものすべてに○）

**図７－１　市政についてよくやっていると思うもの**




「市政についてよくやっていると思うもの」について聞いたところ、「日常のごみ収集やリサイクル」（44.8％）が最も高く、次いで「自然や緑の保全」（32.2％）、「水道水の安定供給」（27.3％）の順となった。

## 図 7－2　市政についてよくやっていると思うもの
## ＜上位６項目＞（性別・性年代別）

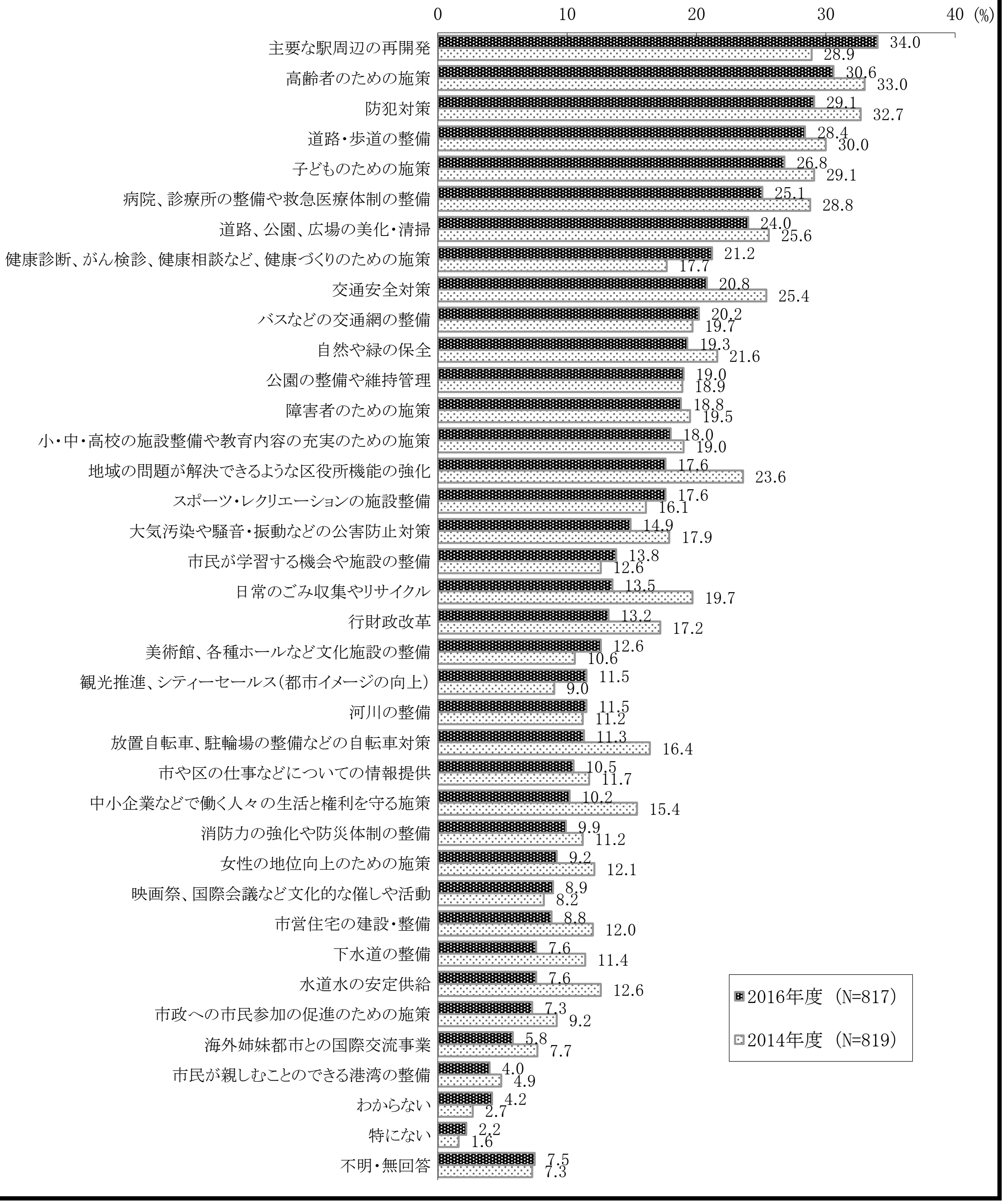



市政についてよくやっていると思うもので「日常のごみ収集やリサイクル」が最も高い結果であったが、2014年度と比較すると性別の男女ともに減少する結果となった。

## ８．市政について今後特に力を入れてほしいもの

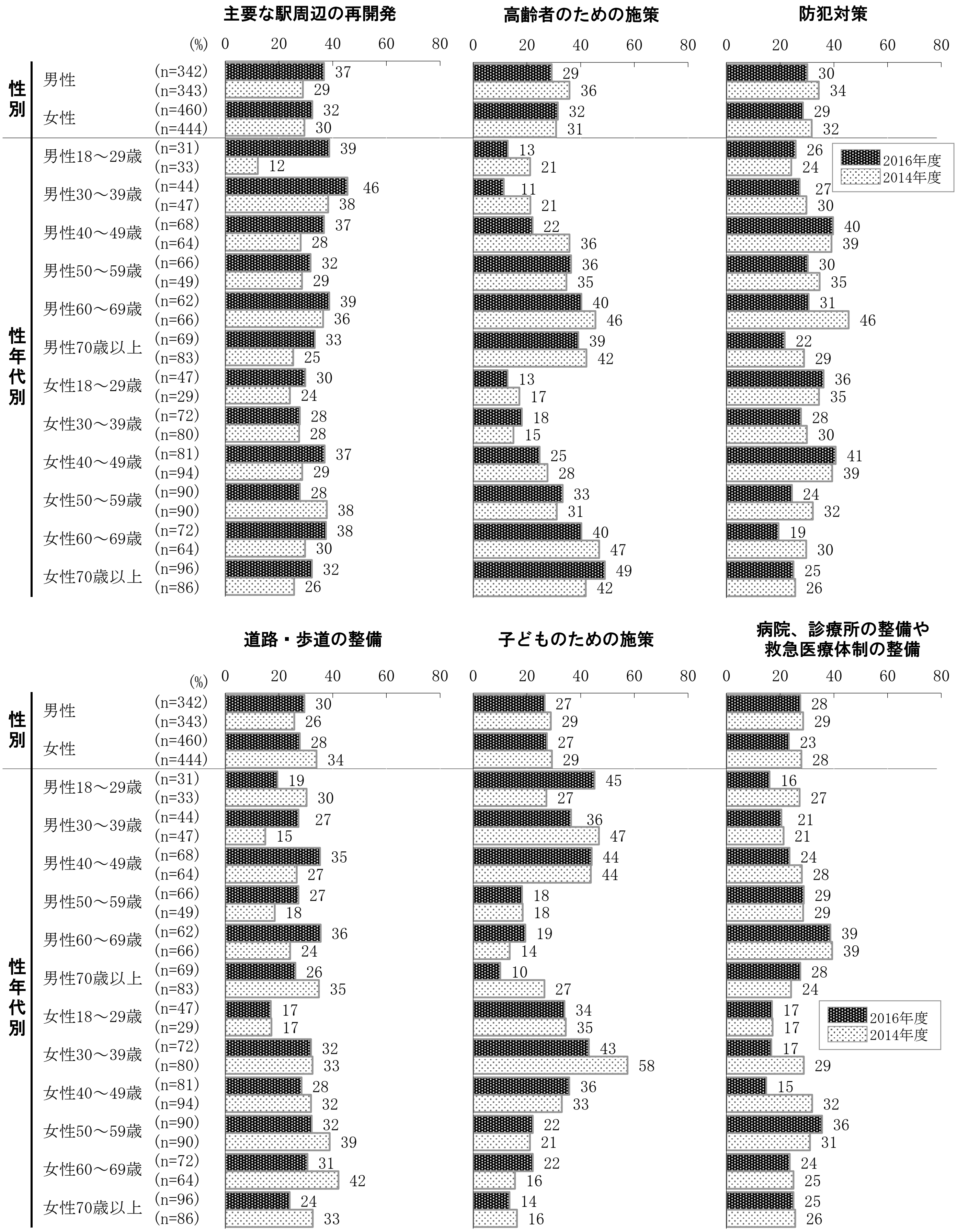
問７　　また、今後特に力を入れてほしいとお考えのものは、どれですか。
（あてはまるものすべてに○）

**図８－１　市政について今後特に力を入れてほしいもの**




「市政について今後特に力を入れてほしいもの」について聞いたところ、「主要な駅周辺の再開発」（34.0％）が最も高く、次いで「高齢者のための施策」（30.6％）、「防犯対策」（29.1％）の順となった。

**図 8－2　市政について今後特に力を入れてほしいもの<br>＜上位６項目＞（性別・性年代別）**



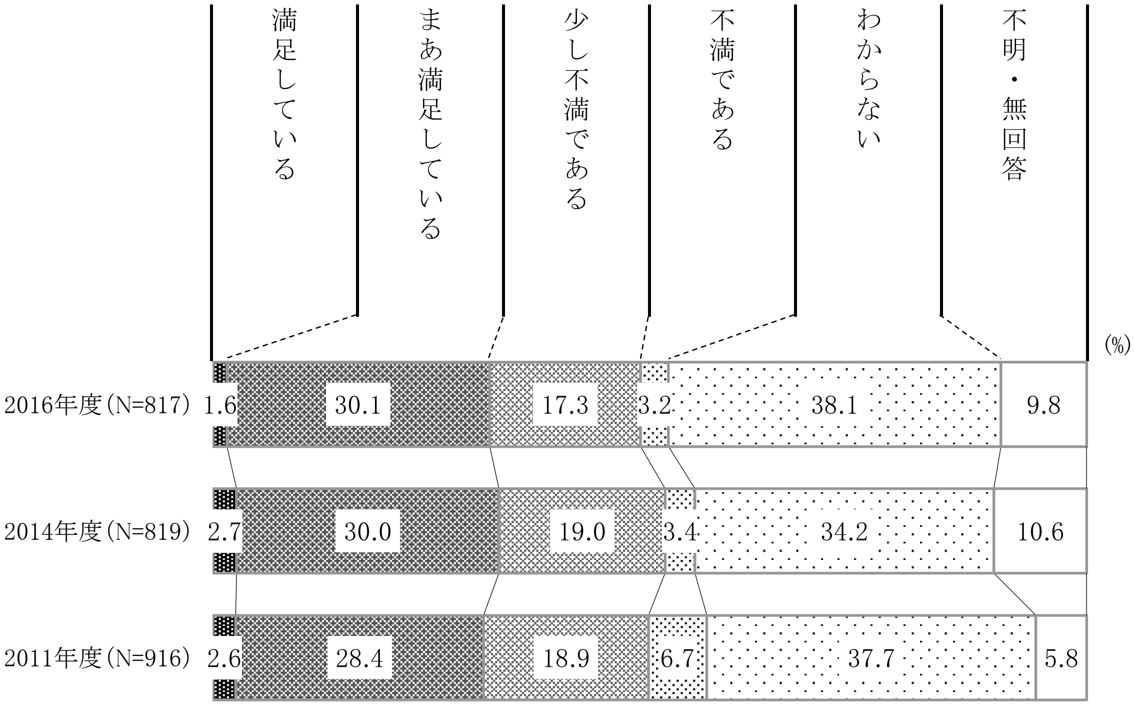

市政について今後特に力を入れてほしいもので「主要な駅周辺の再開発」が2014年度と比較すると男女ともに増加する結果となった。

## ９．市の施策や事業の総合満足度

問８　　川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。

（○は１つだけ）

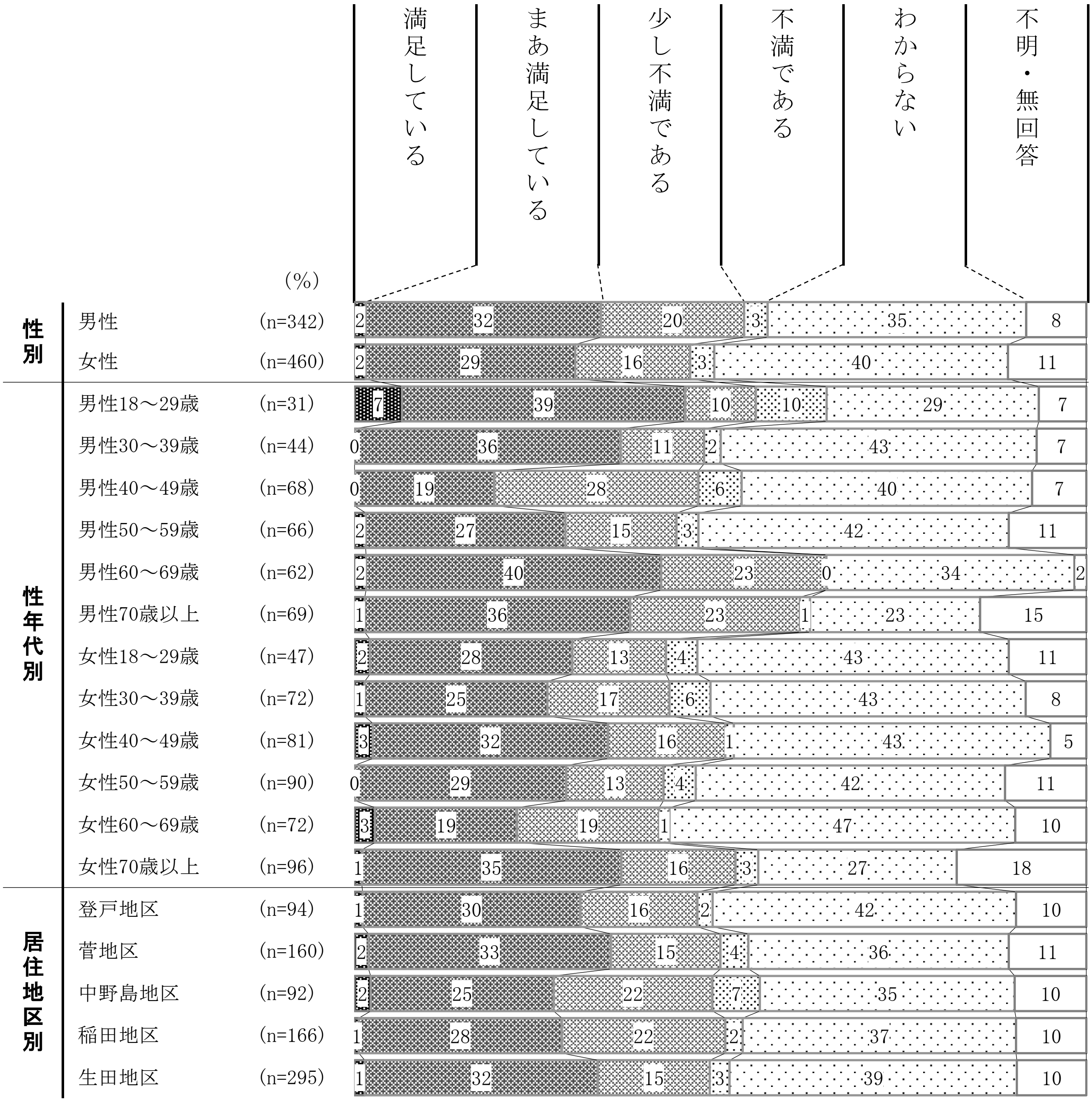
**図 ９－１　市の施策や事業の総合満足度**




「市の施策や事業の総合満足度」について聞いたところ、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』（31.7％）は、ほぼ全体の３分の１となった。

2011年度、2014年度と比較して、大きな差は見られなかった。

## 図 9－2　市の施策や事業の総合満足度（性別・性年代別・居住地区別）




「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性18～29歳と男性60～69歳が40%を超え、他の性年代と比べて高い割合となった。

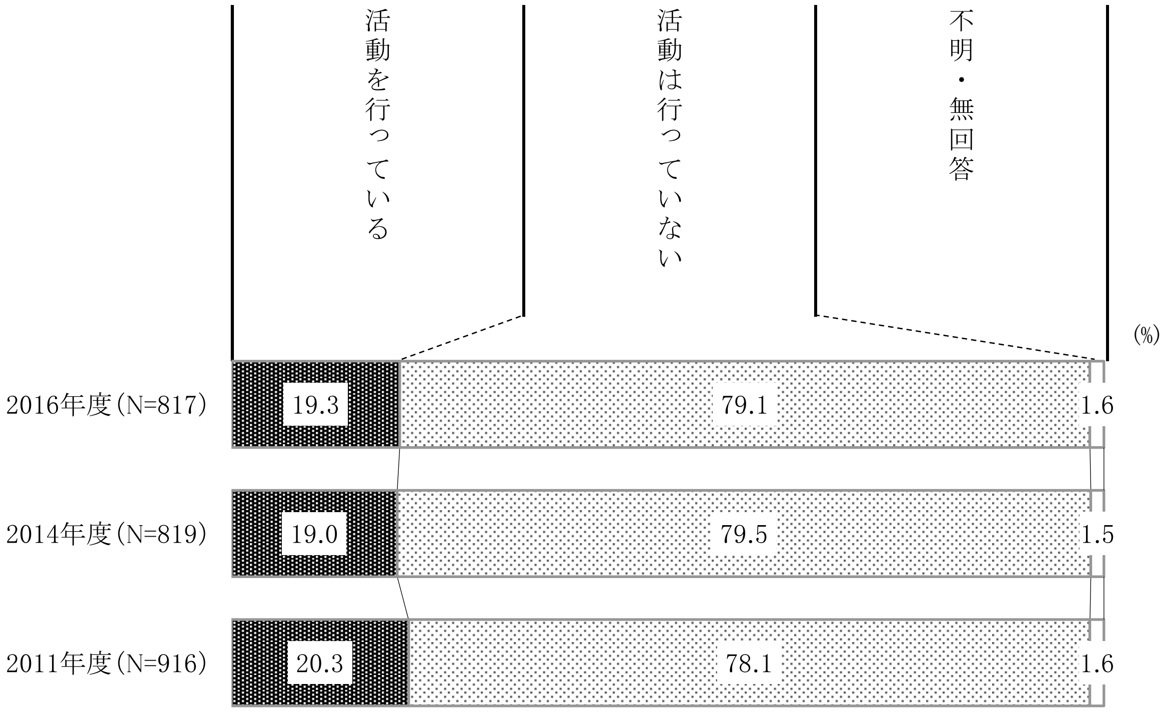
居住地区別では、大きな差は見られなかった。

## １０．地域活動の状況

問９　　あなたは、地域のボランティア活動、サークル活動などを行っていますか。

（○は１つだけ）

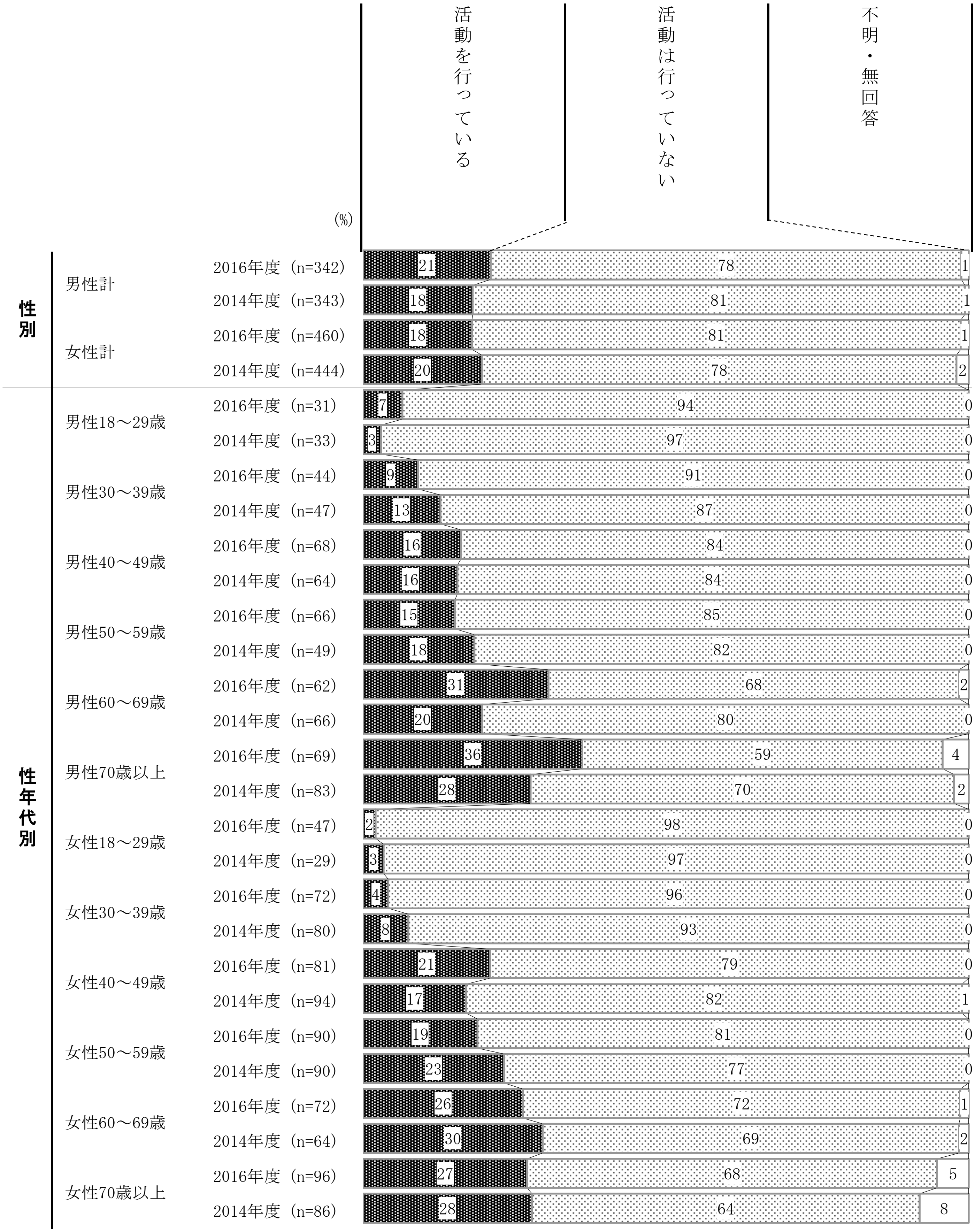
**図 １０－１　地域活動の状況**




地域活動の状況について聞いたところ、「活動は行っていない」（79.1％）が最も高い結果となった。

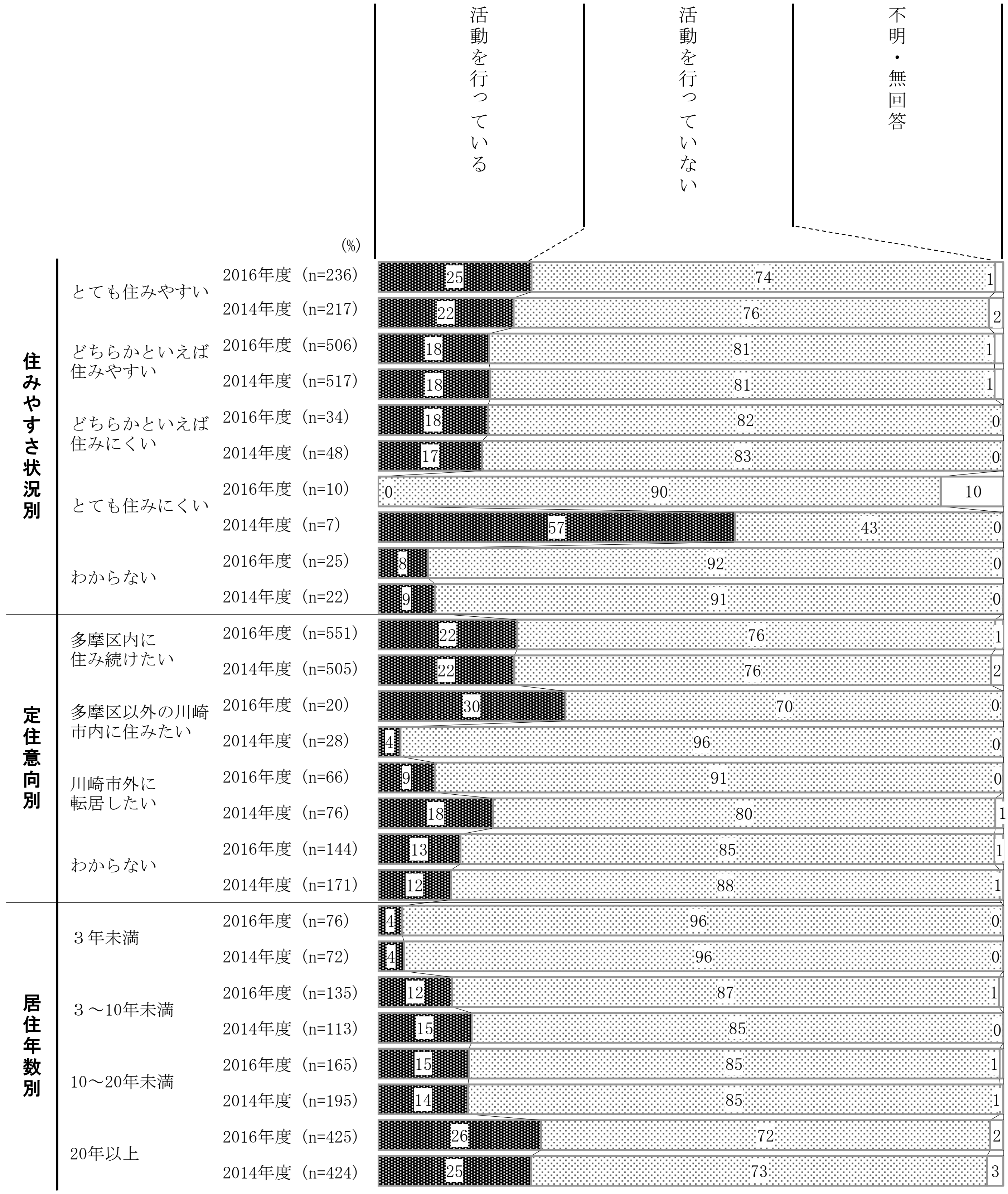
2011年度、2014年度も、「活動は行っていない」が最も高く、ほぼ変わらない結果となった。

## 図 １０－２　地域活動の状況（性別・性年代別）




地域活動の状況について性年代別で見たところ、男女とも2014年度と同様に年代が上昇するにつれ「活動を行っている」率が高い傾向となっている。

## 図１０－３　地域活動の状況
## （住みやすさ状況別・定住意向別・居住年数別）

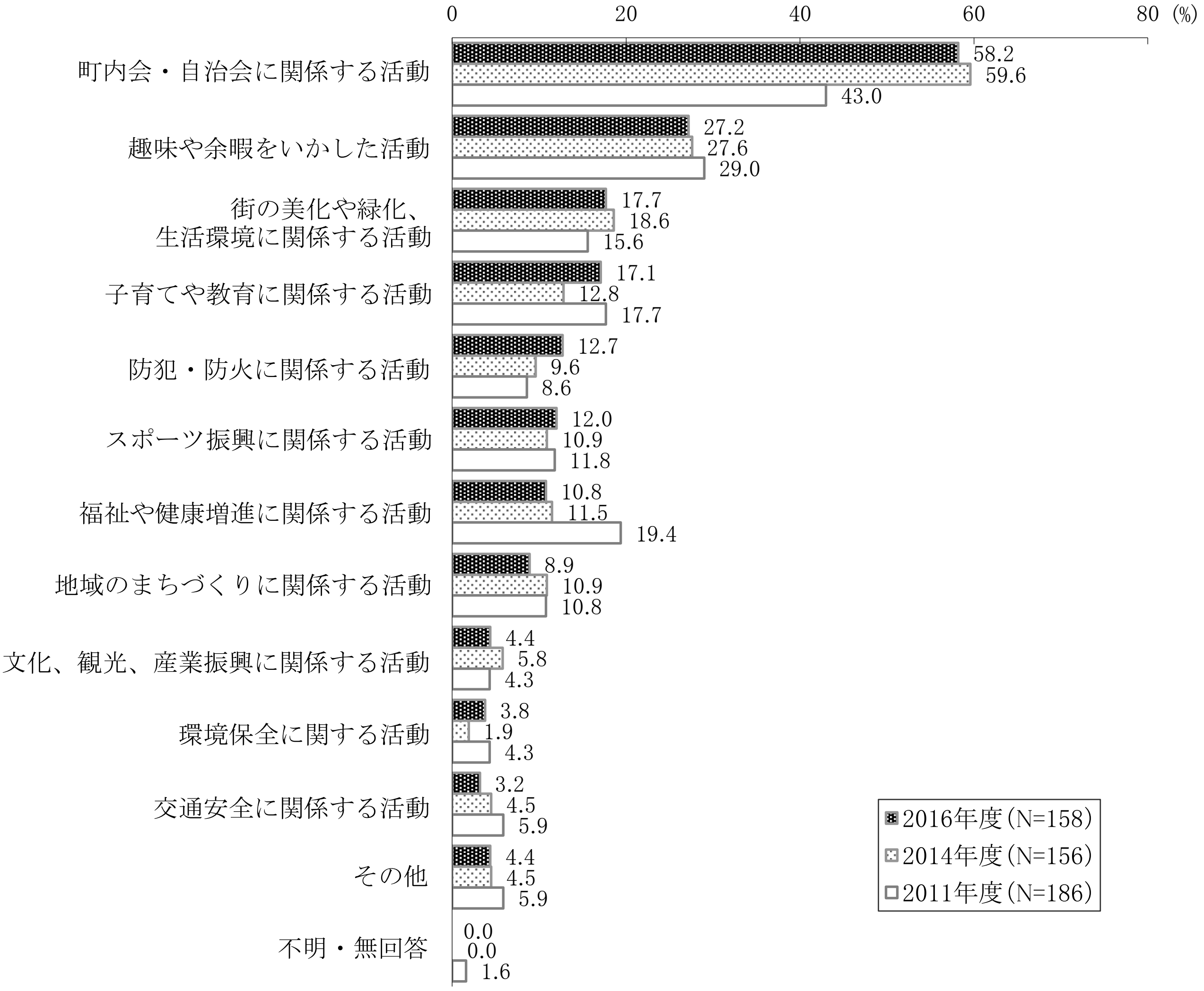



地域活動の状況について住みやすさ状況別で見たところ、「活動を行っている」では、「とても住みやすい」が最も高かった。一方、「とても住みにくい」は2014年度から大きく下がり、０％となった。

## １１．行っている地域活動の分野

問９－１　あなたが地域で活動している団体(グループや個人の活動も含む)の活動分野をお選びください。（あてはまるものすべてに○）

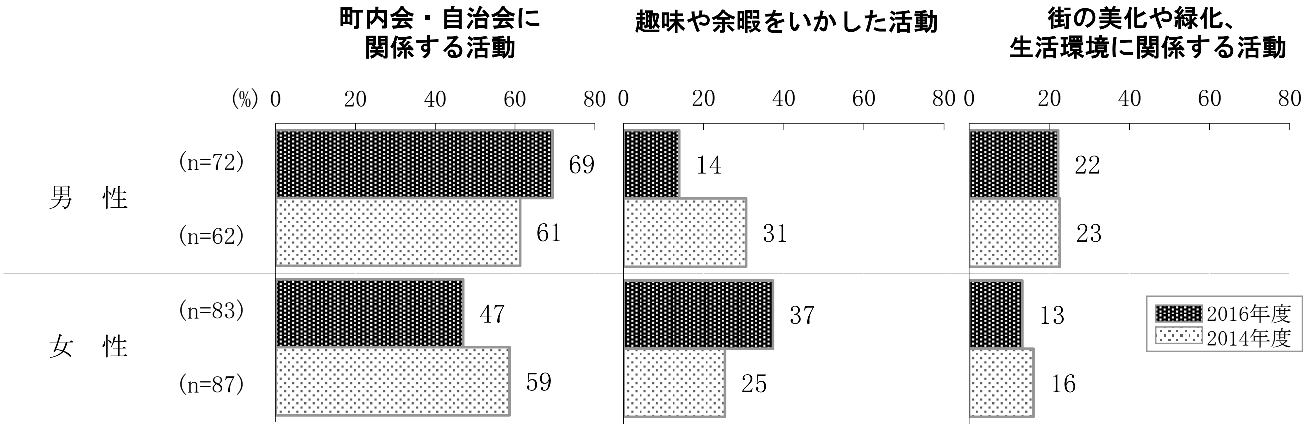
**図 １１－１　行っている地域活動の分野**

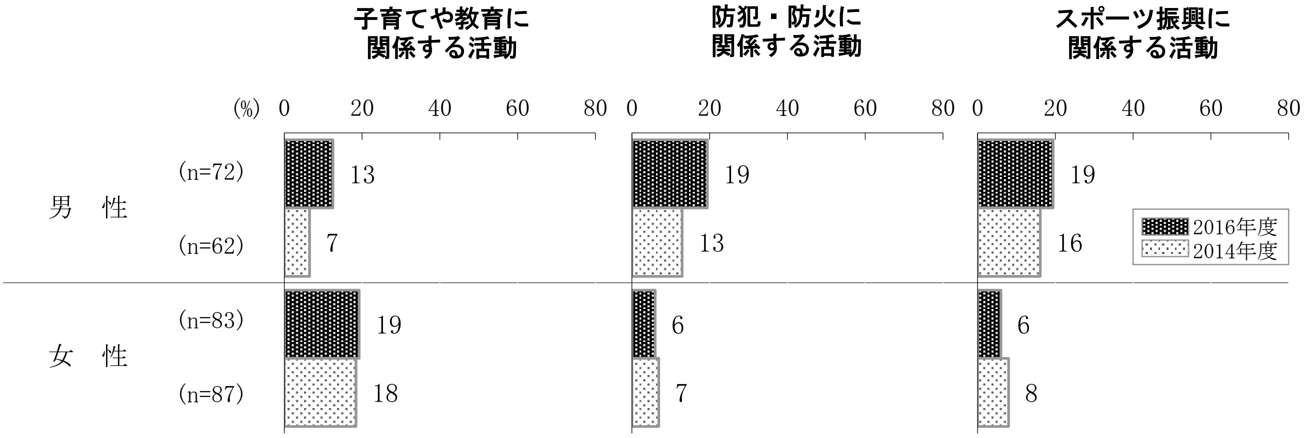



（１０）の地域活動の状況で「活動を行っている」と回答した人に、行っている地域活動の分野について聞いたところ、「町内会・自治会に関係する活動」（58.2%）が最も高く、次いで「趣味や余暇をいかした活動」（27.2%）、「街の美化や緑化、生活環境に関係する活動」（17.7%）の順となった。

2014年度から上位３項目の順位は変わらず、引き続き高い結果となった。

## 図 １１－２　行っている地域活動の分野
## ＜上位６項目＞（性別）



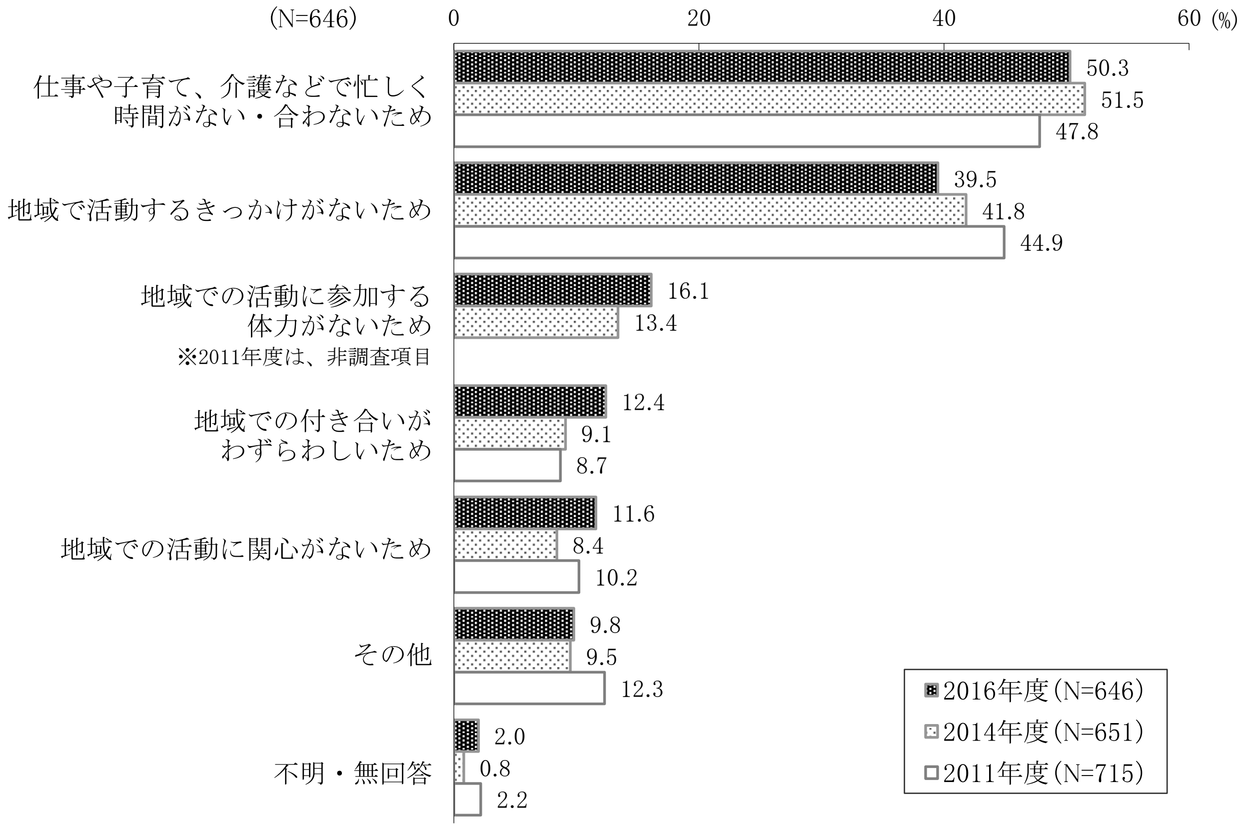




行っている地域活動の分野について性別で見たところ、「町内会・自治会に関係する活動」で男性が女性より22ポイント高い結果になった。また2014年度と比較して、男性は８ポイント上昇したが、女性は12ポイント減少した。

## １２．地域活動を行っていない理由

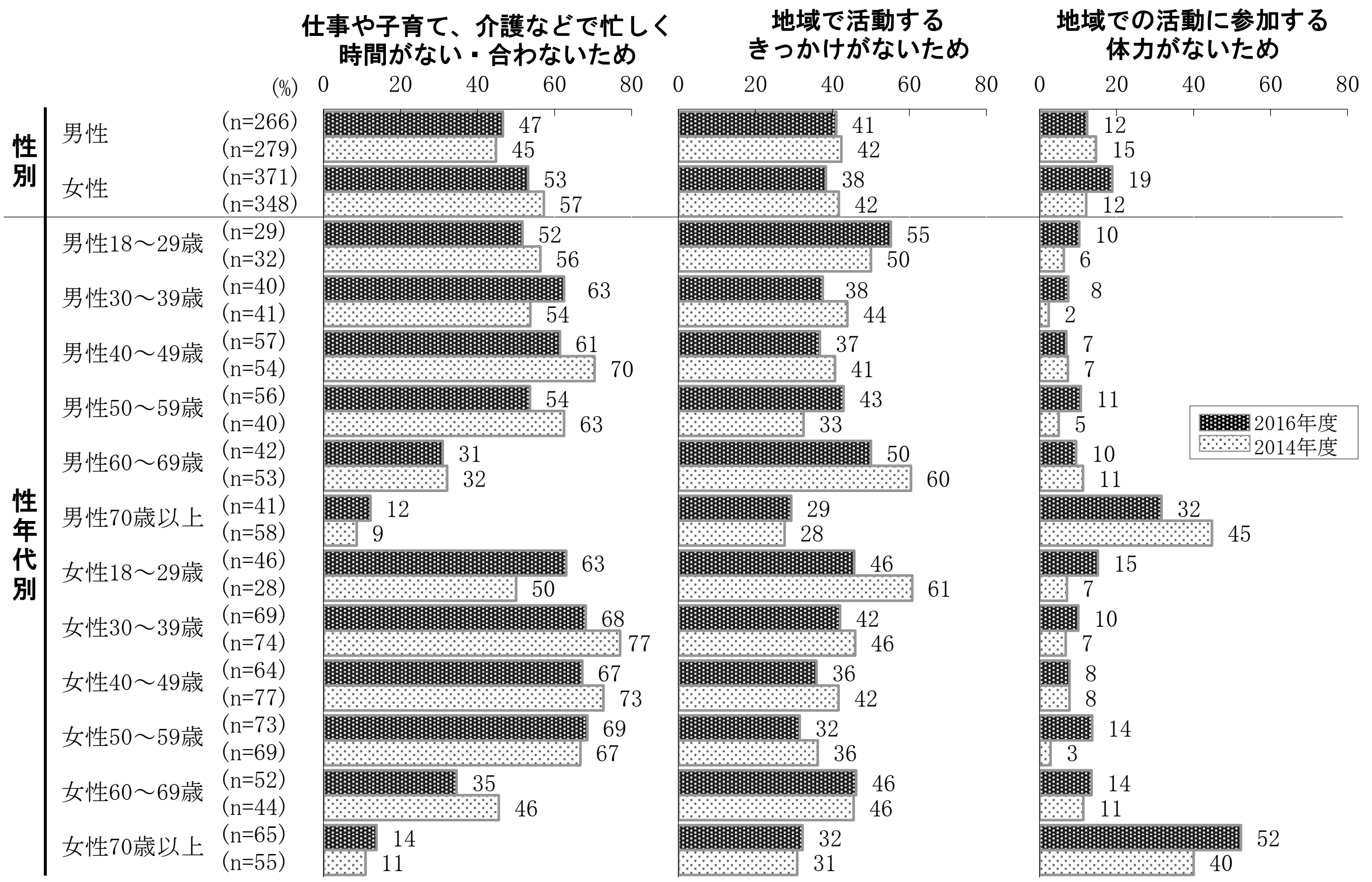
問９－２　あなたが地域でのボランティア活動などを行っていない理由をお選びください。
（あてはまるものすべてに○）

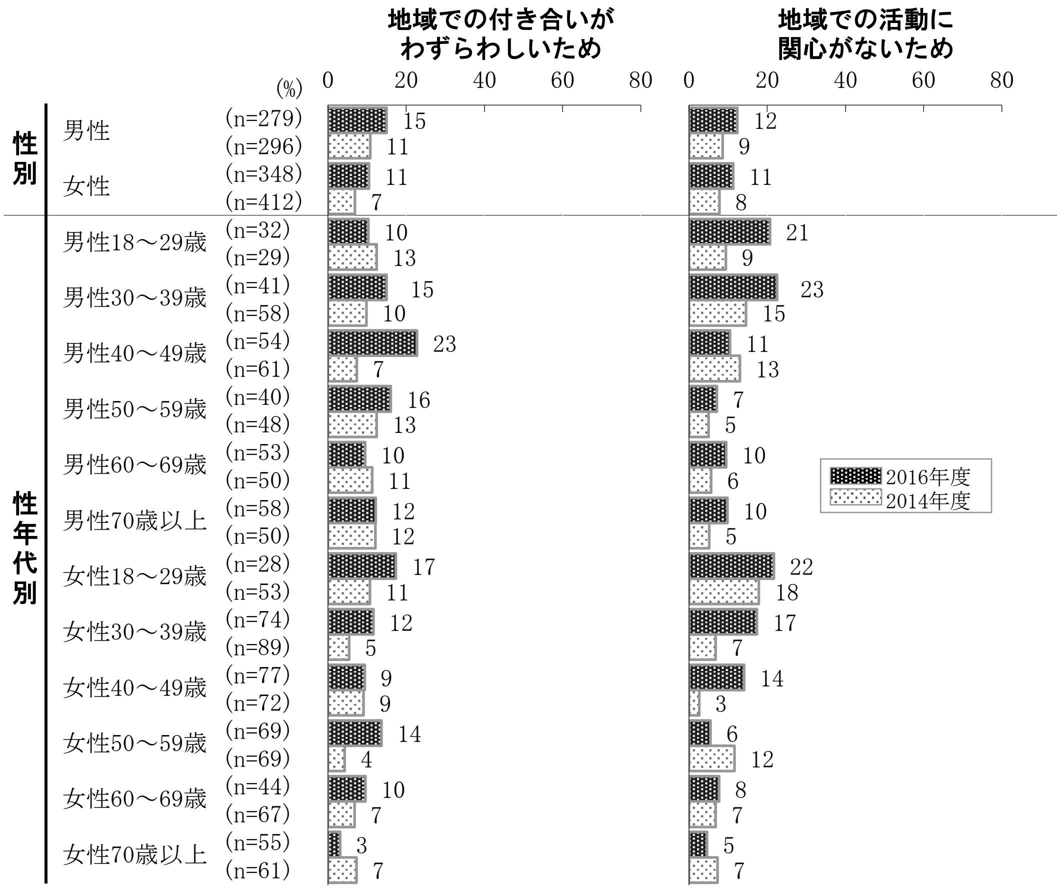
**図 １２－１　地域活動を行っていない理由**




（１０）の地域活動の状況で「活動は行っていない」と回答した人に、地域活動を行っていない理由について聞いたところ、「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため」（50.3%）が最も高く、次いで「地域で活動するきっかけがないため」（39.5%）、「地域での活動に参加する体力がないため」（16.1%）の順となった。

# 図 １２－２　地域活動を行っていない理由（性別・性年代別）



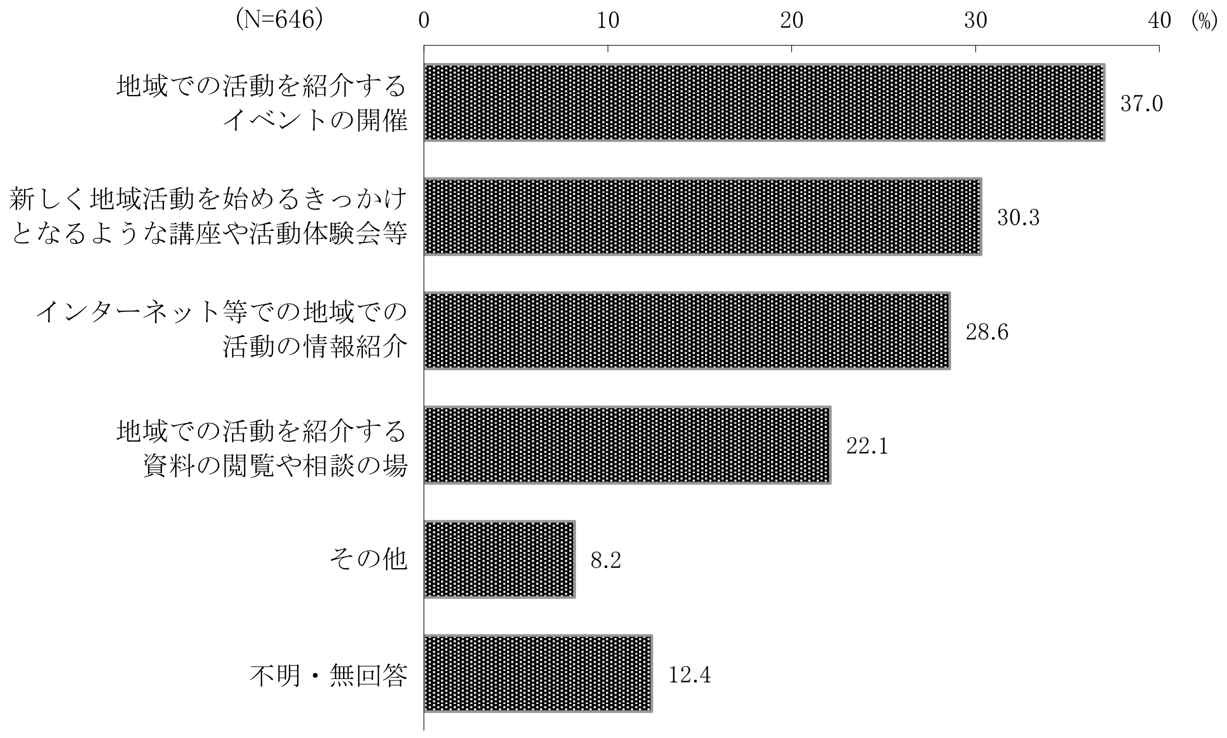




「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため」では、男性では30～49歳、女性では18～59歳までが60％を超え高くなっており、「地域での活動に参加する体力がないため」では、男女ともに70歳以上が高い結果となった。

## １３．地域活動を始めるために必要な機会や場

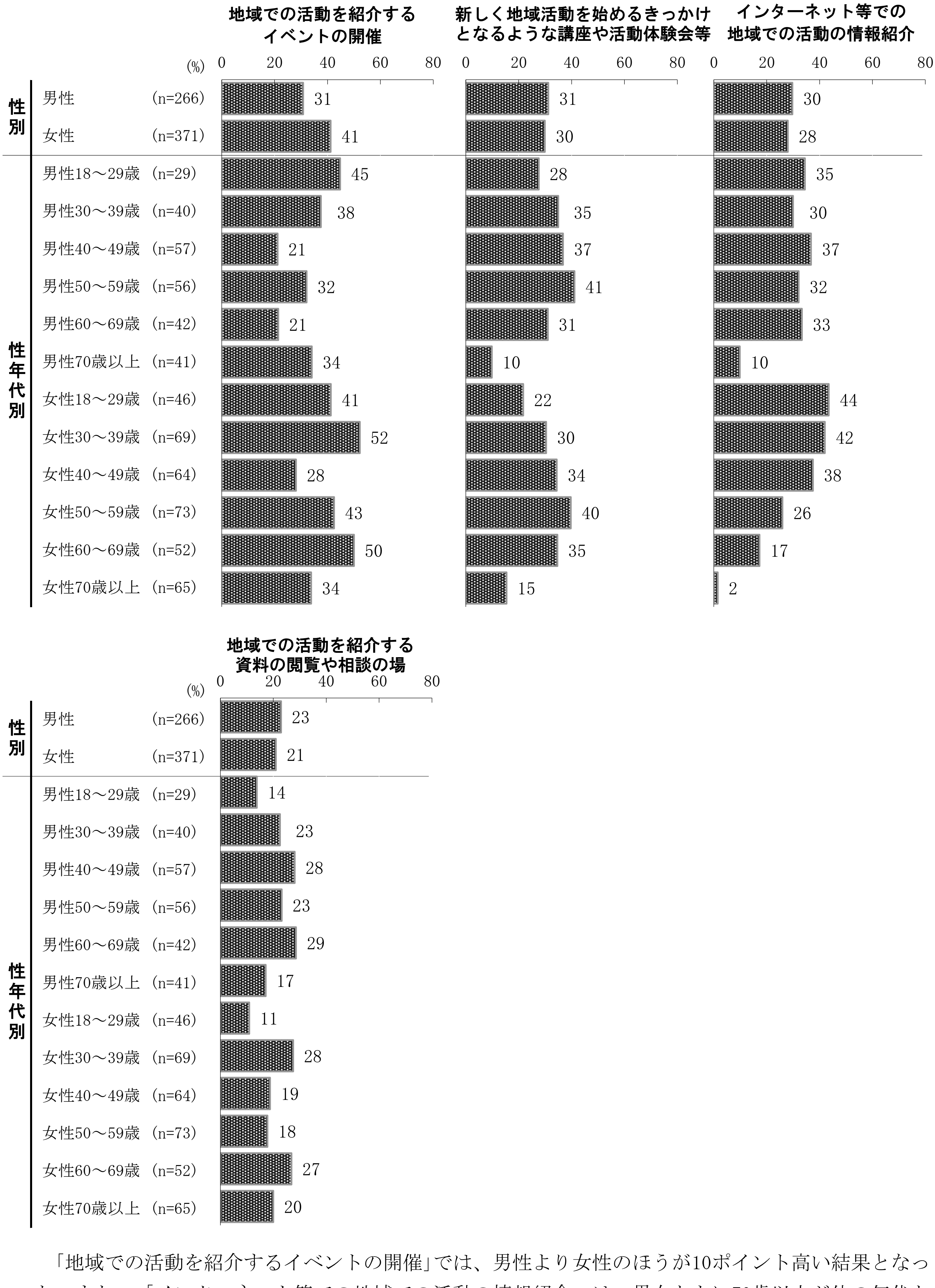
問９－３　あなたが地域でのボランティア活動を始めるきっかけとして、どのような機会や場が必要と思いますか。（あてはまるものすべてに○）

**図 １３－１　地域活動を始めるために必要な機会や場**




（１０）の地域活動の状況で「活動は行っていない」と回答した人に、地域活動を始めるために必要な機会や場について聞いたところ、「地域での活動を紹介するイベントの開催」（37.0%）が最も高く、次いで「新しく地域活動を始めるきっかけとなるような講座や活動体験会等」(30.3%)、「インターネット等での地域での活動の情報紹介」（28.6%）の順となった。

## 図 １３－２　地域活動を始めるために必要な機会や場

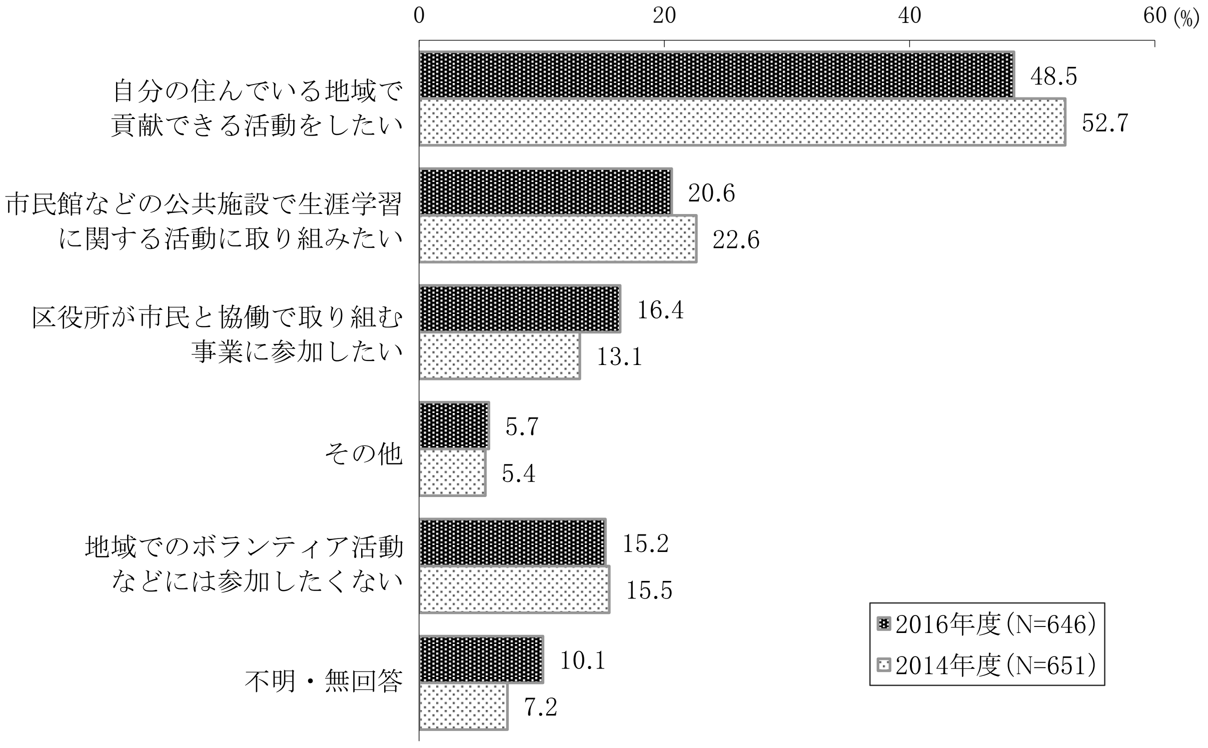



「地域での活動を紹介するイベントの開催」では、男性より女性のほうが10ポイント高い結果となった。また、「インターネット等での地域での活動の情報紹介」は、男女ともに70歳以上が他の年代と比べて低かった。

## １４．地域活動への取り組み意向

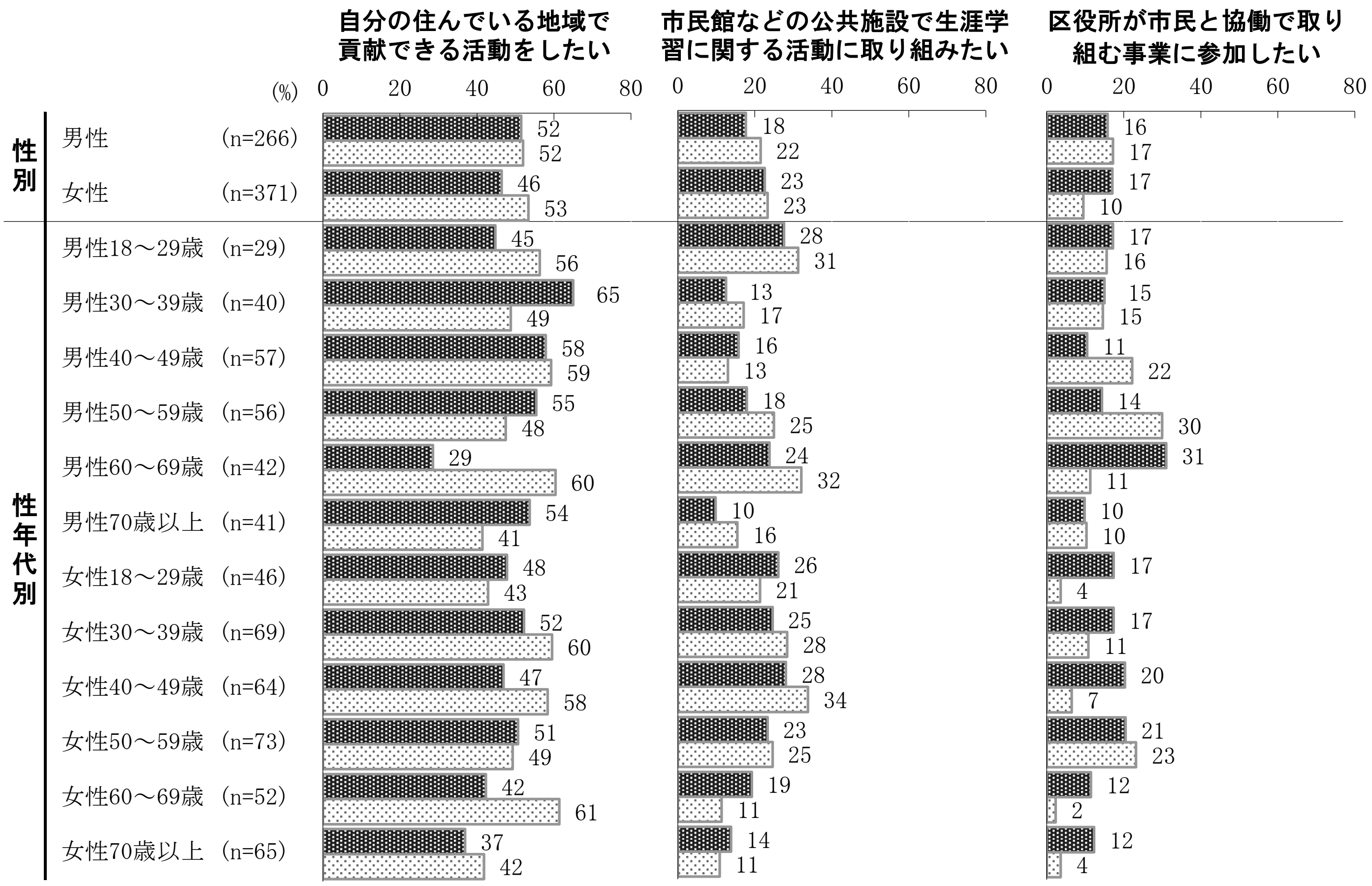
問９－４　地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのようなかたちで地域で活動をしたいですか。（あてはまるものすべてに○）

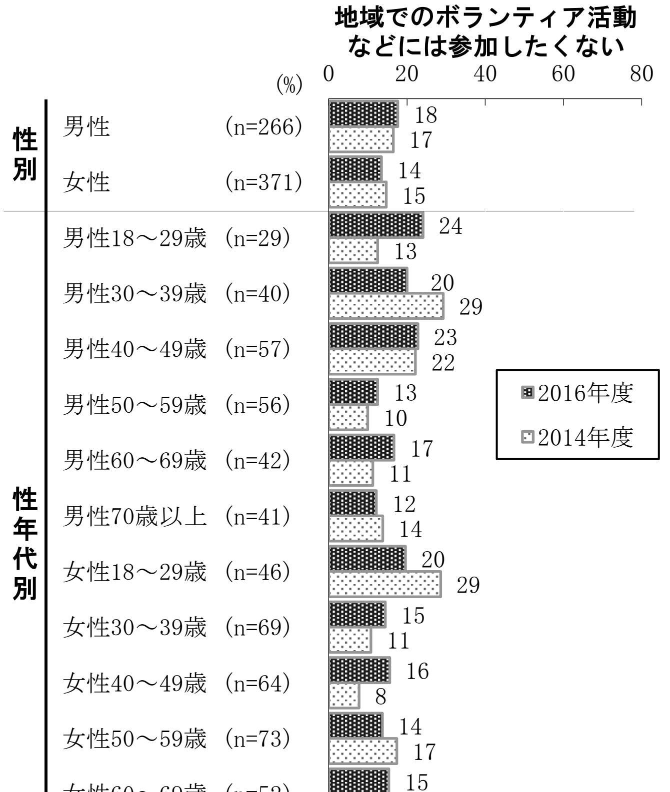
**図 １４－１　地域活動への取り組み意向**




（１０）の地域活動の状況で「活動は行っていない」と回答した人に、地域活動への取り組み意向について聞いたところ、「自分の住んでいる地域で貢献できる活動をしたい」（48.5％）が最も高く、次いで「市民館などの公共施設で生涯学習に関する活動に取り組みたい」（20.6％）、「区役所が市民と協働で取り組む事業に参加したい」（16.4％）の順となった。

## 図 １４－２　地域活動への取り組み意向（性別・性年代別）



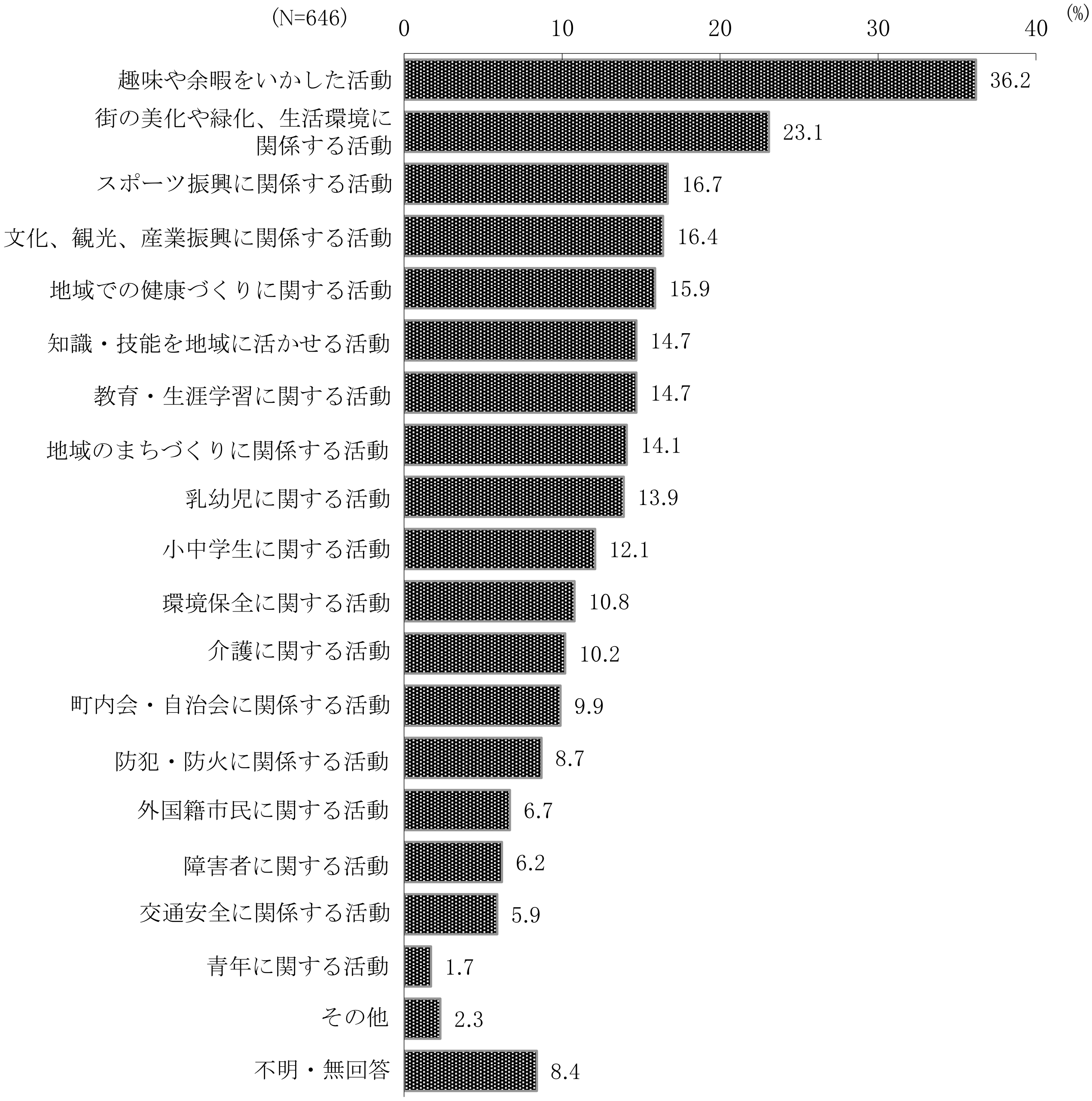




「自分の住んでいる地域で貢献できる活動をしたい」では、男性30～39歳で60％を超え、高い結果となった。

## １５．地域活動への関心分野

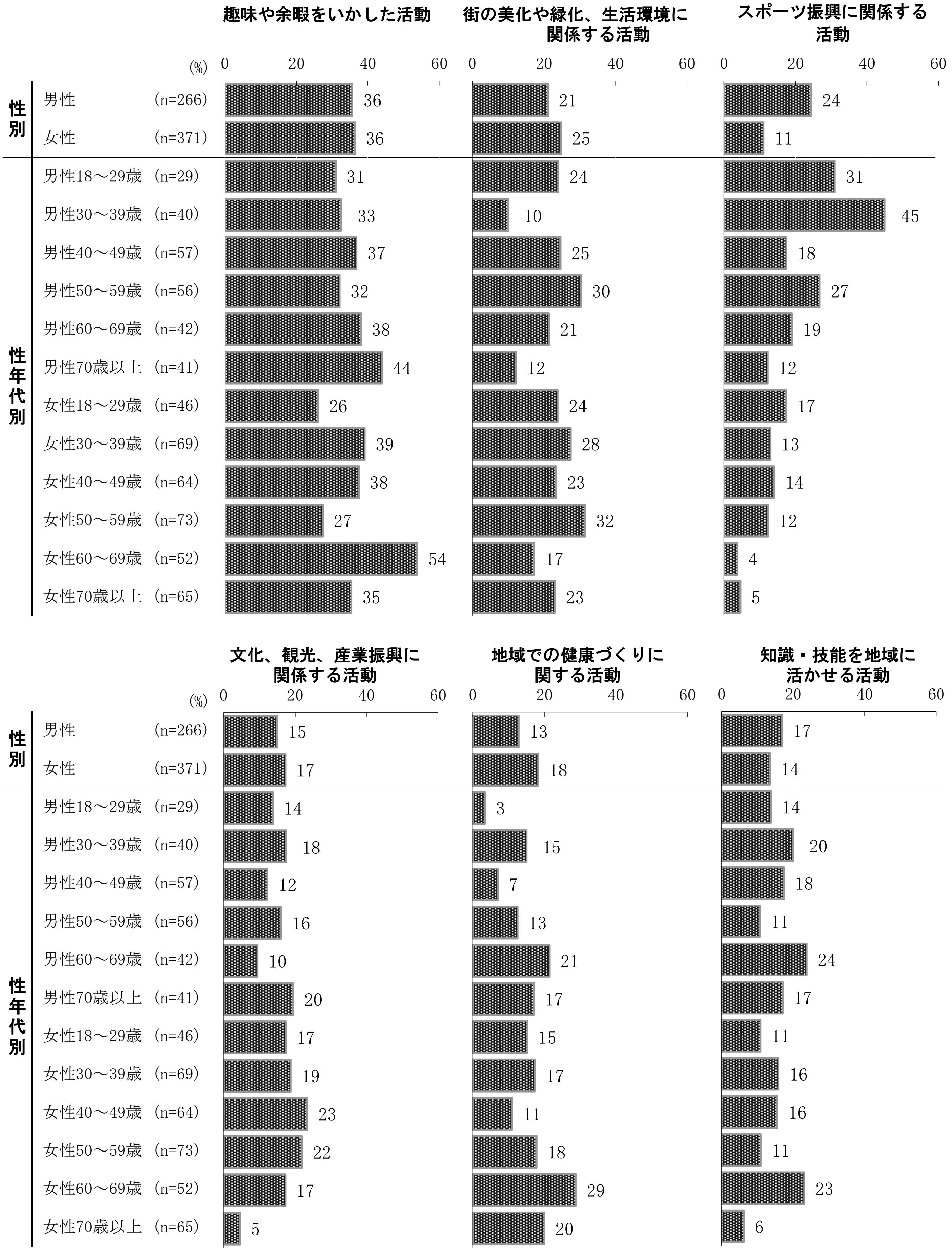
問９－５　地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのような分野に関心がありますか。次の中から３つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は３つまで）

**図 １５－１　地域活動への関心分野**




「地域活動への関心分野」について聞いたところ、「趣味や余暇をいかした活動」が36.2％と最も高い結果となった。次いで、「街の美化や緑化、生活環境に関係する活動」（23.1％）、「スポーツ振興に関係する活動」（16.7％）、「文化、観光、産業振興に関係する活動」（16.4％）、「地域での健康づくりに関する活動」（15.9％）の順となった。

## 図１５－２　地域活動への関心分野

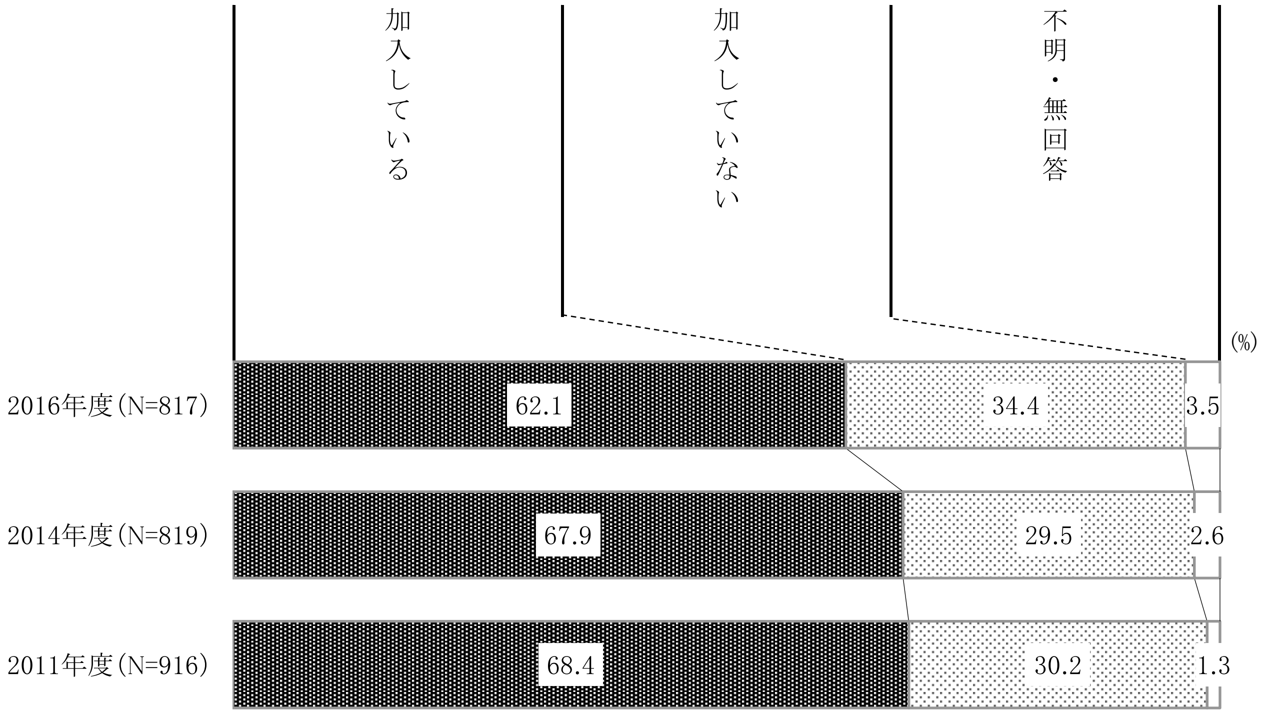



「趣味や余暇をいかした活動」では、男性では70歳以上が最も高く、女性では60～69歳が半数を超え高い結果となった。

## １６．町内会・自治会への加入状況

問10　あなたは、町内会・自治会に加入していますか。（○は１つだけ）

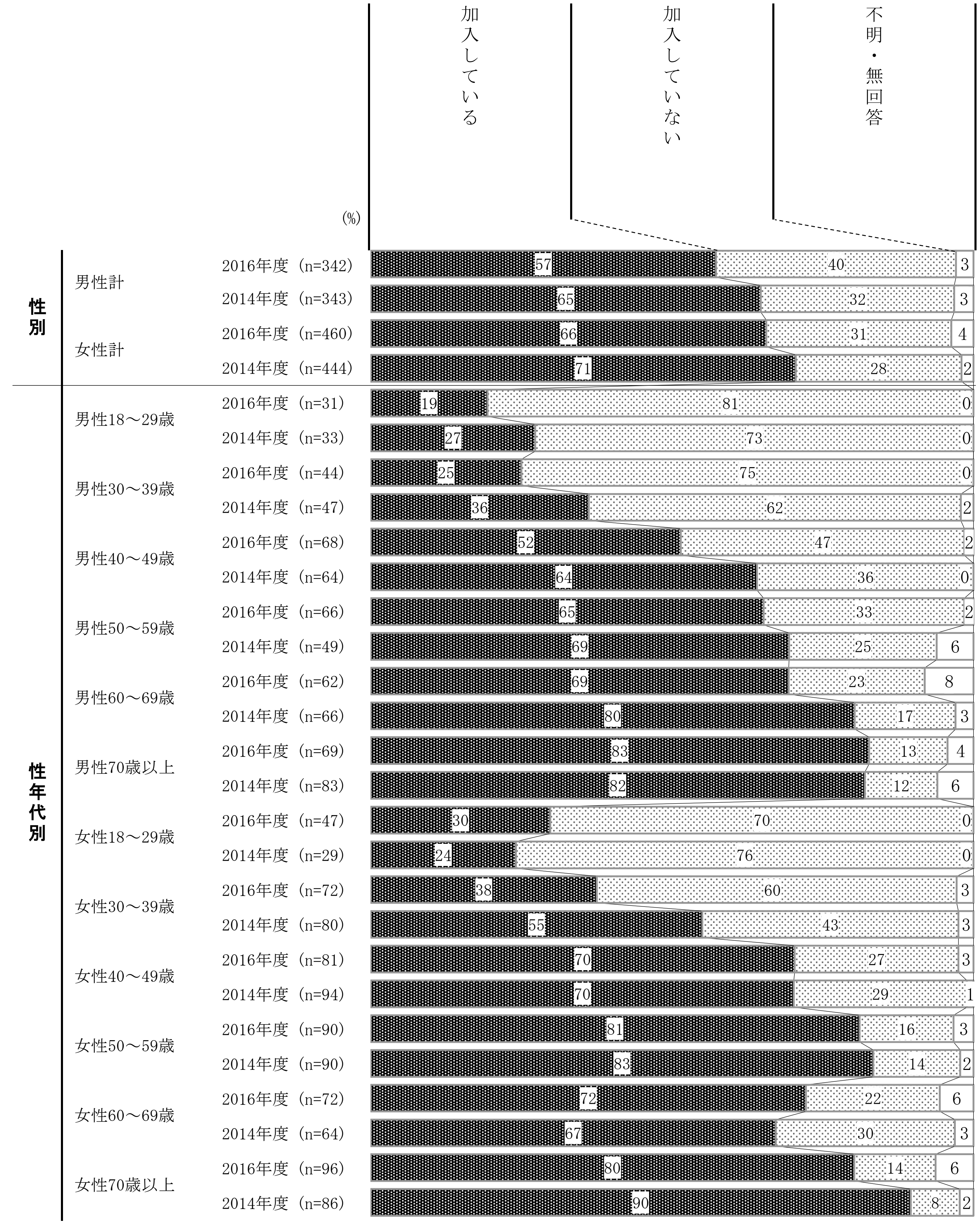
**図 １６－１　町内会・自治会への加入状況**




「町内会・自治会への加入状況」について聞いたところ、「加入している」（62.1％）が最も高い結果となった。

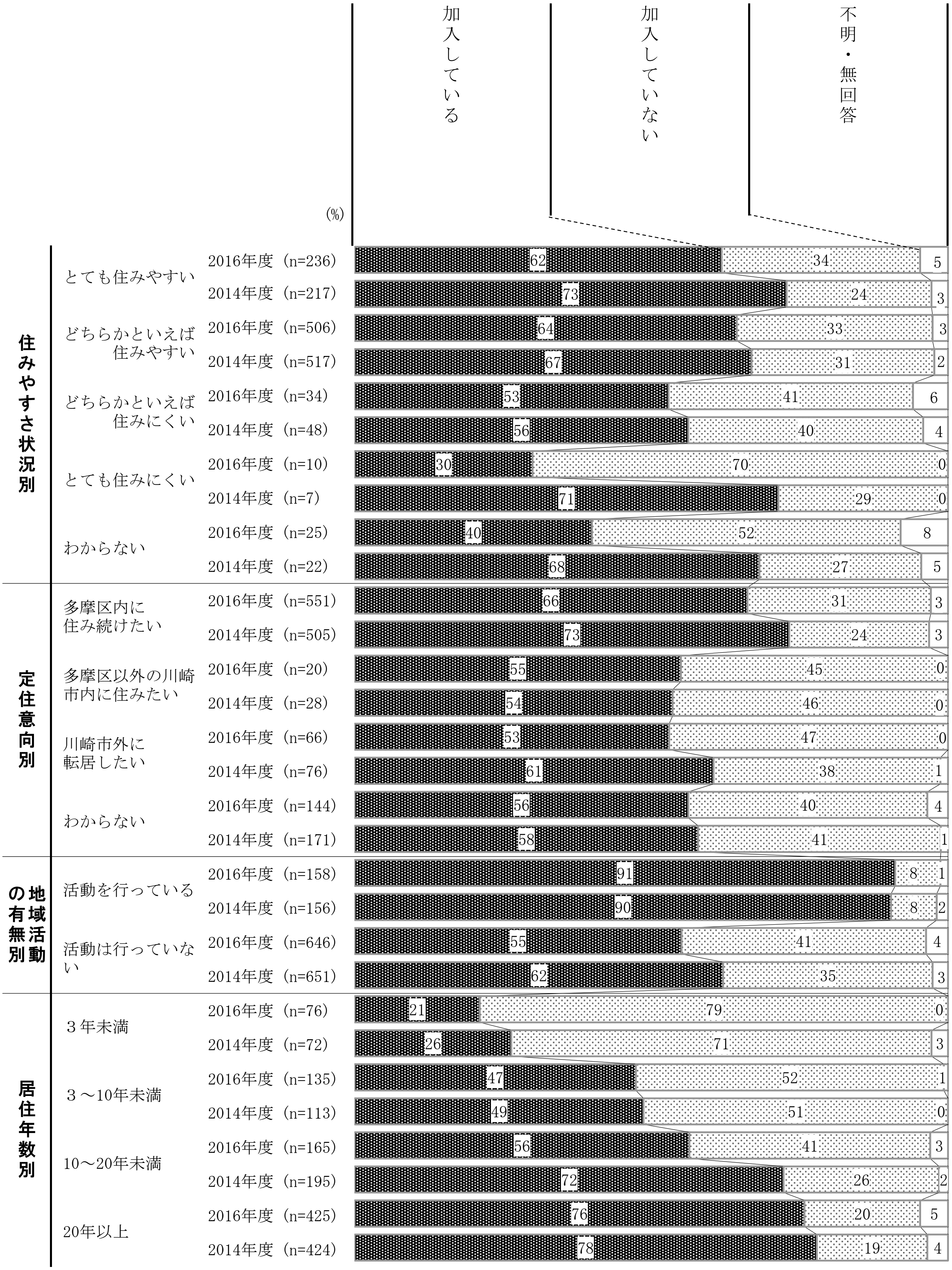
2014年度も、「加入している」（67.9％）が最も高かったが、2016年度は5.8ポイント減少した。

## 図 １６－２　町内会・自治会への加入状況（性別・性年代別）




町内会・自治会への加入状況について性年代別で見たところ、男女ともに40歳以上での「加入している」率が50％を超え、高い結果となった。また、2014年度と比較すると、割合の大きな変動は見られなかった。

## 図 16－3　町内会・自治会への加入状況
## （住みやすさ状況別・定住意向別・地域活動の有無別・居住年数別）

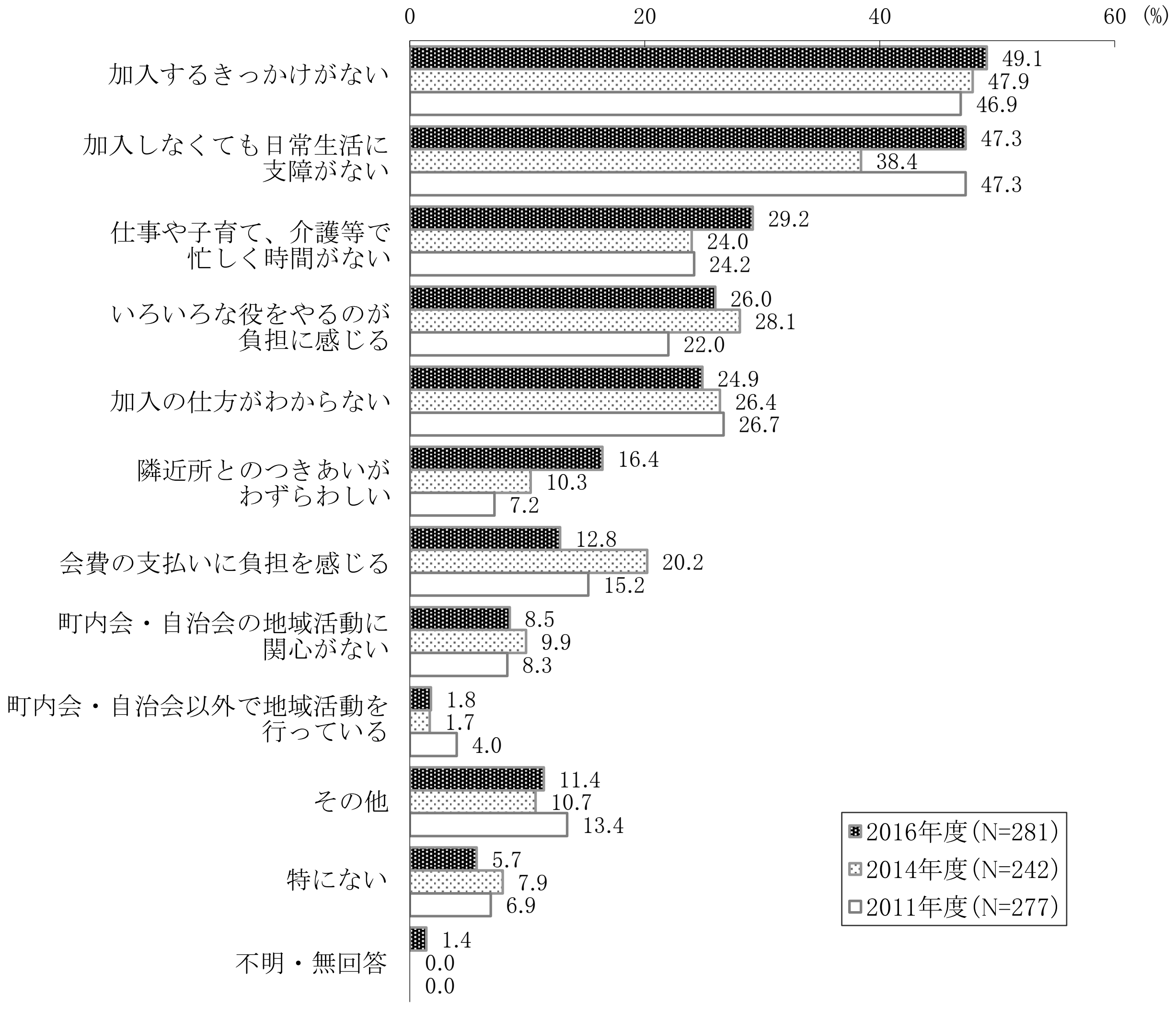



町内会・自治会への加入状況では、居住年数が長いほど「加入している」率が高い傾向となっており、2014年度と同様の傾向となった。

## １７．町内会・自治会に加入していない理由

問10－１　あなたが町内会・自治会に加入していない理由をお選びください。
（あてはまるものすべてに○）

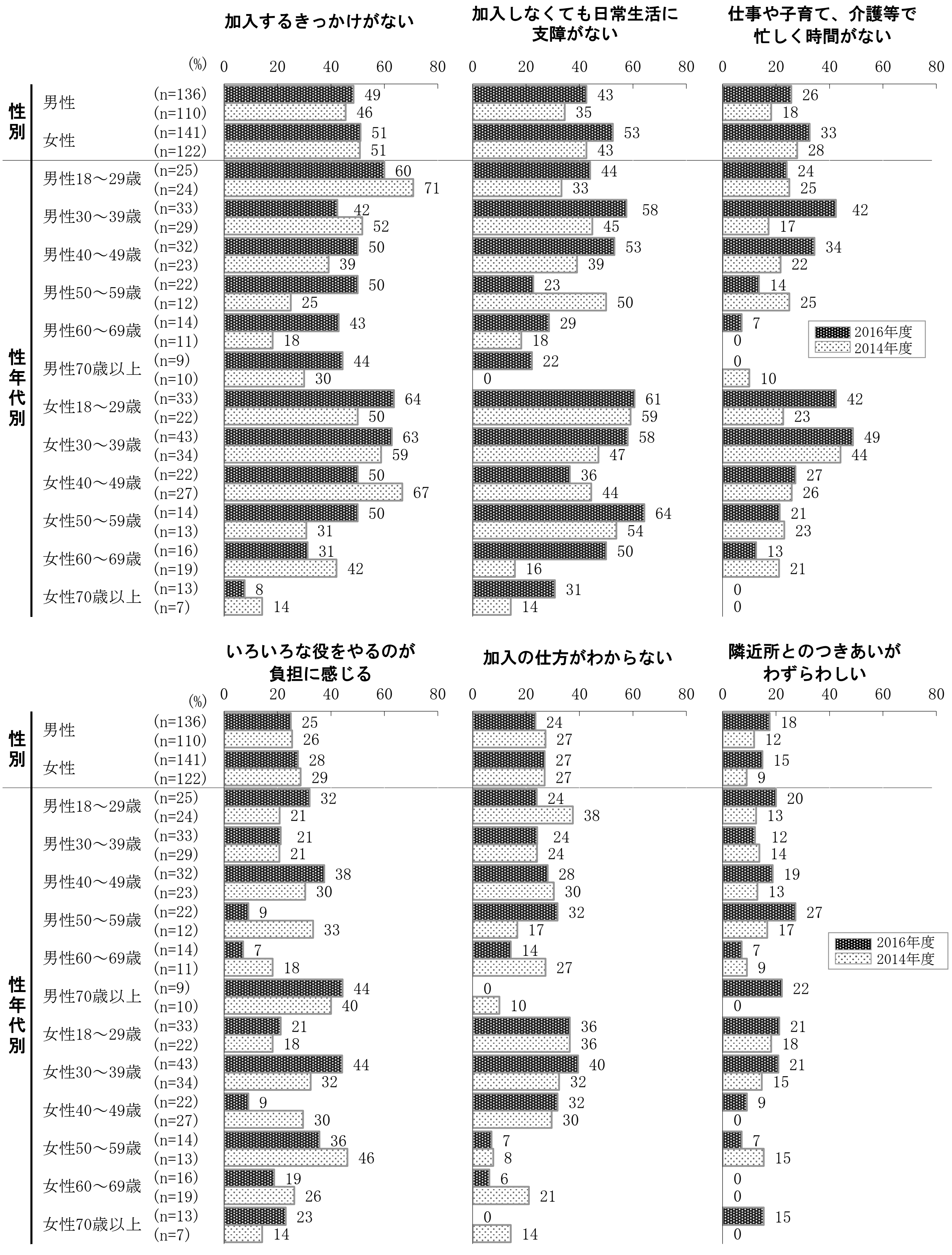
**図 １７－１　町内会・自治会に加入していない理由**




（１６）の町内会・自治会への加入状況で「加入していない」と回答した人に町内会・自治会に加入していない理由について聞いたところ、「加入するきっかけがない」（49.1%）が最も高い結果となり、次いで「加入しなくても日常生活に支障がない」（47.3%）、「仕事や子育て、介護等で忙しく時間がない」（29.2%）の順となった。

2016年度での「加入するきっかけがない」は、2014年度と比較して、1.2ポイントの差でほぼ変わらなかったが、2016年度での「加入しなくても日常生活に支障がない」は、2014年度と比較すると8.9ポイント増加する結果となった。

## 図 １７－２　町内会・自治会に加入していない理由<br>＜上位６項目＞（性別・性年代別）

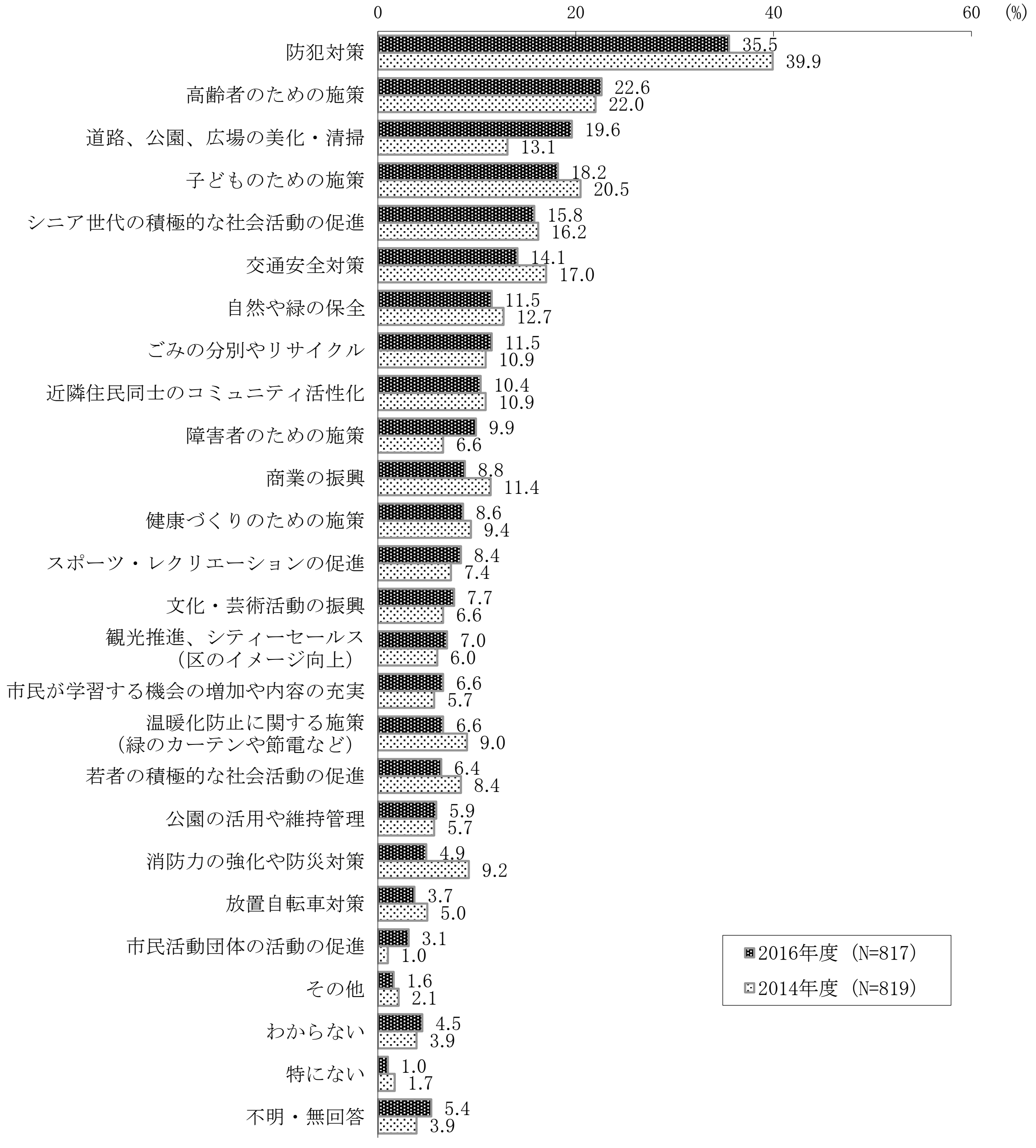



「加入するきっかけがない」について、男性では18～29歳が最も高く、女性では18～39歳が60％を超え、高い結果となった。

## １８．区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの

問11　区民（ＮＰＯや市民活動団体などを含む）と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うものは何ですか。次の中から３つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は３つまで）

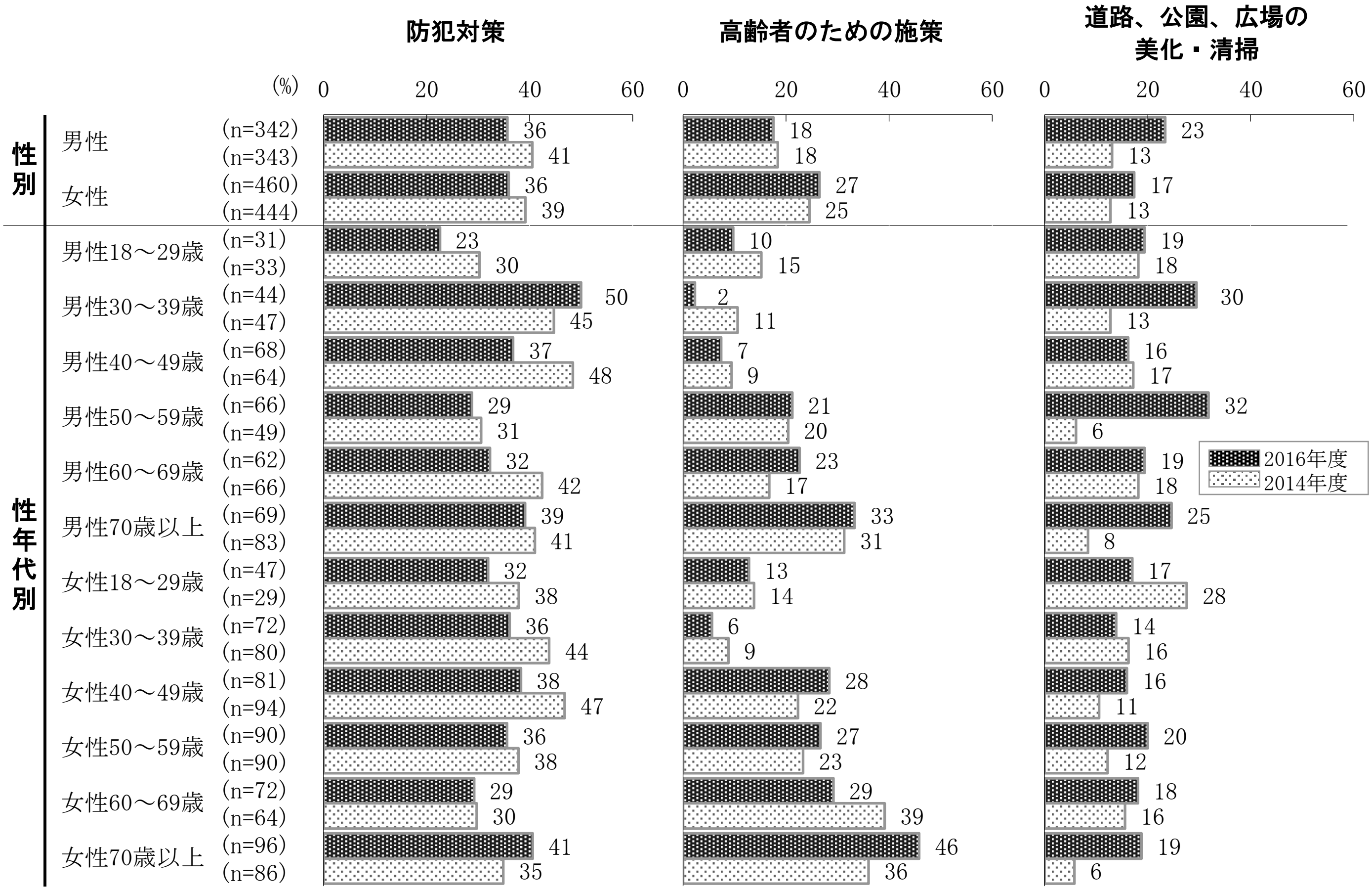
### 図１８－１　区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの

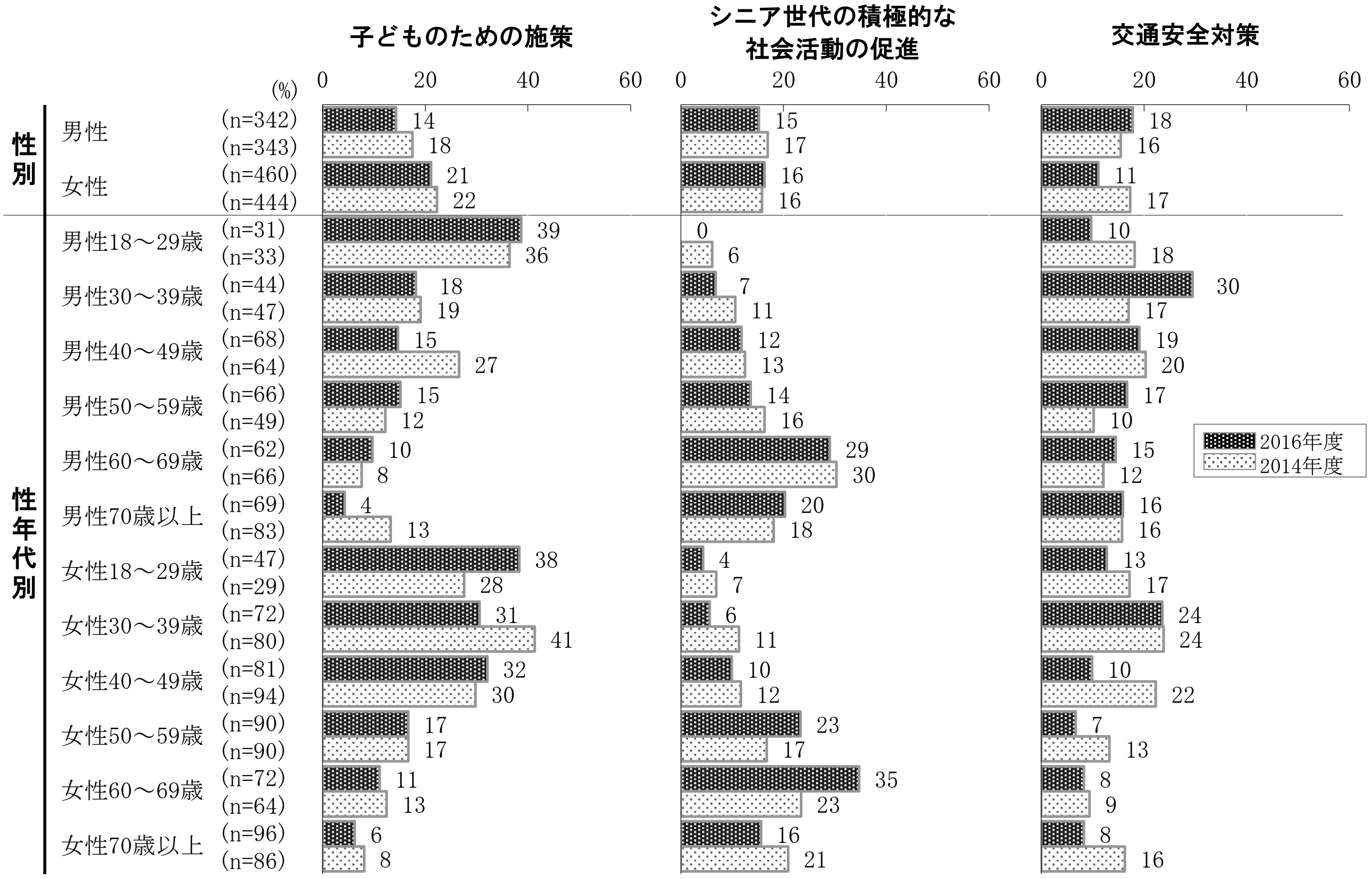



「区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの」について聞いたところ、「防犯対策」（35.5％）で最も高い結果となり、次いで「高齢者のための施策」（22.6％）、「道路、公園、広場の美化・清掃」（19.6％）の順となった。

トップの「防犯対策」は、2014年度と比較して4.4ポイント減少する結果となった。

## 図１８－２　区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの
## ＜上位６項目＞（性別・性年代別）



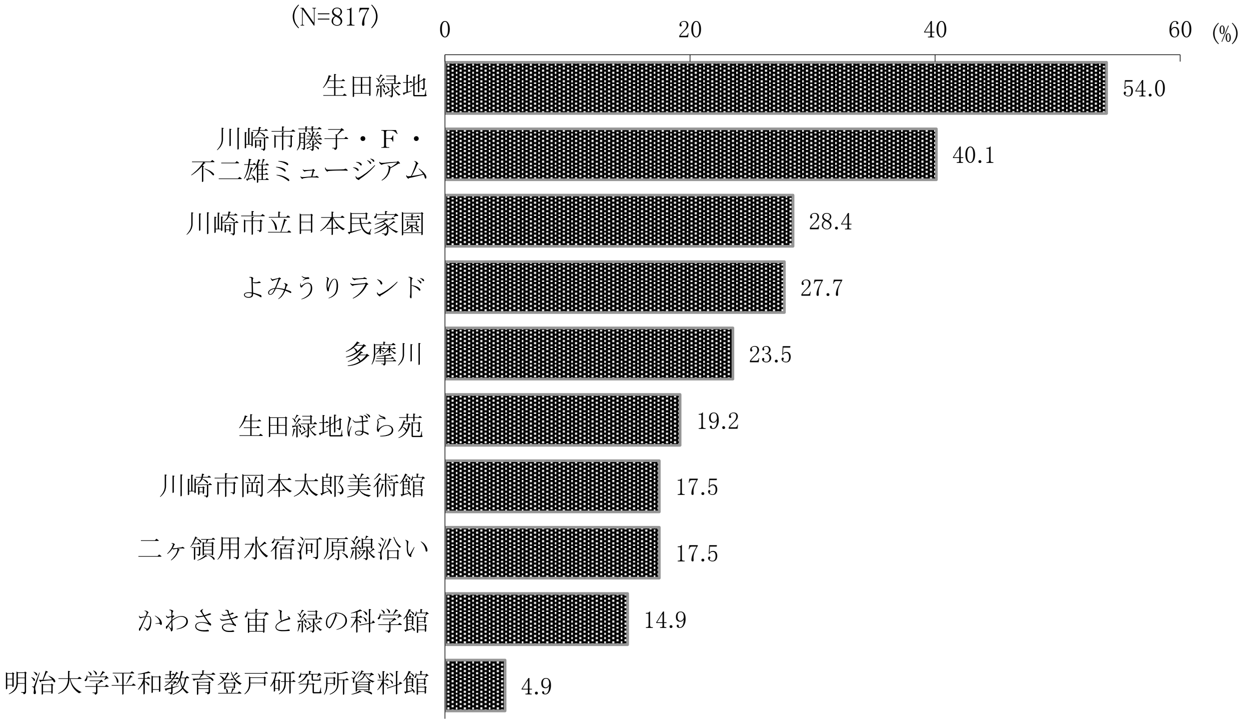




「防犯対策」では、性年代別にみると男性30～39歳が50％と最も高い結果となった。「高齢者のための施策」では、男女ともに70歳以上が、他の年代と比較して高い結果となった。

## １９．多摩区の見どころ

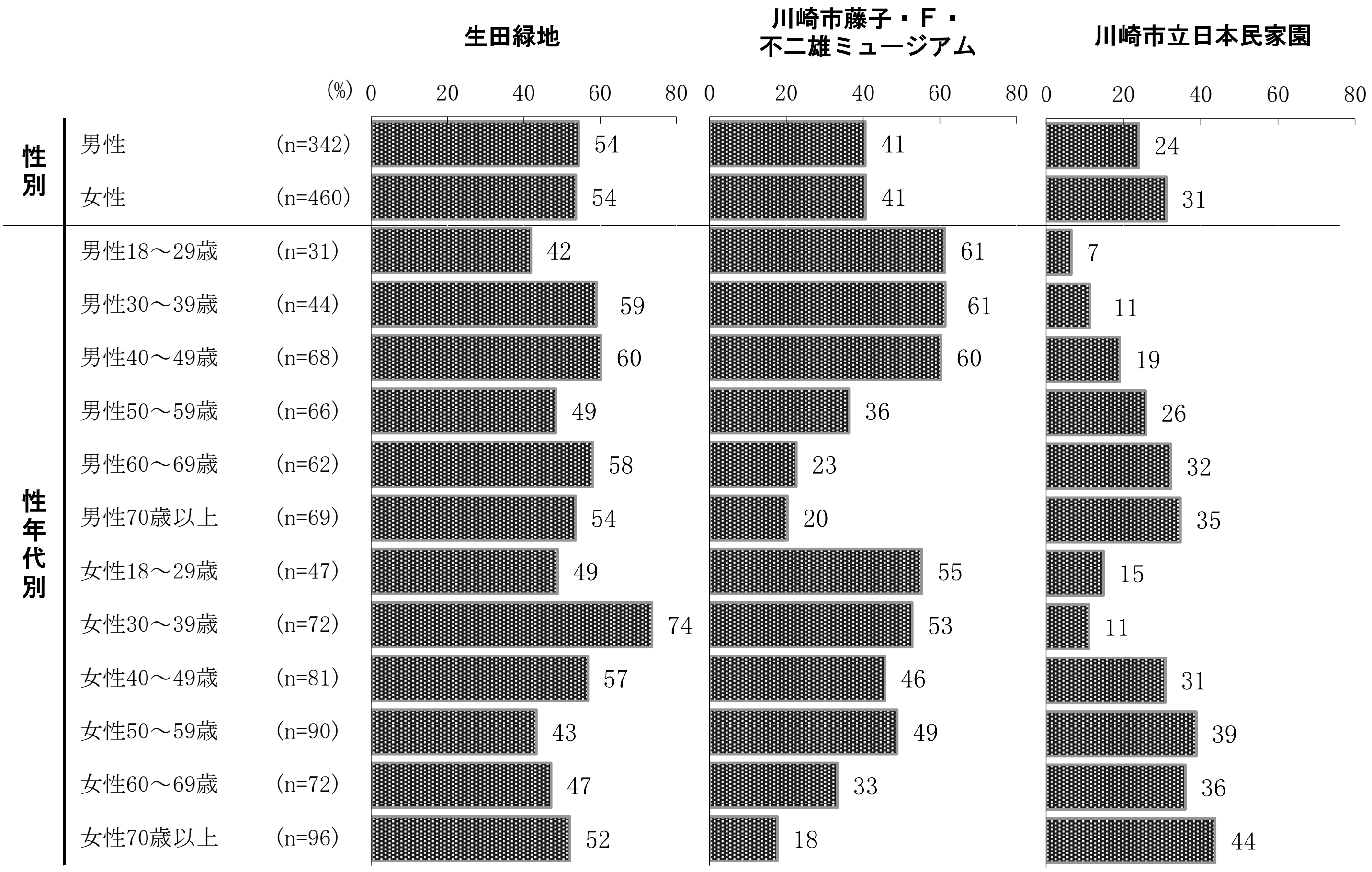
問12　　多摩区内のどの見どころを他人に薦めたいと思いますか。次の中から３つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は３つまで）

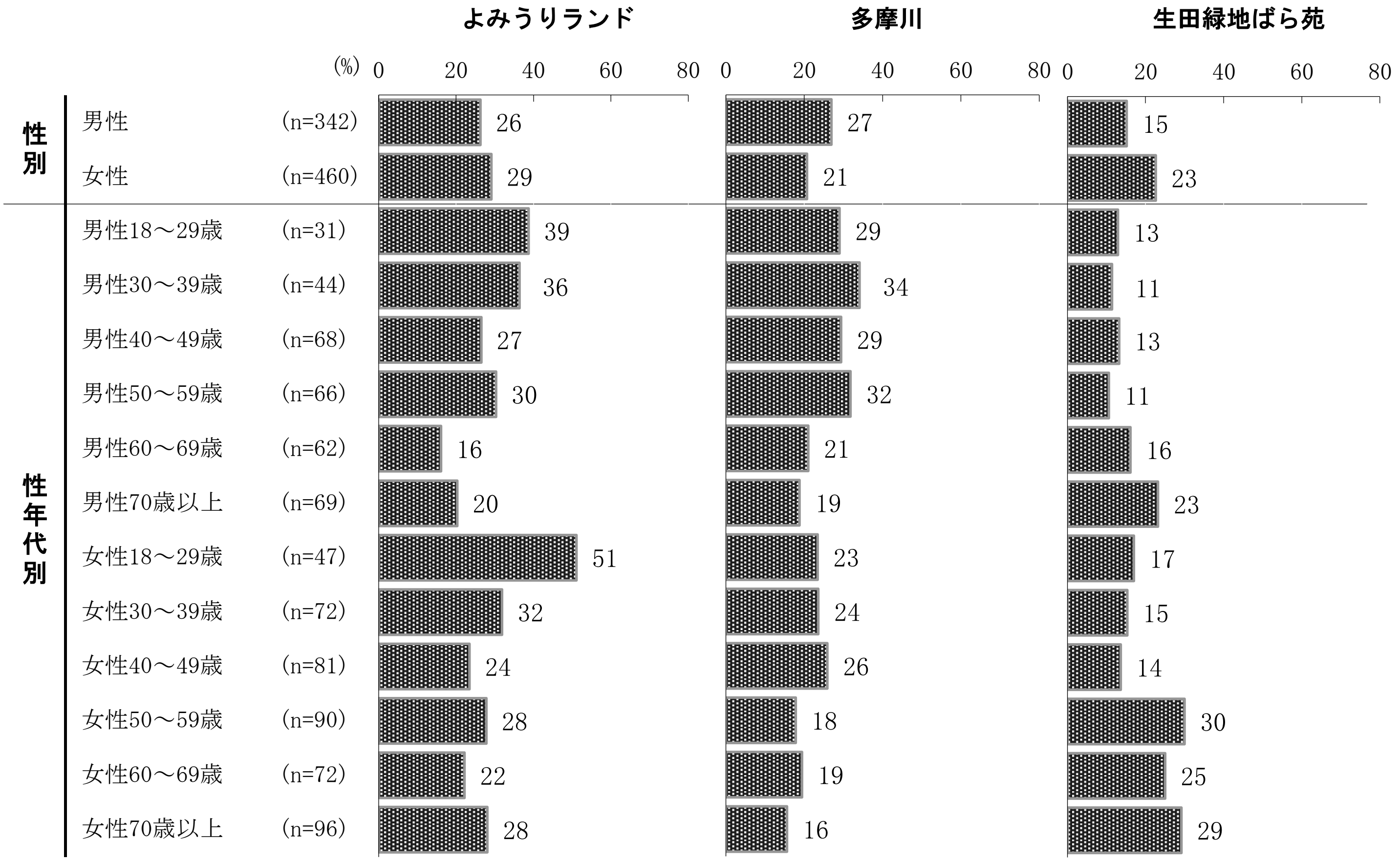
**図 １９－１　多摩区の見どころ＜上位１０項目＞**




「多摩区の見どころ」について聞いたところ、「生田緑地」（54.0％）が半数を超え最も高く、「川崎市藤子・Ｆ・不二雄ミュージアム」（40.1％）、「川崎市立日本民家園」（28.4％）の順となった。

## 図１９－２　多摩区の見どころ
## ＜上位６項目＞（性別・性年代別）



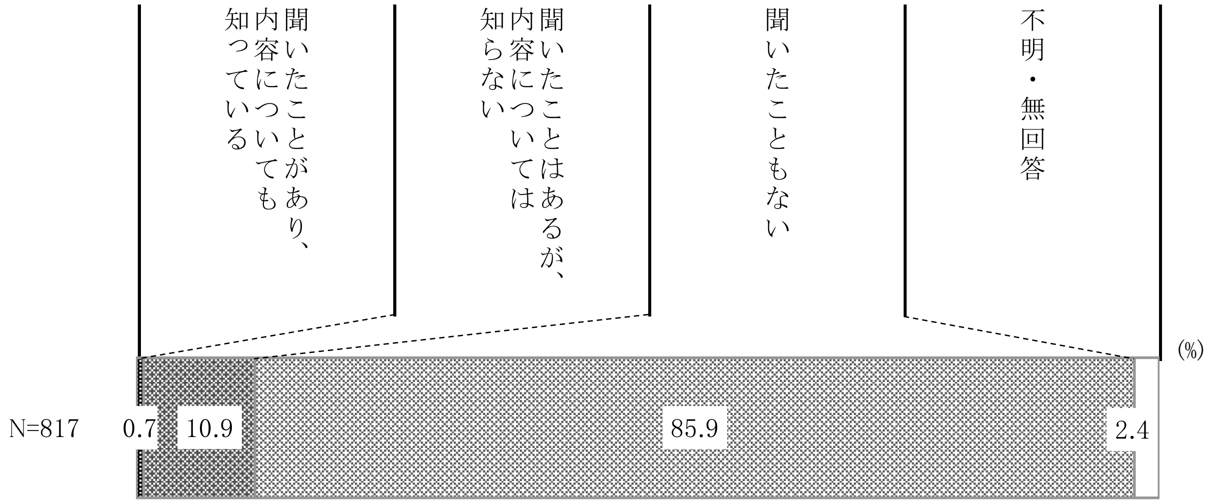




「生田緑地」では、女性30～39歳で70％を超え、他の性年代と比較して最も高い結果となった。また、「川崎市藤子・Ｆ・不二雄ミュージアム」では、男性18～49歳と女性18～39歳で50％を超え、高い結果となった。

## ２０．「ピクニックタウン多摩区」の認知状況

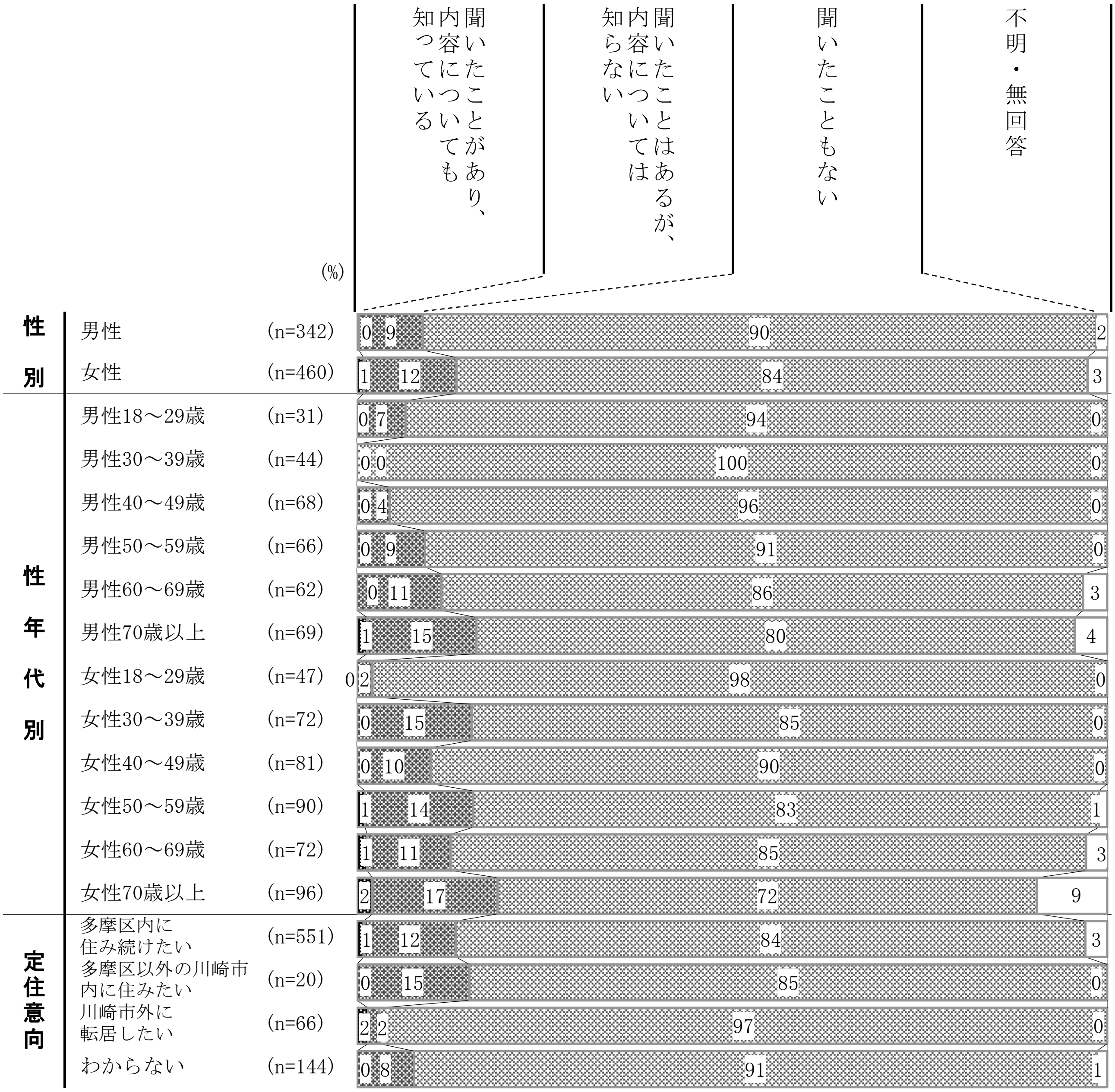
問13　あなたは「ピクニックタウン多摩区」という言葉を知っていますか。（○は１つだけ）

**図 ２０－１　「ピクニックタウン多摩区」の認知状況**




「ピクニックタウン多摩区」の認知状況について聞いたところ、「聞いたこともない」（85.9%）が最も高く、次いで、「聞いたことはあるが、内容については知らない」（10.9%）、「聞いたことがあり、内容についても知っている」（0.7%）の順となった。

## 図 20－2　「ピクニックタウン多摩区」の認知状況（性別・性年代別・定住意向別）

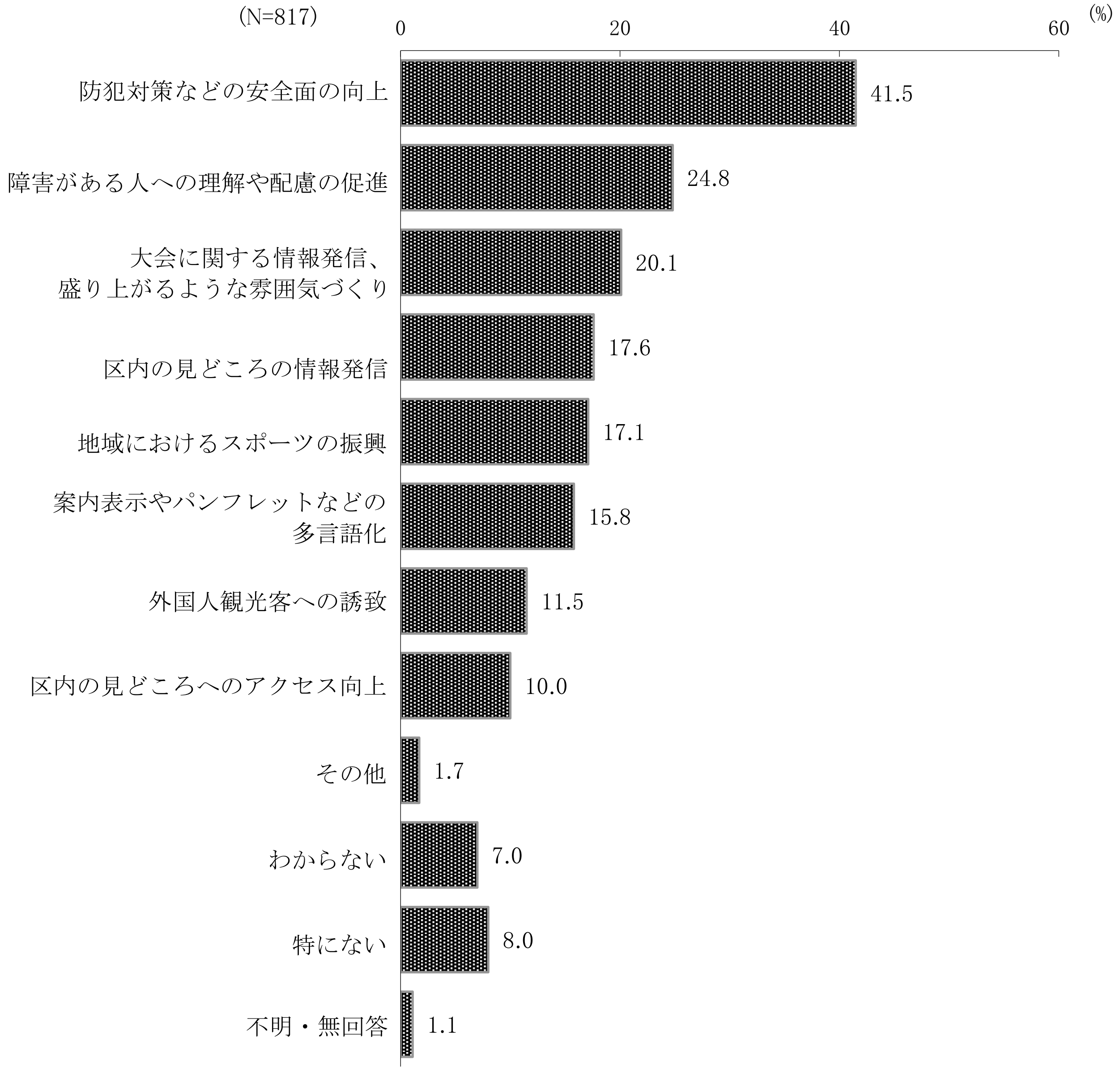



「聞いたことがあり、内容についても知っている」と「聞いたことはあるが、内容については知らない」を合わせた『聞いたことがある計』を定住意向別にみると、「多摩区内に住み続けたい」と「多摩区以外の川崎市内に住みたい」がともに10％を超え、「川崎市外に転居したい」と比較し、高い結果となった。また、性年代別にみると、男女ともに70歳以上が他の性年代より高い結果となった。

## ２１．「２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて必要な取組

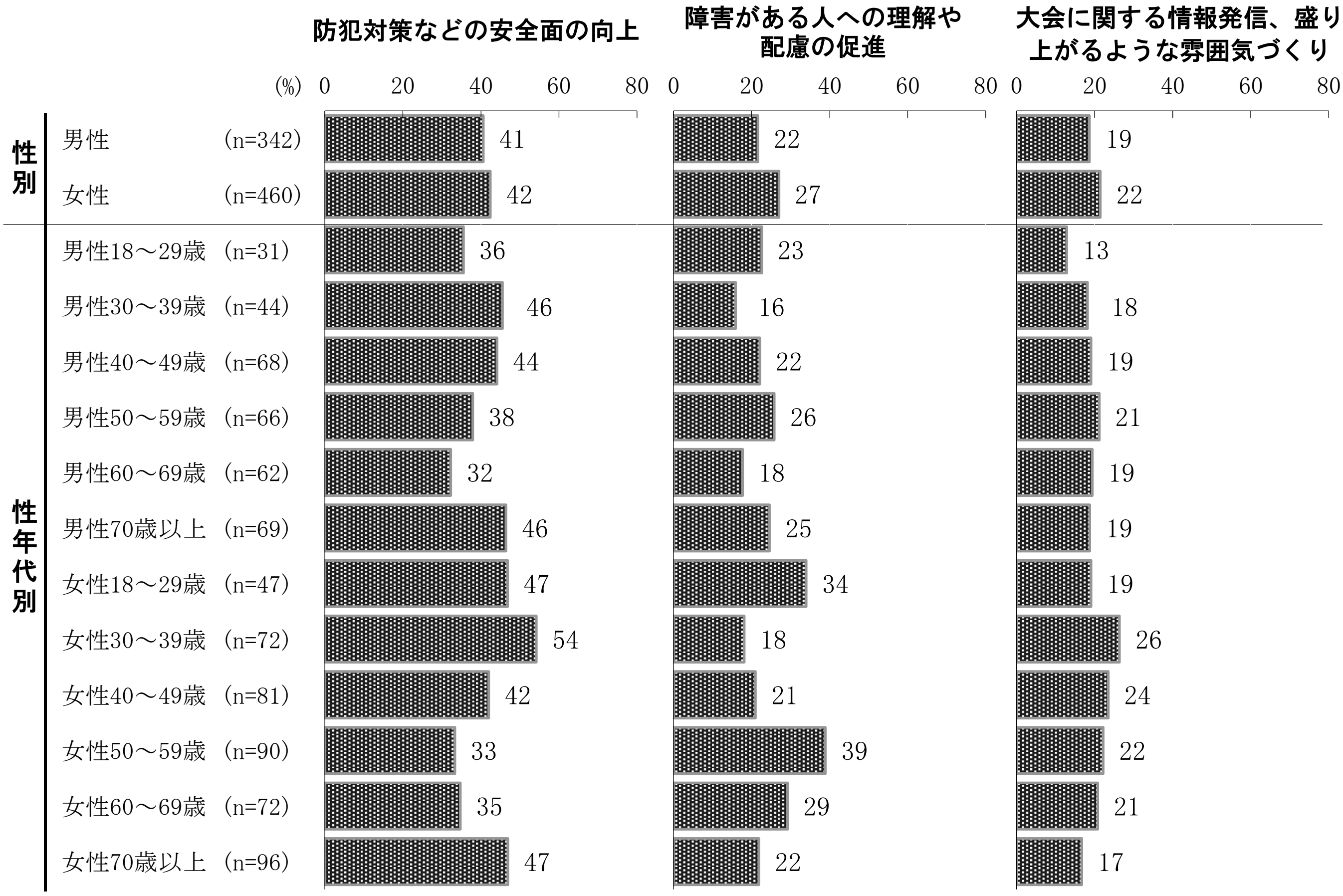
問14　「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」が近付いていますが、この大会に向けて、多摩区としてどのような取組が必要だと思いますか。次の中から２つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は２つまで）

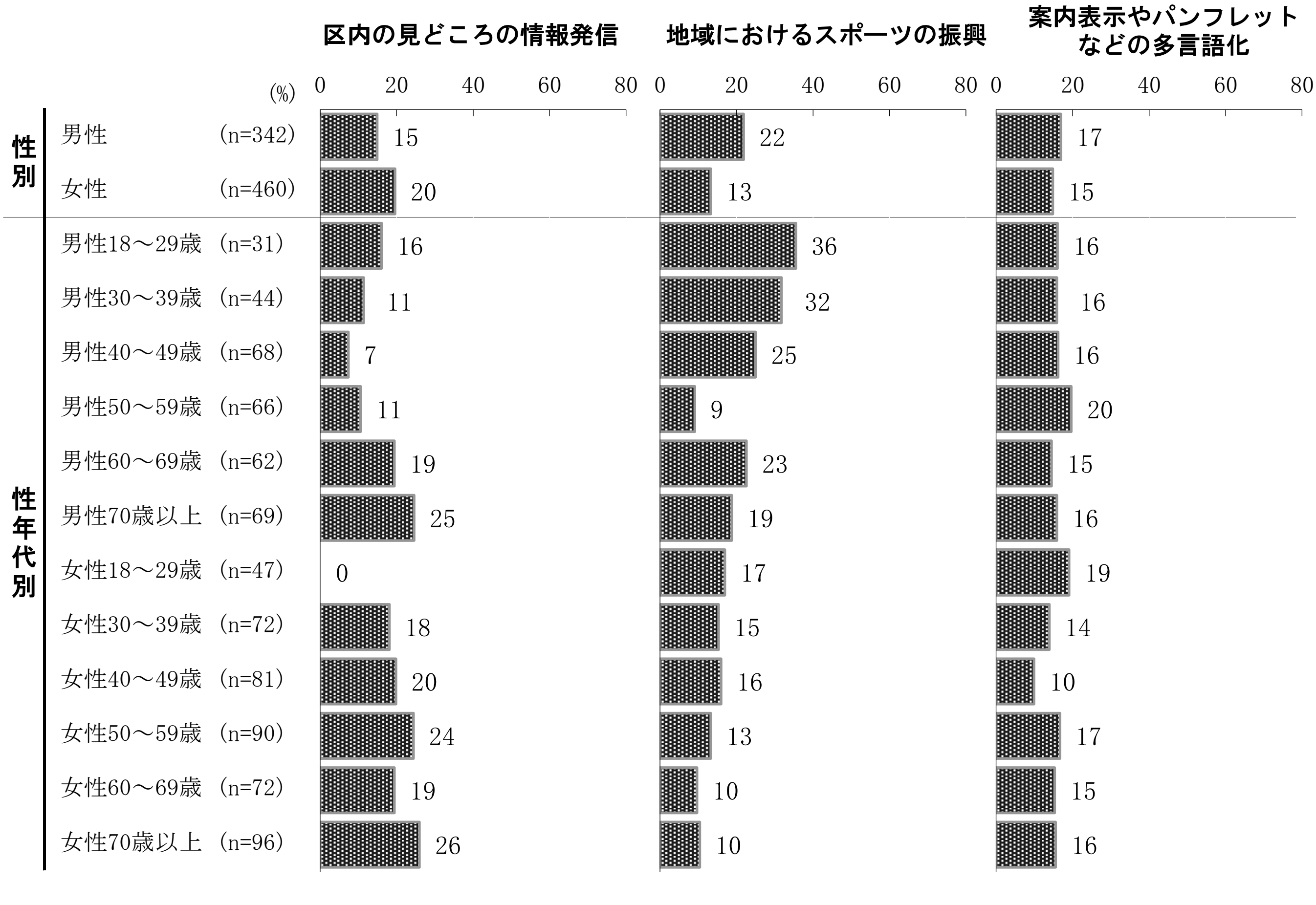
**図 ２１－１　「２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて必要な取組**




「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて必要な取組について、上位２つまで聞いたところ、「防犯対策などの安全面の向上」（41.5%）が最も高く、次いで「障害がある人への理解や配慮の促進」(24.8%)、「大会に関する情報発信、盛り上がるような雰囲気づくり」(20.1%)の順となった。

**図 ２１－２　「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けて必要な取組＜上位６項目＞（性別・性年代別）**



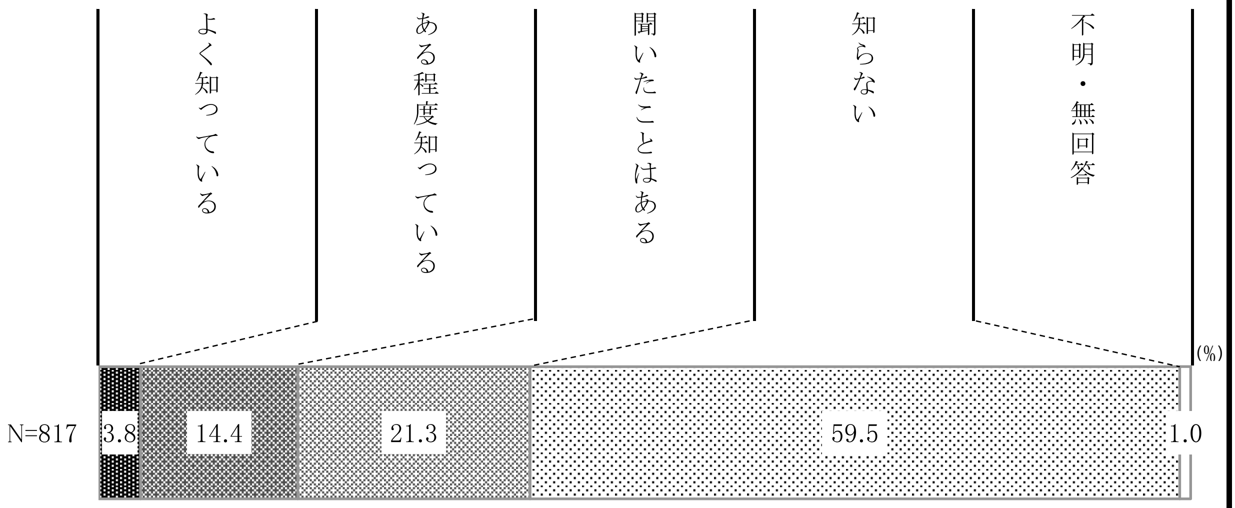




「防犯対策などの安全面の向上」では、女性30～39歳で半数を超える結果となり、他の性年代と比較して高い結果となった。

## ２２．「地域包括ケアシステム」の認知状況

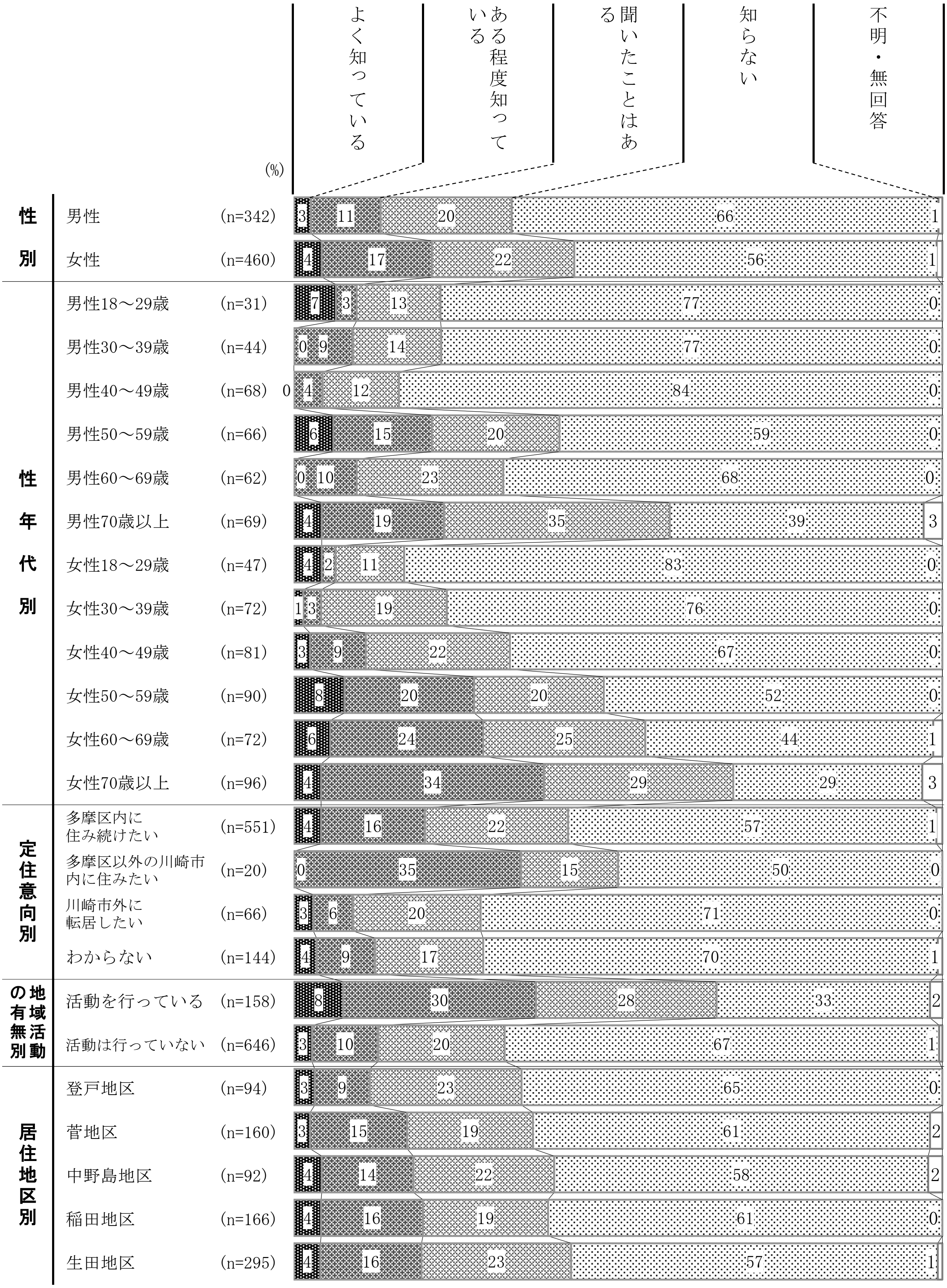
問15　誰もが住み慣れた地域や場所で安心して暮らし続けるため、医療、看護、介護、福祉・生活支援が切れ目なく一体的に提供される仕組みと地域づくりの取組である「地域包括ケアシステム」を知っていますか。（○は１つだけ）

**図 ２２－１　「地域包括ケアシステム」の認知状況**




「地域包括ケアシステム」の認知状況について聞いたところ、「知らない」が59.5%と最も高い結果となった。次いで「聞いたことはある」（21.3%）。「ある程度知っている」（14.4%）、「よく知っている」（3.8%）の順となった。

**図 22－2　「地域包括ケアシステム」の認知状況**
**（性別・性年代別・定住意向別・地域活動の有無別・居住地区別）**

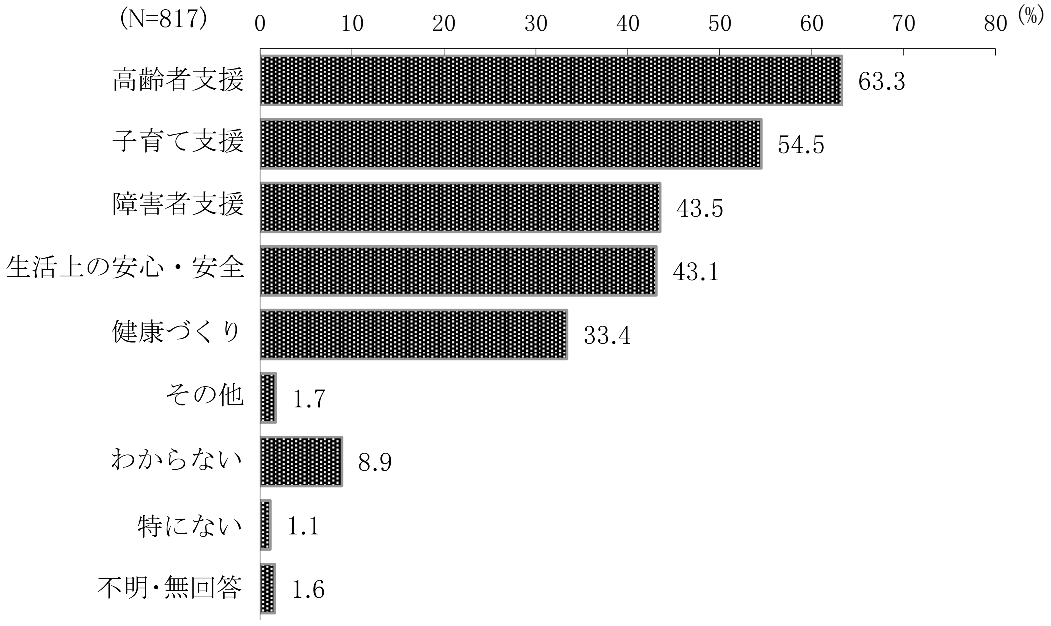



「よく知っている」と「ある程度知っている」と「聞いたとこはある」を合わせた『聞いたことがある計』を地域活動の有無別にみると、地域の「活動を行っている」層は「活動を行っていない」層より30ポイント以上高い結果となった。

## ２３．「地域包括ケアシステム」で取り組むべき分野

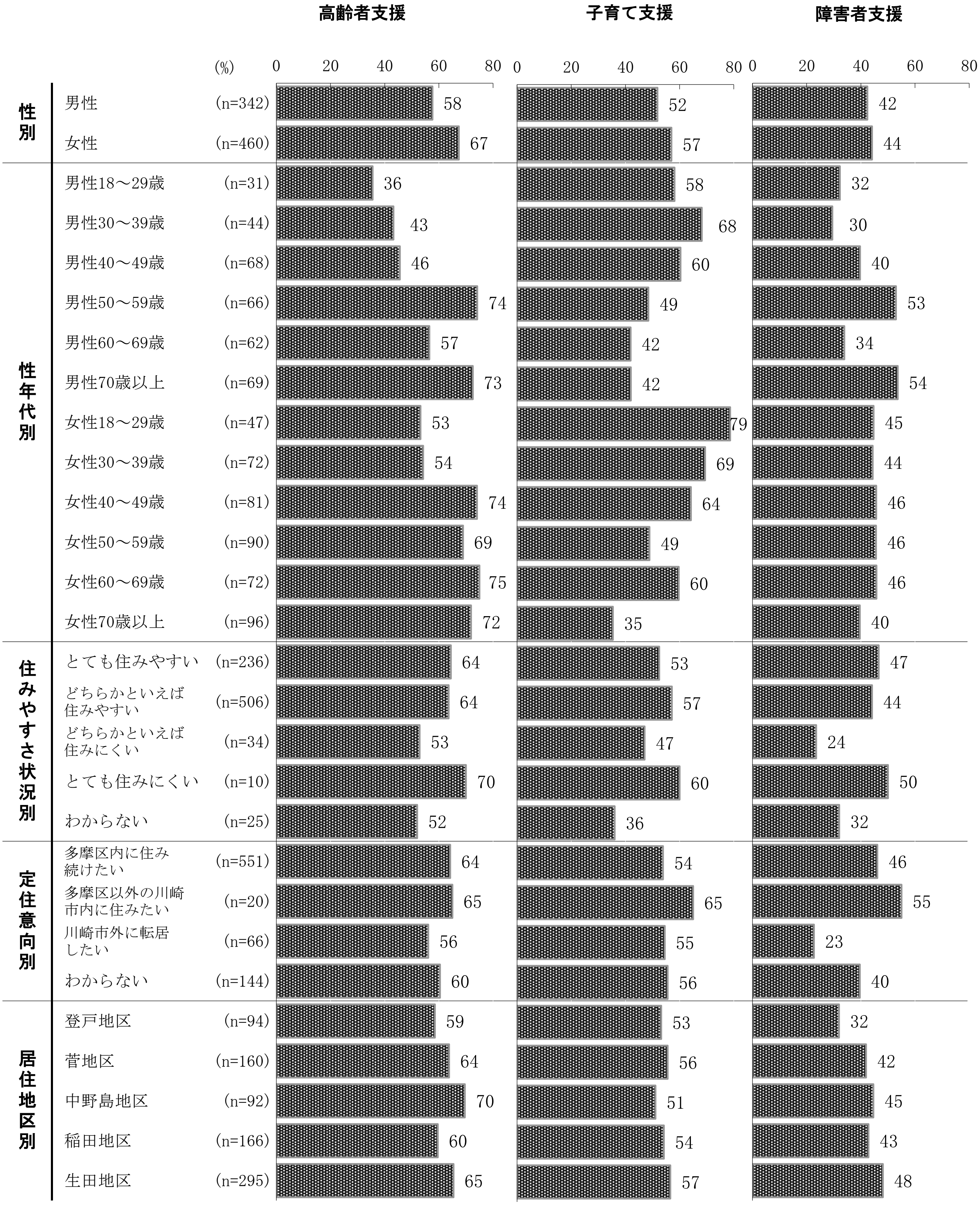
問16　「地域包括ケアシステム」で取り組むべきだと思うものは何ですか。（○はいくつでも）

**図 ２３－１　「地域包括ケアシステム」で取り組むべき分野**




「地域包括ケアシステム」で取り組むべきだと思うものについて聞いたところ、「高齢者支援」が63.3％と最も高く、次いで「子育て支援」（54.5％）、「障害者支援」（43.5％）、「生活上の安心・安全」（43.1％）の順となった。

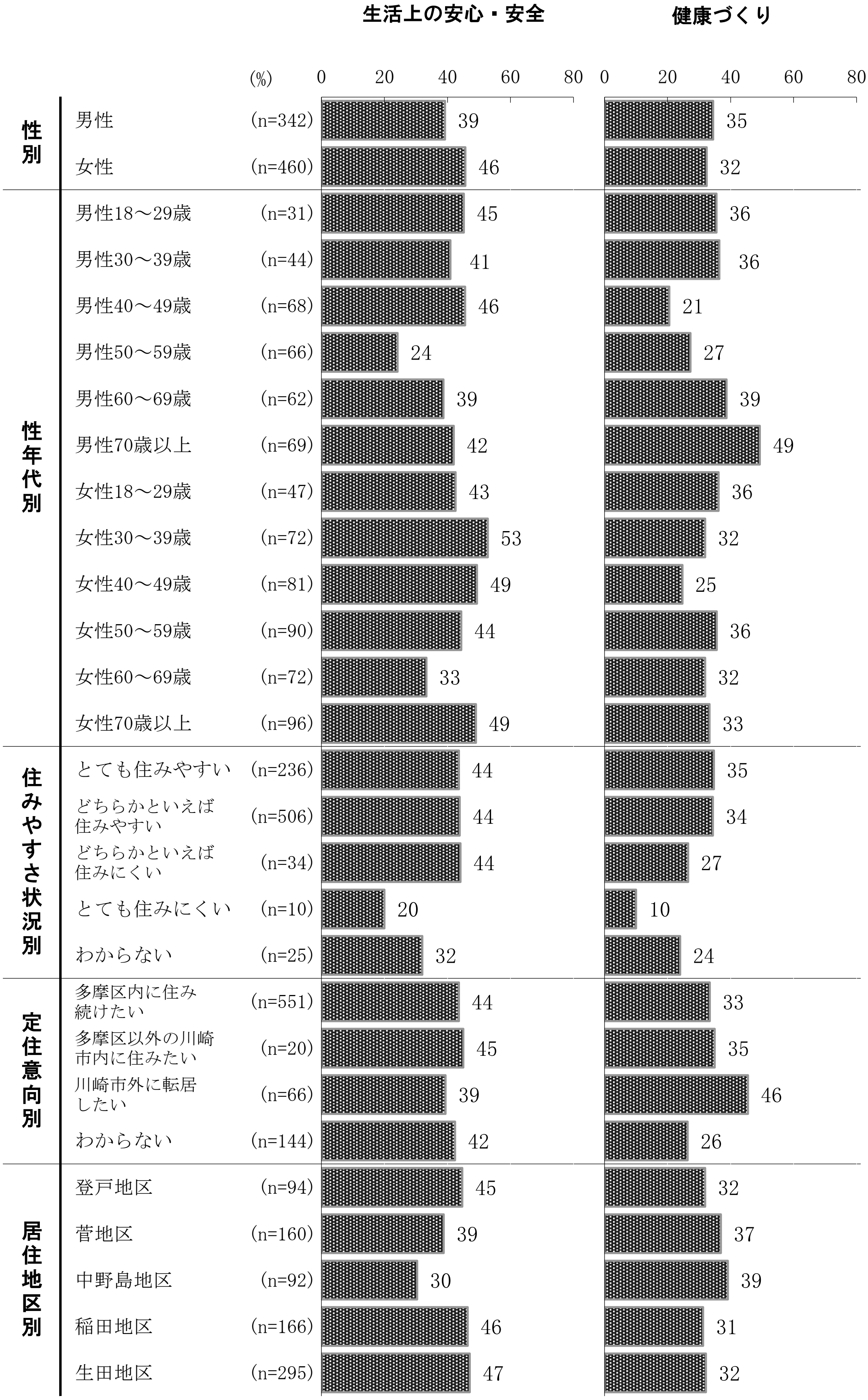
## 図 ２３－２　「地域包括ケアシステム」で取り組むべき分野①
## ＜上位５項目＞（性別・性年代別・住みやすさ状況別・定住意向別・居住地区別）




「高齢者支援」では、男性よりも女性の方が９ポイント高く、性年代別では男性50～59歳、男性70歳以上、女性40～49歳、女性60歳以上が70％を超え、高い結果となった。

また「子育て支援」では、女性18～29歳が80％近くあり、他の性年代より高い結果となった。

## 図 ２３－３　「地域包括ケアシステム」で取り組むべき分野②
## ＜上位５項目＞（性別・性年代別・住みやすさ状況別・定住意向別・居住地区別）

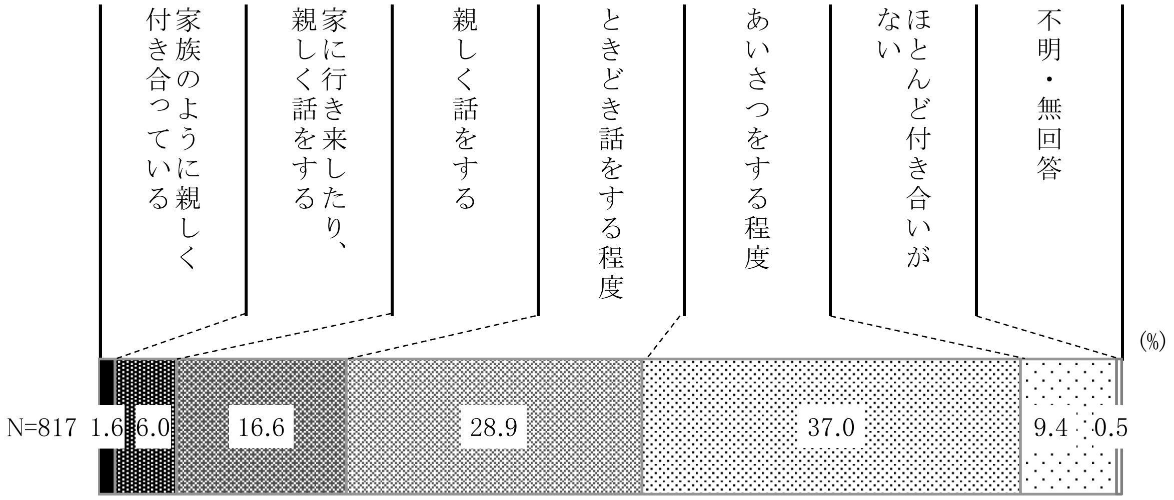



「生活上の安心・安全」では、女性30～39歳で50％を超え、他の性年代より高い結果となった。

## ２４．近所付き合いの程度

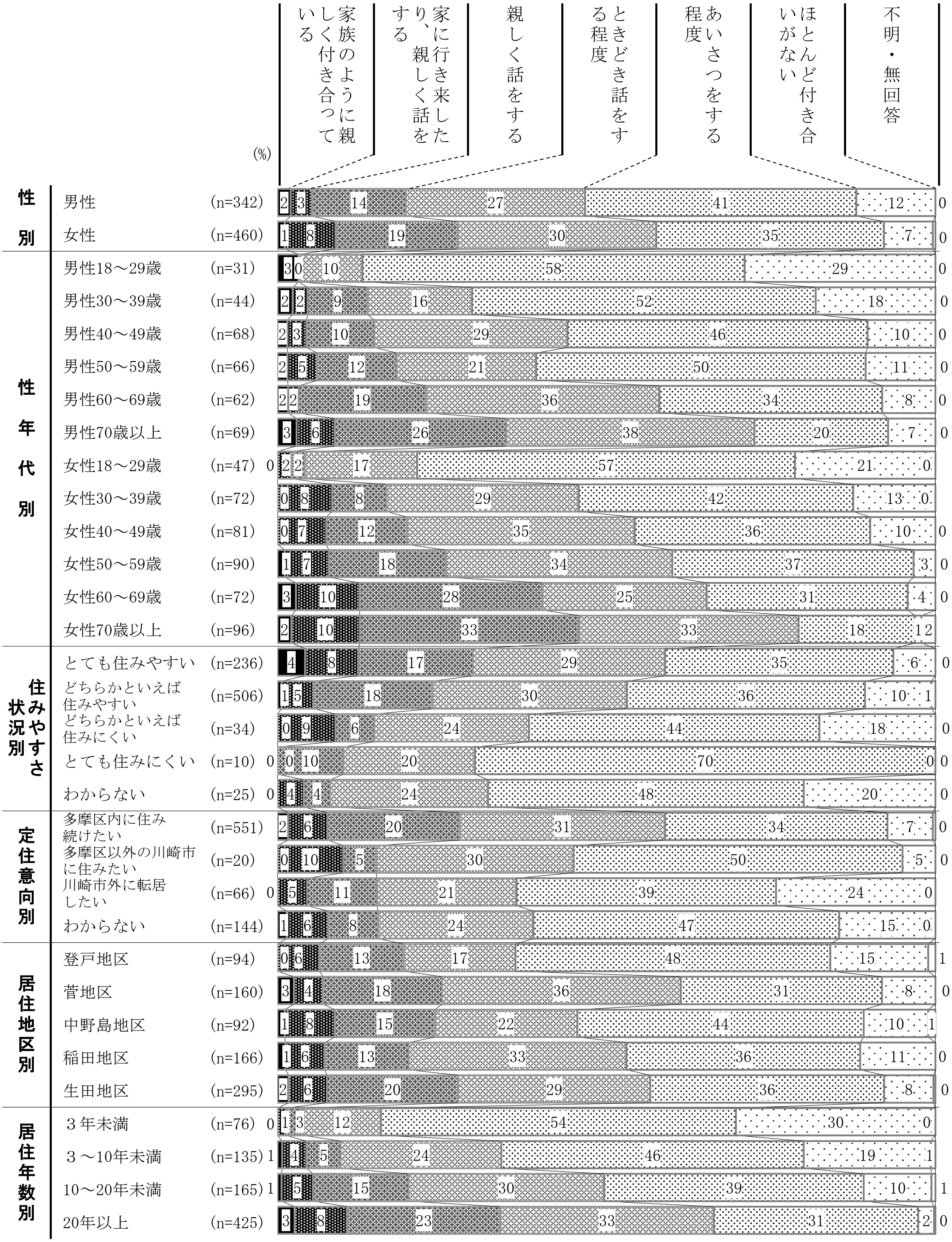
問17　あなたの近所付き合いの程度についてお伺いします。（○は１つだけ）

**図 ２４－１　近所付き合いの程度**




近所付き合いの程度について聞いたところ、「あいさつをする程度」（37.0%）が最も高く、次いで、「ときどき話をする程度」（28.9%）、「親しく話をする」（16.6%）の順となった。

## 図 24−2　近所付き合いの程度

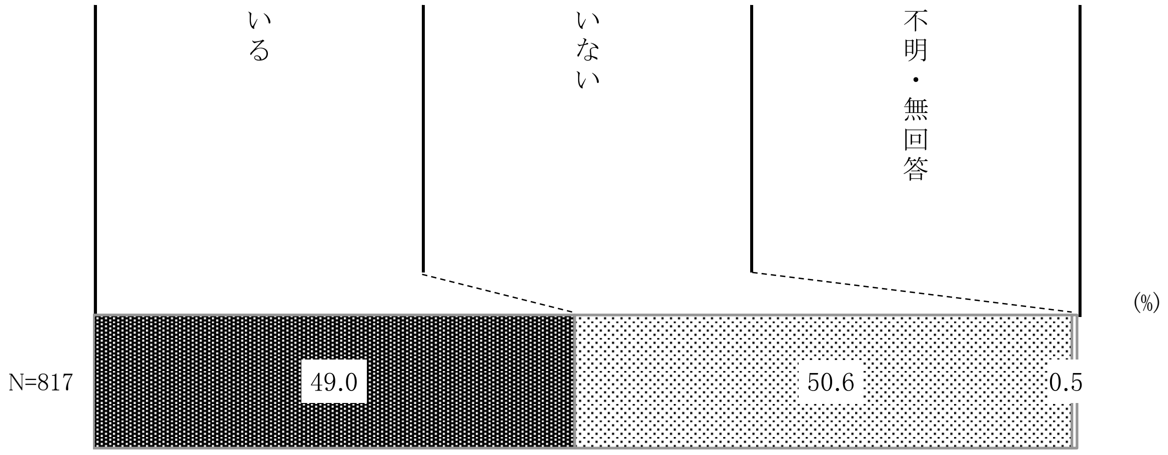



「家族のように親しく付き合っている」と「家に行き来したり、親しく話をする」と「親しく話をする」を合わせた『親しく話をする計』は、男女ともに年齢が高くなるにつれて増加する傾傾向となった。

## ２５．近所に手助けを頼める人の有無

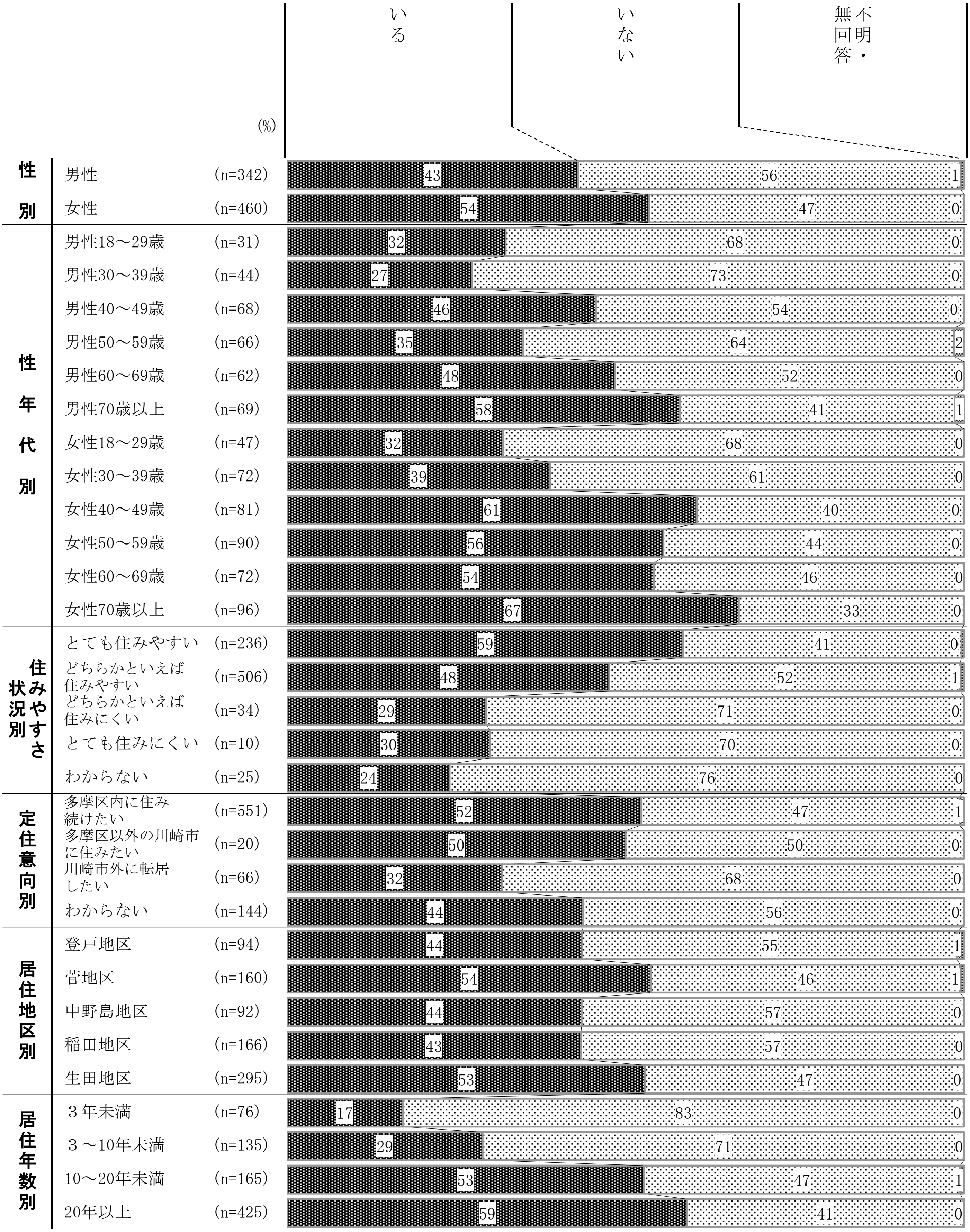
問18　　困ったとき、近所にちょっとした手助けを頼める人はいますか。（○は１つだけ）

**図 ２５－１　近所に手助けを頼める人の有無**




近所に手助けを頼める人の有無について聞いたところ、「いない」が50.6％、「いる」が49.0％と、ほぼ同じ割合となった。

## 図 ２５－２　近所に手助けを頼める人の有無

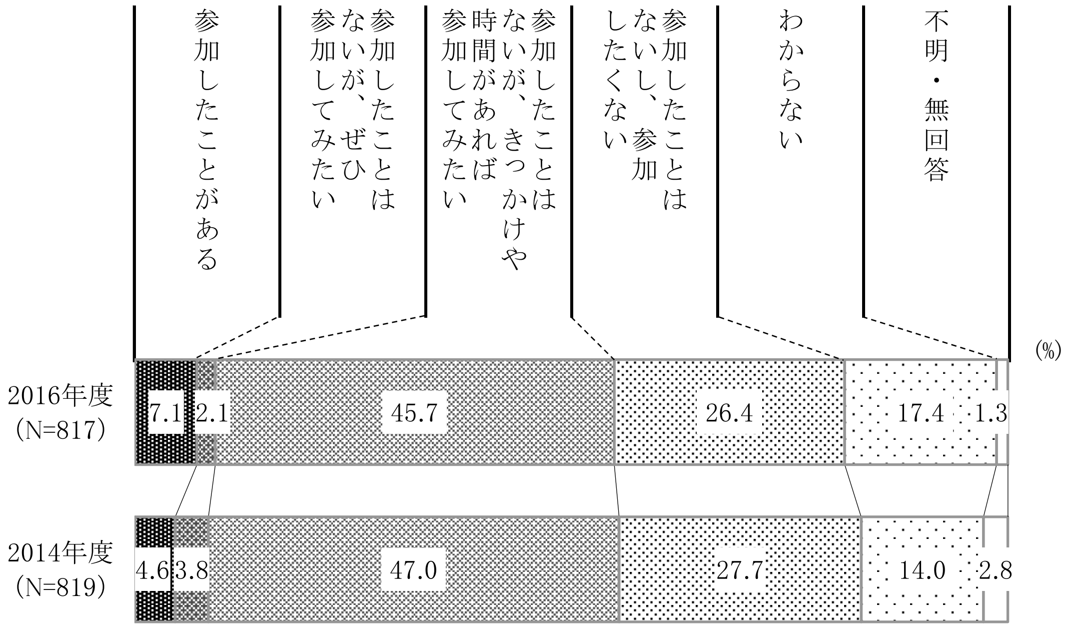



「いる」は、女性のほうが男性より10ポイント近く高い結果となった。また、定住意向別でも「多摩区内に住み続けたい」、「多摩区以外の川崎市に住みたい」で50％を超える結果となり、「川崎市外に転居したい」に比べて高い結果となった。

## ２６．地域の健康づくり活動への参加経験と参加意向

問19　　多摩区では、健康づくりや仲間づくりを目的に、身近な地域で「みんなの公園体操」・「いきいき体操」・「健康ウオーク」などが行われています。
これらの活動に参加したことがありますか、また参加したいと思いますか。
（○は１つだけ）

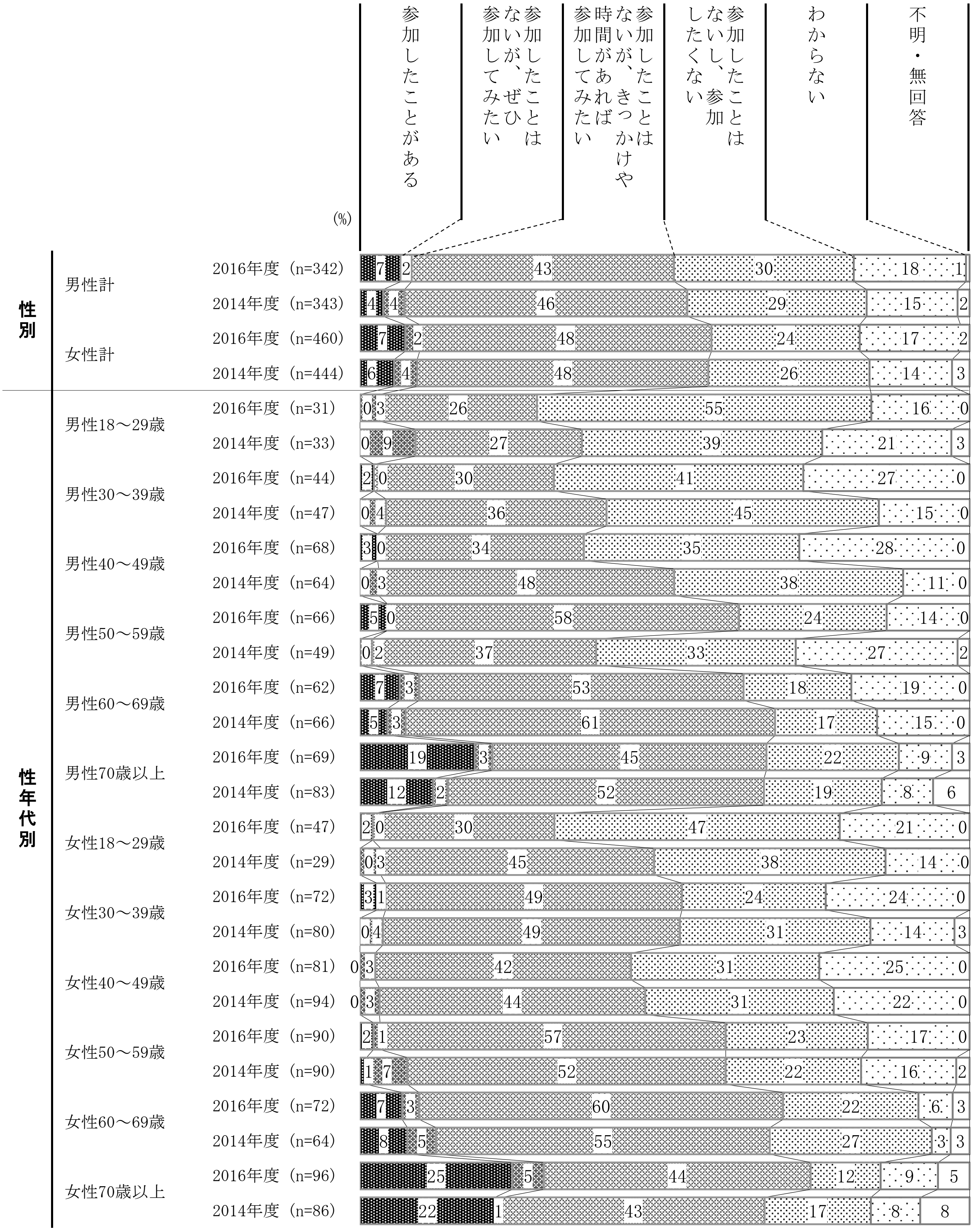
**図 ２６－１　地域の健康づくり活動への参加経験と参加意向**




「みんなの公園体操」・「いきいき体操」・「健康ウオーク」への参加状況と参加意向について聞いたところ、「参加したことはないが、きっかけや時間があれば参加してみたい」（45.7%）が最も多く、次いで「参加したことはないし、参加したくない」(26.4%)、「わからない」(17.4%)の順となった。

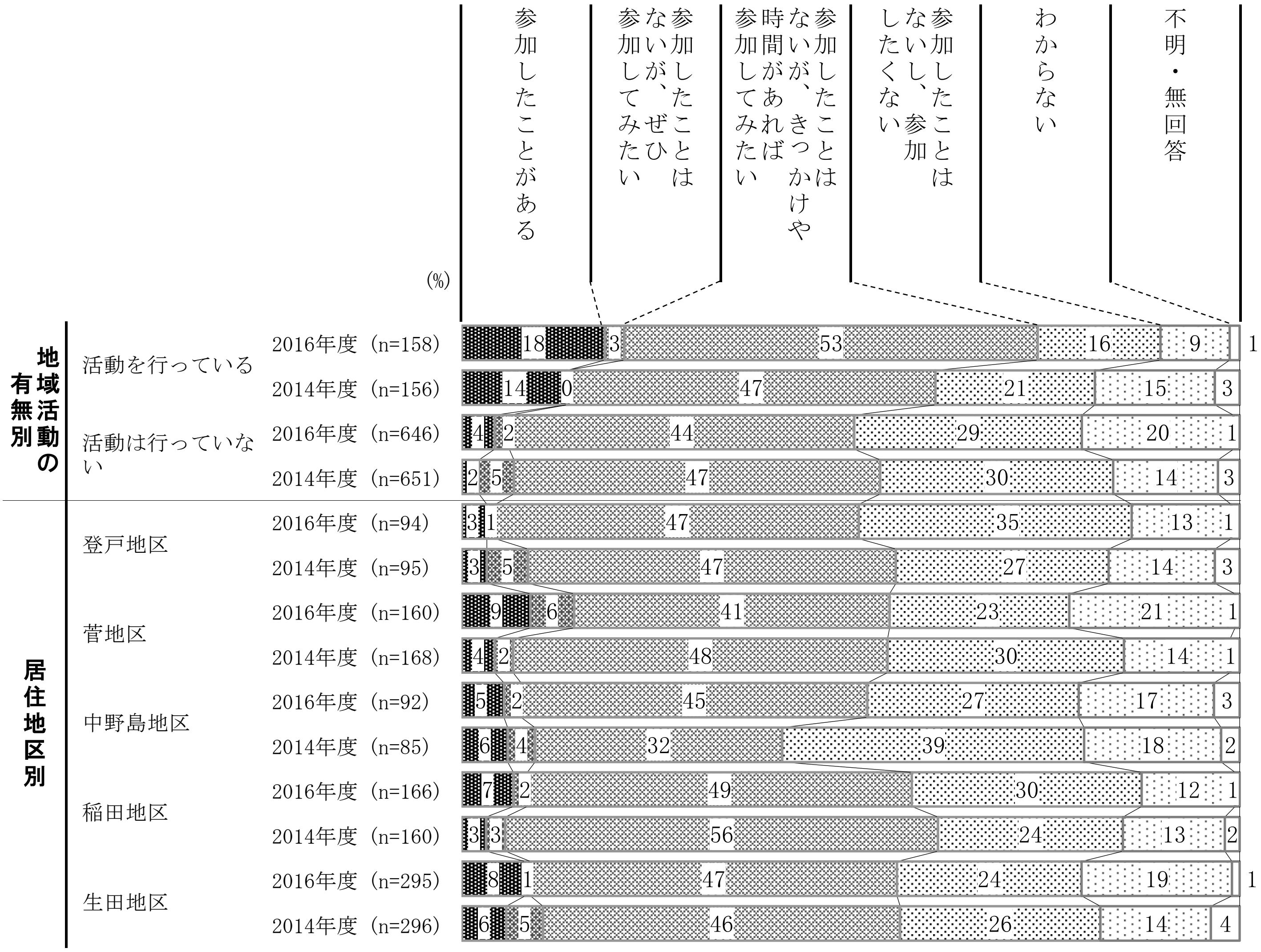
2014年度も、「参加したことはないが、ぜひ参加してみたい」（47.0%）が最も高く、ほぼ変わらない結果となった。

**図 26－2　地域の健康づくり活動への参加経験と参加意向**
**（性別・性年代別）**




「参加したことがある」と「参加したことはないが、ぜひ参加してみたい」と「参加したことはないが、きっかけや時間があれば参加してみたい」を合わせた『参加したい計』は、男女ともに50歳以上で60％を超え、他の性年代に比べて高くなっている。

**図 ２６－３　地域の健康づくり活動への参加経験と参加意向**
**（地域活動の有無別・居住地区別）**



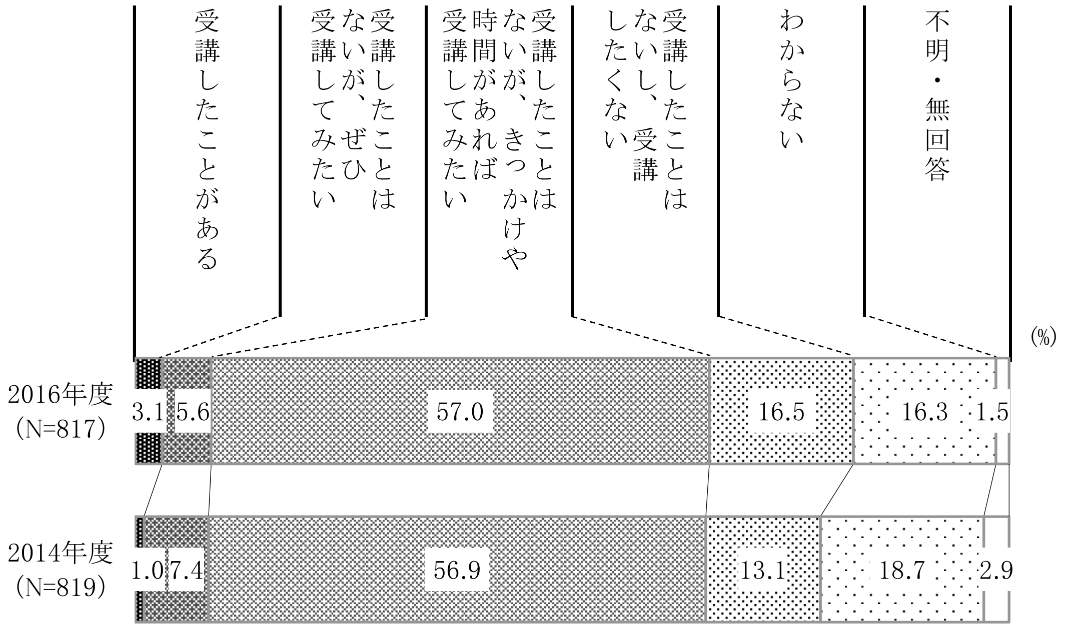

『参加したい計』を地域活動の有無別で見たところ、「地域活動を行っている」層のほうが「活動を行っていない」層よりも、24ポイント高くなっている。

また、『参加したい計』は、中野島地区では2014年度よりも10ポイント上昇している

## ２７．「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向

問20　多摩区役所では、増加する認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守るために、認知症サポーター養成講座を行っています。この講座を受講したことがありますか、また、受講したいと思いますか。（○は１つだけ）

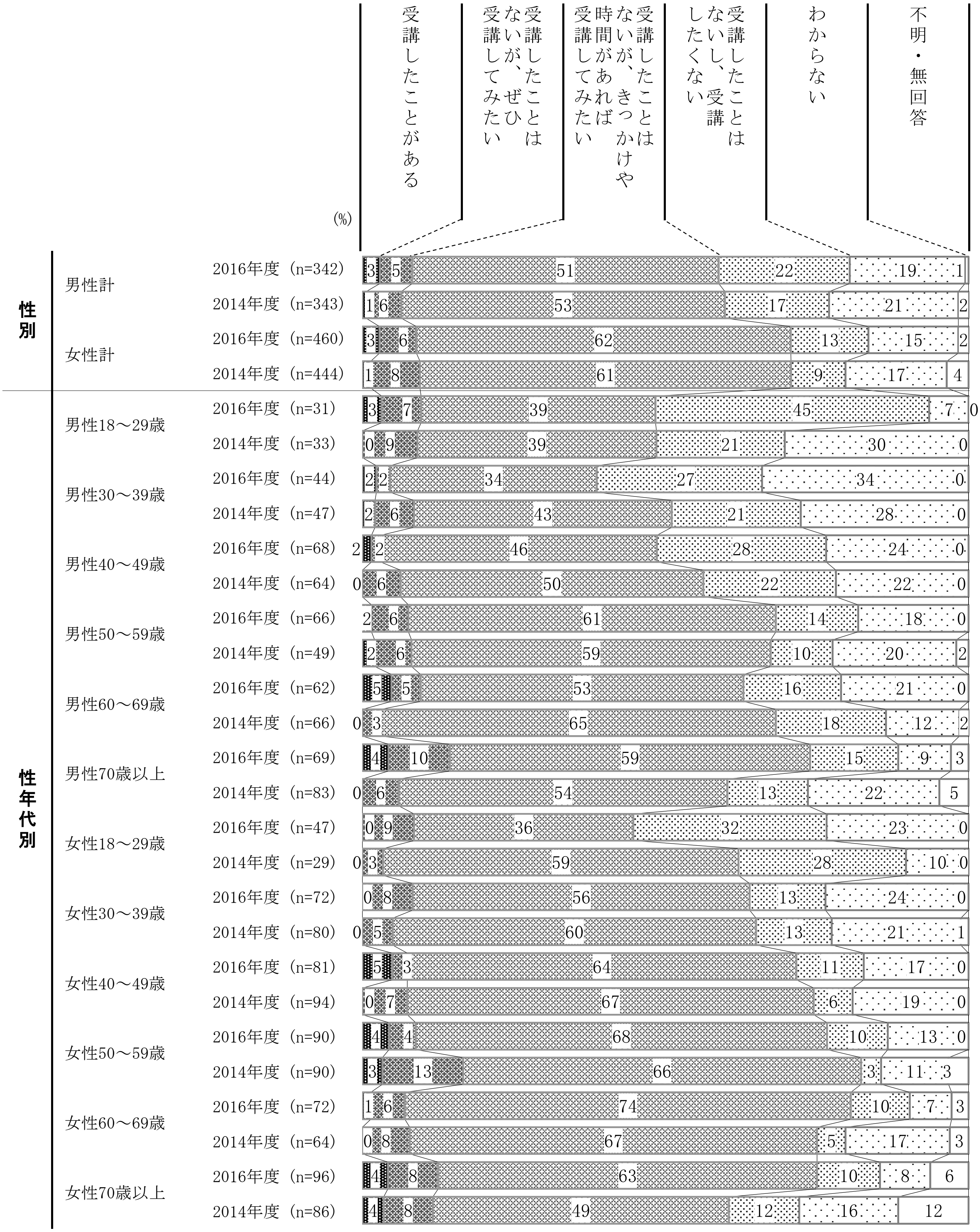
**図 ２７－１　「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向**




「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向について聞いたところ、「受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい」（57.0％）が最も多く、次いで「受講したことはないし、受講したくない」(16.5％)、「わからない」（16.3％）の順となった。

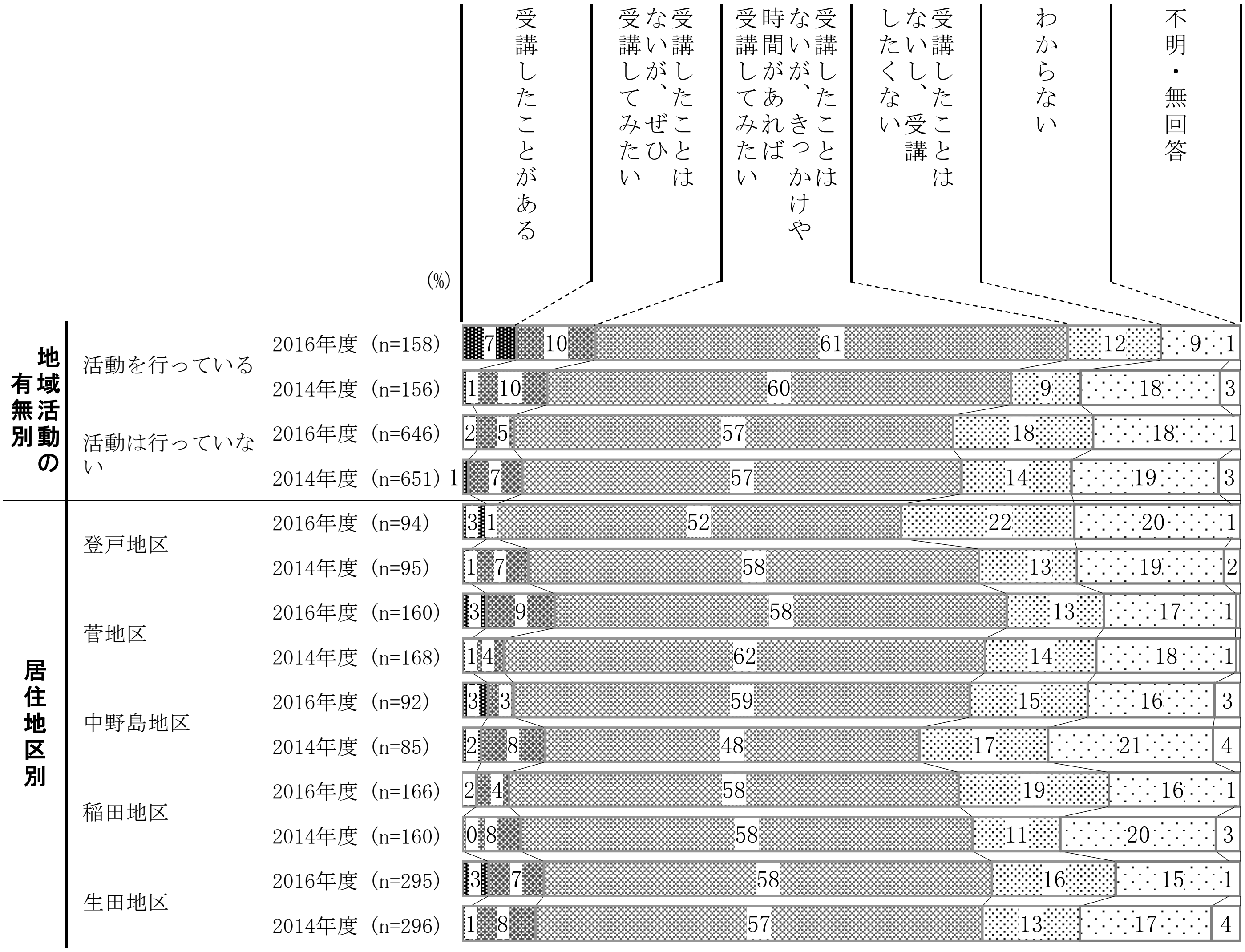
2014年度も、「受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい」（56.9％）が最も高く、ほぼ変わらない結果となった。

**図 27－2　「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向**
**（性別・性年代別）**




「受講したことがある」と「受講したことはないが、ぜひ受講してみたい」と「受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい」を合わせた『受講したい計』は、男性よりも女性のほうが10ポイント以上高い結果となった。

## 図 ２７－３　「認知症サポーター養成講座」の受講経験と受講意向（地域活動の有無別・居住地区別）



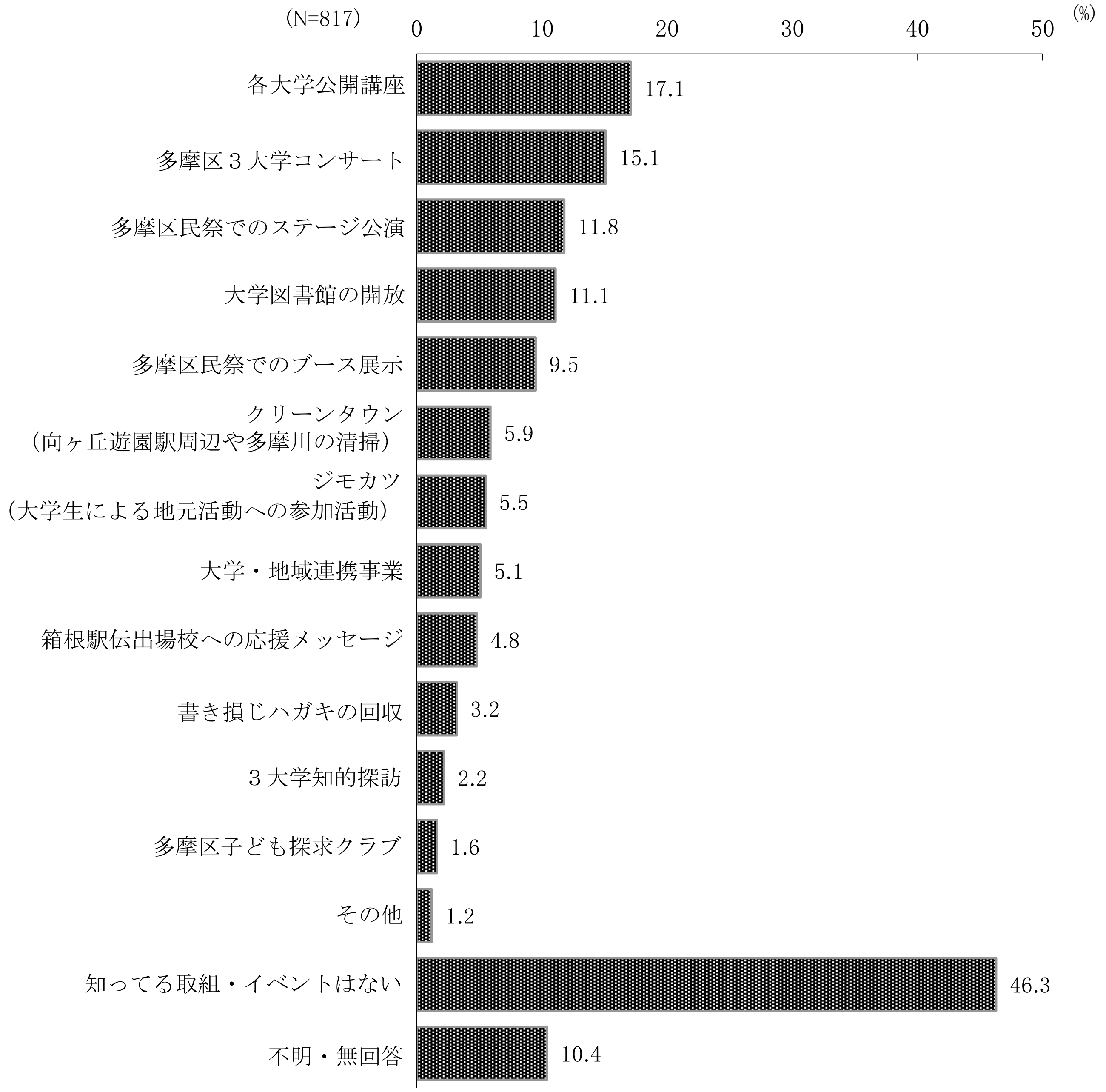

『受講したい計』を地域活動の有無別で見たところ、「地域活動を行っている」層のほうが「活動を行っていない」層よりも、14ポイント高くなっている。

また、『参加したい計』は、登戸地区では2014年度よりも10ポイント減少している。

## ２８．知っている３大学関連イベント

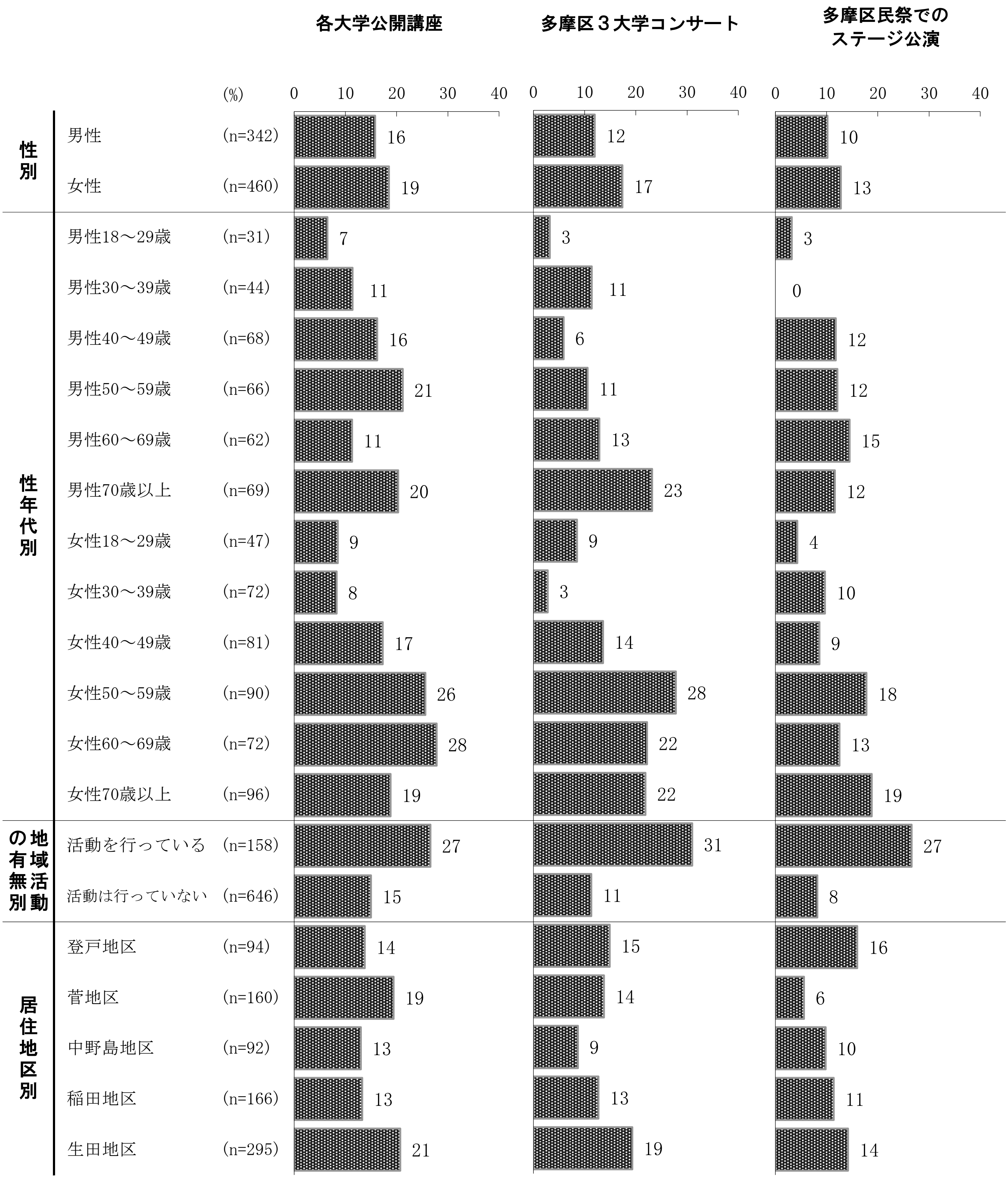
問21　多摩区には、専修、明治、日本女子の３つの大学が立地しています。
これまで、さまざまな取組を通して、大学の持つ知的資源や多彩な人材を活用し、大学と地域社会との交流連携を深めてきました。
あなたが知っている大学・大学生が関連したイベントや取組などはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

**図 ２８－１　知っている３大学関連イベント**



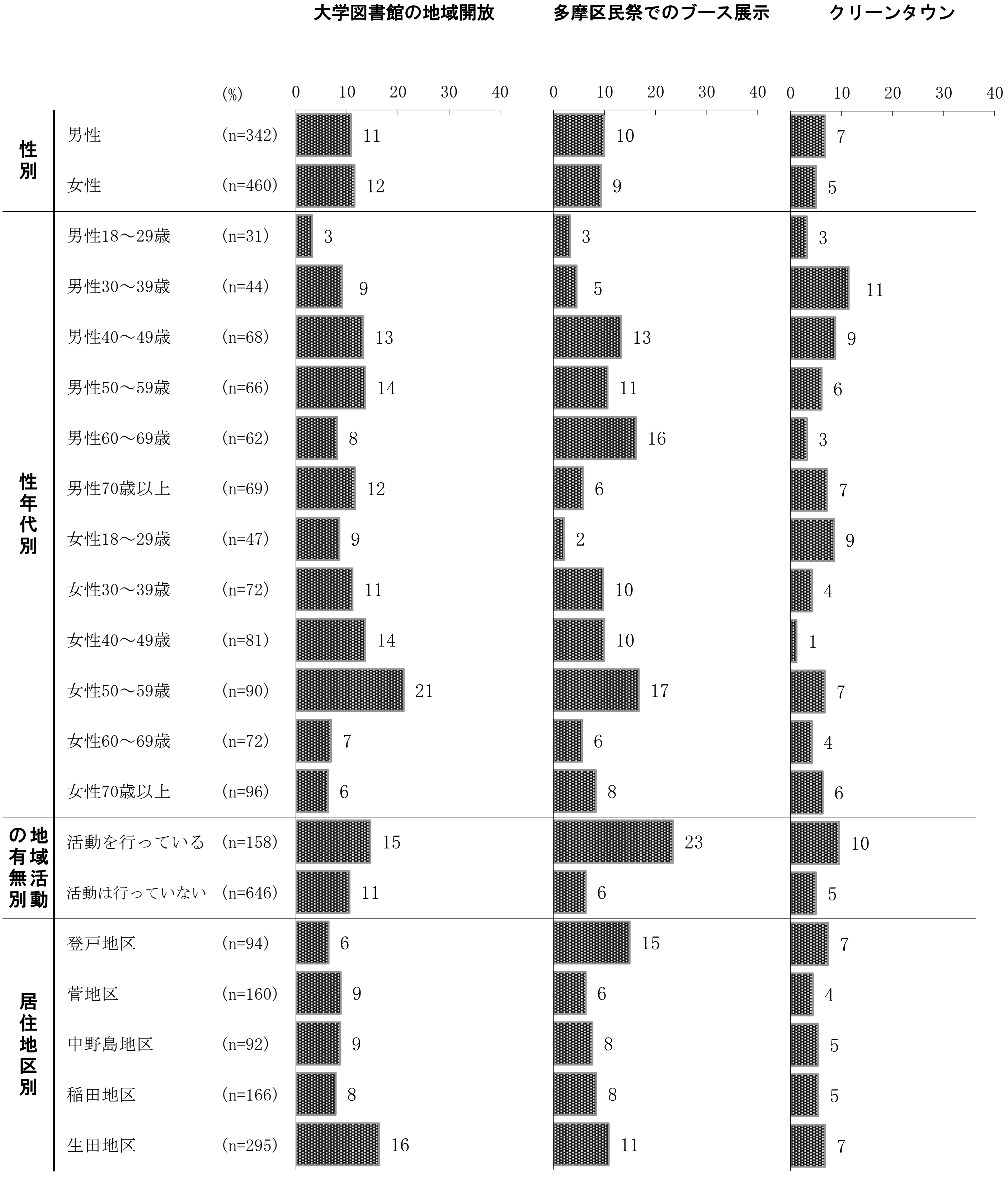

「知っている３大学関連イベント」について聞いたところ、「知ってる取組・イベントはない」が46.3％と最も高い結果となった。次いで「各大学公開講座」(17.1％）、「多摩区３大学コンサート」（15.1％）、「多摩区民祭でのステージ公演」（11.8％）、「大学図書館の開放」（11.1％）の順となった。

## 図 ２８－２　知っている３大学関連イベント ①
## ＜上位６項目＞（性別・性年代別・地域活動の有無別・居住地区別）




「各大学公開講座」の居住地区別では、菅地区と生田地区が他地区よりも高い結果となった。また、地域活動の有無別では、「活動を行っている」が「活動を行っていない」より10ポイント以上高い結果となった。

## 図 ２８－３　知っている３大学関連イベント ②
## ＜上位６項目＞（性別・性年代別・地域活動の有無別・居住地区別）



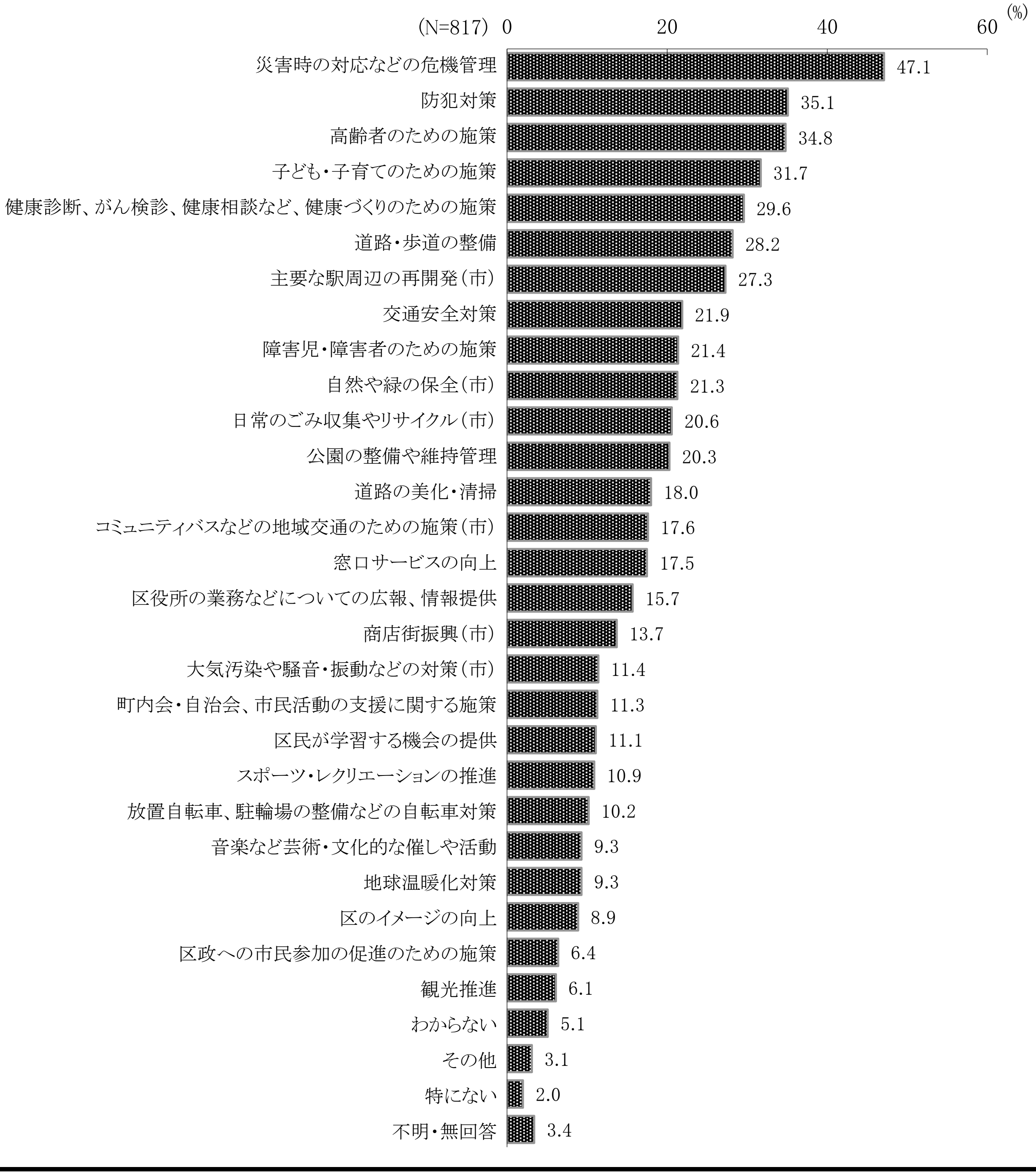

「大学図書館の地域開放」の性年代別では、女性50～59歳が他の性年代に比べて高い結果となった。また、居住地区別では、生田地区が他地区と比較して高い結果となった。

## ２９．区役所が力をいれて取り組むべき施策

問22　川崎市では、地域の課題はできるだけ身近な区役所で解決することができるよう、区役所改革を推進しています。区民に身近な区役所が速やかに力を入れて取り組むべき施策は何であると考えますか。（あてはまるものすべてに○）

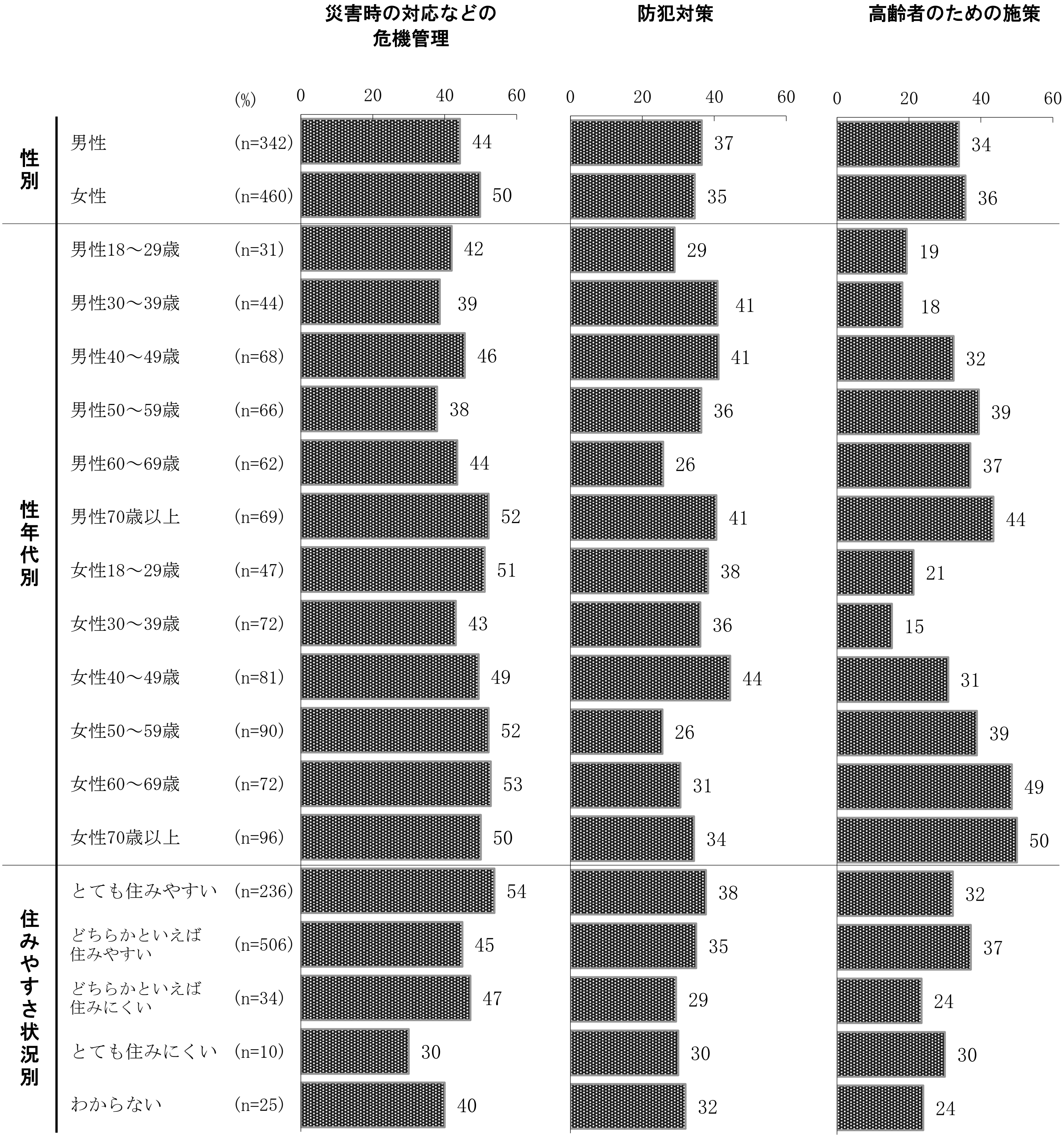
※項目の後ろに（市）とあるものは、現時点で主に市役所を中心として進めているもの

**図 ２９－１　区役所が力をいれて取り組むべき施策**



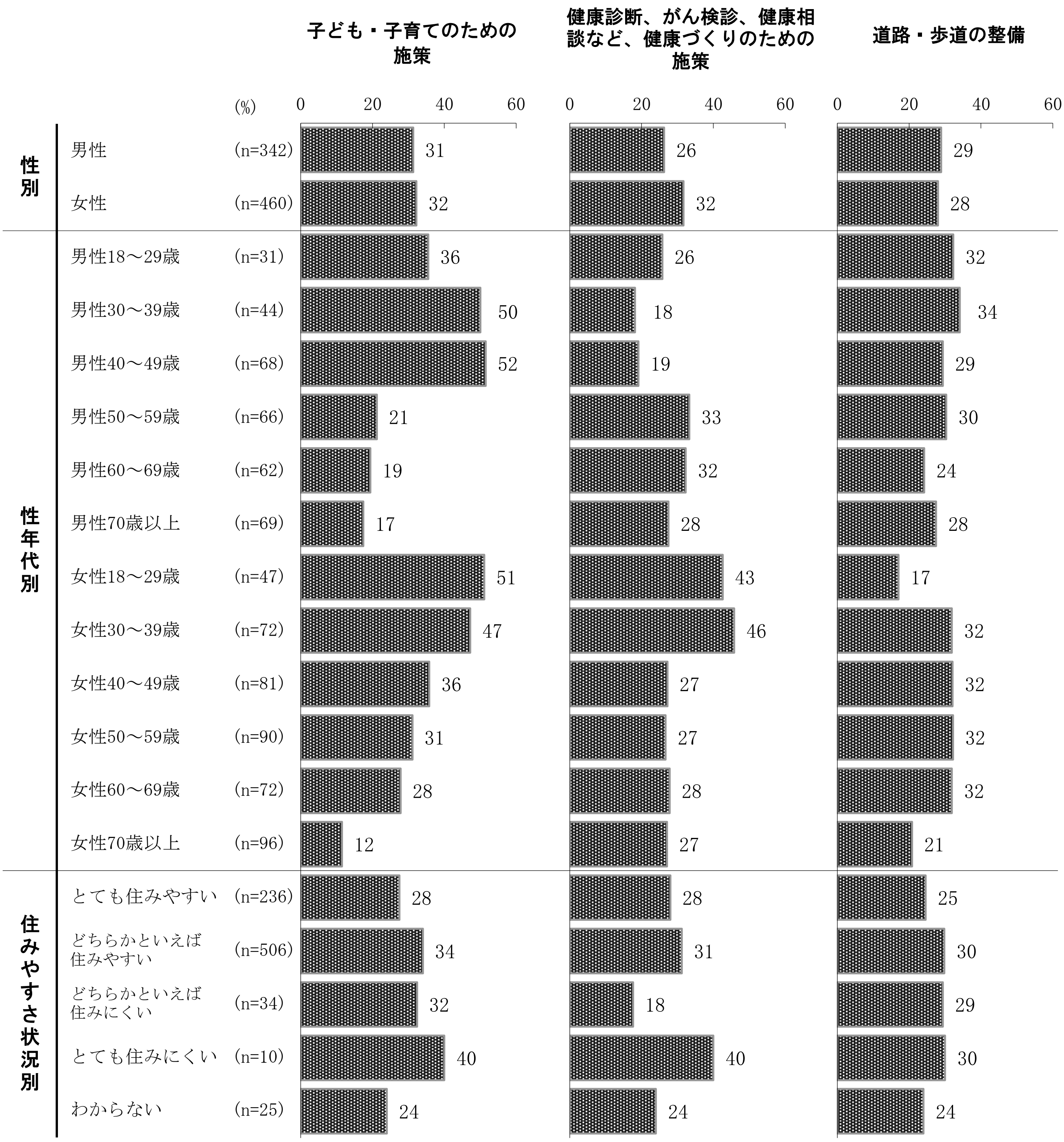

区役所が力をいれて取り組むべき施策について聞いたところ、「災害時の対応などの危機管理」（47.1％）が最も高い結果となり、次いで「防犯対策」（35.1％）、「高齢者のための施策」（34.8％）の順となった。

## 図 ２９－２　区役所が力をいれて取り組むべき施策 ①
## ＜上位９項目＞（性別・性年代別・住みやすさ状況別）




「災害時の対応などの危機管理」について、性年代別では男性70歳以上、女性18～29歳、女性50歳以上が半数以上となり、高い結果となった。
「高齢者のための施策」では、男女ともに年代が上昇するにつれて増加する傾向があり、特に女性70歳以上で半数を占める結果となった。

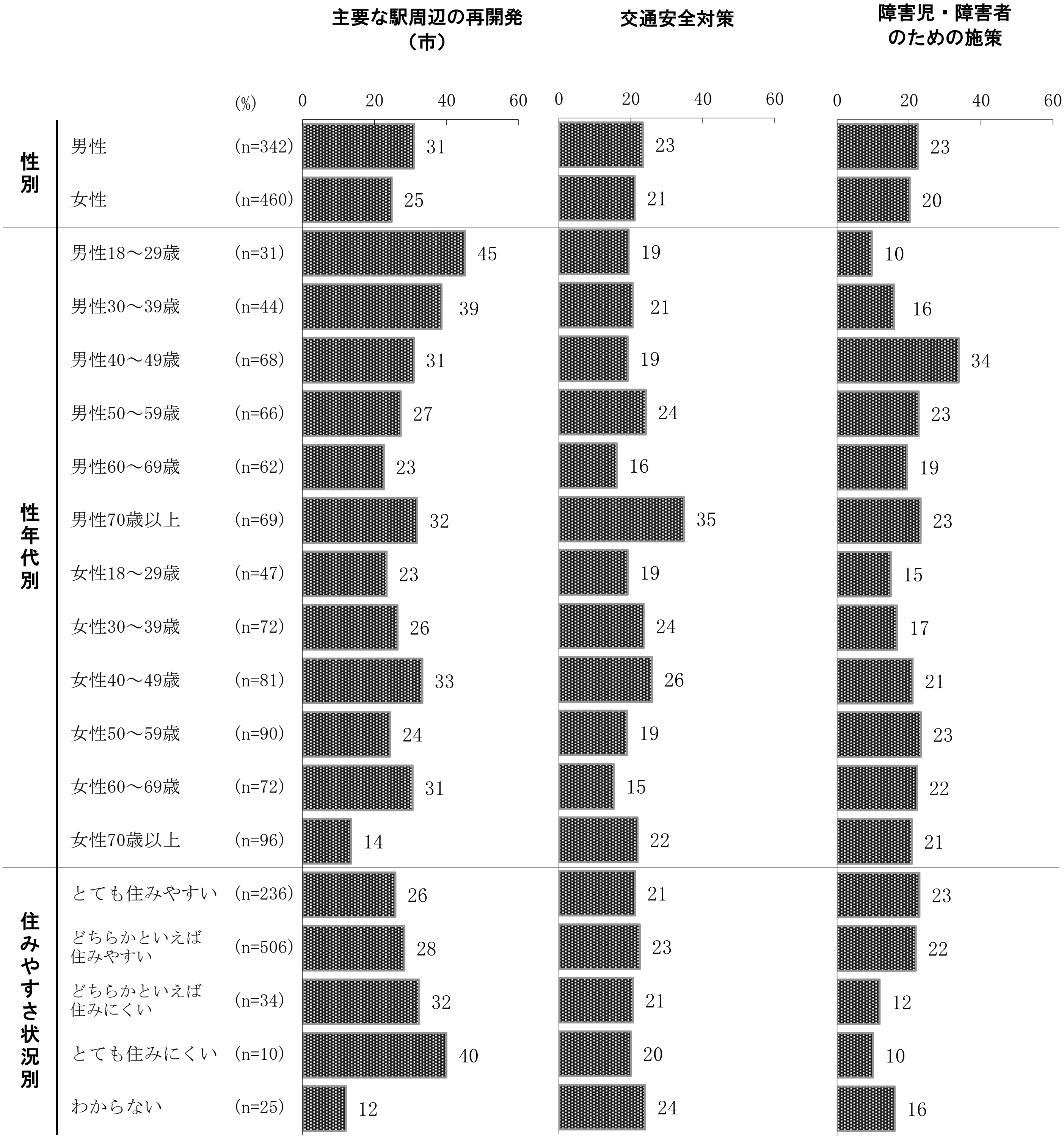
## 図 ２９－３　区役所が力をいれて取り組むべき施策 ②
## ＜上位９項目＞（性別・性年代別・住みやすさ状況別）




「子ども・子育てのための施策」では、特に女性において、年代が下がるにつれて増加する傾向が見られた。

「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」では、性年代別の女性18～39歳で40％を超え、高い結果となった。

**図 ２９－４　区役所が力をいれて取り組むべき施策 ③**
**＜上位９項目＞（性別・性年代別・住みやすさ状況別）**




「主要な駅周辺の再開発（市）」では、住みやすさ状況別で「とても住みにくい」が40％で最も高く、次いで「どちらかといえば住みにくい」が32％と段階的に差が出る結果となった。

「交通安全対策」では、男性70歳以上が35％で、他の性年代と比較して最も高い結果となった。

# Ⅳ. 調 査 票

# 多摩区区民意識アンケート調査への御協力について（お願い）

日頃から、多摩区の行政に御理解、御協力をいただき誠にありがとうございます。
多摩区役所では、区民の皆様が普段多摩区について感じていることや、地域でのボランティア活動などに関する意識などについてお聞きし、今後の取組の基礎資料とすることを目的として、区民意識アンケートを実施することといたしました。

今回の調査にあたり、調査対象者として、多摩区内にお住まいの２，０００人の皆様を、満１８歳以上の方から統計的な方法（外国人を含む住民基本台帳から無作為抽出）で選ばせていただきました。お忙しいところ恐れ入りますが、本調査の趣旨を御理解いただき、可能な限りで構いませんので御協力くださいますようお願いいたします。

◆ この調査は、行政上の基礎資料として活用します。他の目的に使用することは決してありません。
◆ この調査は無記名調査です。あなたのお名前や御住所を書いていただく必要はありません。
◆ この調査の結果は、すべてコンピューターで一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられますので、個々のお答えの調査内容や皆様の個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

◎あて名の御本人がアンケートにお答えください。
◎お答えは、当てはまる答えの番号を○で囲んでいただくか、番号を御記入いただきます。
○の数は、各問の指示に従ってください。「その他」に当てはまる場合は、（ ）内に具体的にその内容を御記入ください。
◎各問のお答えについては、あなたが日頃感じていることをありのままにお答えください。
◎御記入いただいたアンケートは、**１１月２１日（月）**までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、投函してください。
◎アンケートの結果は、市政だより多摩区版、多摩区のホームページなどでお知らせいたします。

平成２８年１０月

多摩区長　中村孝也

◆本調査について、御不明な点がありましたら、調査担当課までお問い合わせください。
なお、区のホームページにもお知らせを掲載しています。
http://www.city.kawasaki.jp/tama/

調査担当課　多摩区役所まちづくり推進部企画課
〒214-8570　川崎市多摩区登戸１７７５番地１
電話　：０４４－９３５－３１４７
ＦＡＸ：０４４－９３５－３３９１
メール：71kikaku@city.kawasaki.jp

## ■　生活環境の満足度について

あなたがお住まいの多摩区について、普段感じていることなどについて
お伺いします。

**問１　あなたが多摩区の長所・魅力と思っているものは何ですか。（いくつでも○）**

１．公共交通の利便性がよい
２．買い物や銀行、病院など日常生活の利便性がよい
３．教育・文化環境がよい
４．住環境がよい
５．治安や風紀がよい
６．自然環境がよい
７．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問２　あなたにとって多摩区はどの程度住みやすいですか。（○は１つだけ）**

１．とても住みやすい
２．どちらかといえば住みやすい
３．どちらかといえば住みにくい
４．とても住みにくい
５．わからない

**問３　あなたは多摩区に住み続けたいと思いますか。（○は１つだけ）**

１．多摩区内に住み続けたい ──→ 次ページ問4へ
２．多摩区以外の川崎市内に住みたい ──→ **問3-1へ**
３．川崎市外に転居したい ──→ **問3-1へ**
４．わからない ──→ 次ページ問4へ

**【問３で「２．多摩区以外の川崎市内に住みたい」「３．川崎市外に転居したい」のいずれかに答えた方にお伺いします。】**

**問3-1　その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**

１．通勤・通学が不便だから
２．買い物が不便だから
３．住宅事情がよくないから
（家賃が高い、家が狭いなど）
４．住環境がよくないから
（日照、騒音、治安など）
５．医療環境がよくないから
６．保育環境がよくないから
７．介護環境がよくないから
８．子どもの教育のため
９．その他（　　　　　　　　　　　　　）

**【全員の方へ】**

問４　多摩区はあなたにとって、以下の項目に関してどの程度あてはまりますか。
あてはまると感じるものをお選びください。（〇は各項目で１つだけ）
（「非常に当てはまる」を10、「まったく当てはまらない」を１として10段階）

**回 答 例**

非常に当てはまる　　　　まったくに当てはまらない

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １０ | 9 | 8 | 7 | (6) | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

（ア）多摩区に愛着を持っている

非常に当てはまる　　　　まったくに当てはまらない

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １０ | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

（イ）多摩区の細部まで熟知している

非常に当てはまる　　　　まったくに当てはまらない

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １０ | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

（ウ）多摩区に誇りを持っている

非常に当てはまる　　　　まったくに当てはまらない

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １０ | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

（エ）多摩区について自慢にしたいことがいくつもある

非常に当てはまる　　　　まったくに当てはまらない

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １０ | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

（オ）自分は多摩区に貢献している

非常に当てはまる　　　　まったくに当てはまらない

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １０ | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

問５　多摩区の生活環境についてお伺いします。次にあげる項目についてどの程度満足していますか。（○はそれぞれ１つずつ）

| | 満足している | まあ満足している | 少し不満である | 不満である | わからない |
|---|---|---|---|---|---|
| **回　答　例** | 1 | ② | 3 | 4 | 5 |
| （ア）地震・火災・風水害などの災害に対する安心感 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| （イ）風紀上・防犯上の安心感 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| （ウ）交通事故・危険物からの安心感 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| （エ）空気や自然のきれいさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| （オ）家の周りの静けさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| （カ）公園や緑の豊かさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| （キ）通勤・通学の便利さ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| （ク）買い物の便利さ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| （ケ）病院や医院までの距離 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| （コ）休日、夜間などの救急医療体制の充実度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| （サ）市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| （シ）市や区の窓口サービス | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問６　市政について総合的にお伺いします。次にあげる仕事の中で、よくやっていると思われるものは、どれですか。（あてはまるものすべてに○）

問７　また、今後特に力を入れてほしいとお考えのものは、どれですか。（あてはまるものすべてに○）

| | 回答例 | 問６ よくやっていると思うもの | 問７ 今後特に力を入れてほしいもの |
|---|---|---|---|
| 1．海外姉妹都市との国際交流事業 | 1 | 1 | 1 |
| 2．行財政改革 | 2 | 2 | 2 |
| 3．市や区の仕事などについての情報提供 | ③ | 3 | 3 |
| 4．市政への市民参加の促進のための施策 | 4 | 4 | 4 |
| 5．地域の問題が解決できるような区役所機能の強化 | 5 | 5 | 5 |
| 6．防犯対策 | 6 | 6 | 6 |
| 7．交通安全対策 | ⑦ | 7 | 7 |
| 8．美術館、各種ホールなど文化施設の整備 | 8 | 8 | 8 |
| 9．映画祭、国際会議など文化的な催しや活動 | 9 | 9 | 9 |
| 10．女性の地位向上のための施策 | 10 | 10 | 10 |
| 11．中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策 | 11 | 11 | 11 |
| 12．観光推進、シティーセールス（都市イメージの向上） | 12 | 12 | 12 |
| 13．道路、公園、広場の美化・清掃 | 13 | 13 | 13 |
| 14．公園の整備や維持管理 | 14 | 14 | 14 |
| 15．自然や緑の保全 | ⑮ | 15 | 15 |
| 16．大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策 | 16 | 16 | 16 |
| 17．日常のごみ収集やリサイクル | 17 | 17 | 17 |
| 18．子どものための施策 | 18 | 18 | 18 |
| 19．高齢者のための施策 | 19 | 19 | 19 |
| 20．障害者のための施策 | 20 | 20 | 20 |
| 21．病院、診療所の整備や救急医療体制の整備 | 21 | 21 | 21 |
| 22．健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策 | 22 | 22 | 22 |
| 23．市営住宅の建設・整備 | 23 | 23 | 23 |
| 24．主要な駅周辺の再開発 | 24 | 24 | 24 |
| 25．河川の整備 | 25 | 25 | 25 |
| 26．下水道の整備 | 26 | 26 | 26 |
| 27．道路・歩道の整備 | 27 | 27 | 27 |
| 28．放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策 | 28 | 28 | 28 |
| 29．市民が親しむことのできる港湾の整備 | 29 | 29 | 29 |
| 30．水道水の安定供給 | 30 | 30 | 30 |
| 31．バスなどの交通網の整備 | 31 | 31 | 31 |
| 32．消防力の強化や防災体制の整備 | 32 | 32 | 32 |
| 33．市民が学習する機会や施設の整備 | 33 | 33 | 33 |
| 34．スポーツ・レクリエーションの施設整備 | 34 | 34 | 34 |
| 35．小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策 | 35 | 35 | 35 |
| 36．わからない | 36 | 36 | 36 |
| 37．特にない | 37 | 37 | 37 |

問８　川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。（○は１つだけ）

| | | |
|---|---|---|
| 1．満足している | 3．少し不満である | 5．わからない |
| 2．まあ満足している | 4．不満である | |

## ■　市政への参加、地域でのボランティア活動などについて

川崎市では、「誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり」を基本政策の１つとし、市民と行政の情報共有、参加、協働を基本としながら、市民が主体となり、多様な人々が生涯にわたって生きがいを感じ、共に認め合い、支え合いながら個性と能力を発揮することができる地域づくりを目指しています。

今後も、町内会・自治会活動の活性化を促進するとともに、地域で活躍する団体、企業、大学など多様な主体との連携・協働による地域課題の解決に向けた取組を進めていきます。

町内会・自治会や市民活動団体での取組など、皆様の地域でのボランティア活動などへの参加状況や考え方についてお伺いします。

問９　あなたは、地域のボランティア活動、サークル活動などを行っていますか。（○は１つだけ）

１．活動を行っている　──→ **問9-1へ**
２．活動は行っていない ──→ **次ページ問9-2へ**

**【問９で「１．活動を行っている」と答えた方にお伺いします。】**

問9-1　あなたが地域で活動している団体（グループや個人の活動も含む）の活動分野をお選びください。（あてはまるものすべてに○）

１．町内会・自治会に関係する活動
２．子育てや教育に関係する活動
３．地域のまちづくりに関係する活動
４．防犯・防火に関係する活動
５．交通安全に関係する活動
６．福祉や健康増進に関係する活動
７．街の美化や緑化、生活環境に関係する活動
８．文化、観光、産業振興に関係する活動
９．スポーツ振興に関係する活動
10．趣味や余暇をいかした活動
11．環境保全に関する活動
12．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

→ ９ページの問10へ

**【前ページ問９で「２．活動は行っていない」と答えた方にお伺いします。】**

**問9-2　あなたが地域でのボランティア活動などを行っていない理由をお選びください。（あてはまるものすべてに○）**

１．仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため
２．地域で活動するきっかけがないため
３．地域での活動に関心がないため
４．地域での付き合いがわずらわしいため
５．地域での活動に参加する体力がないため
６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**【引き続き、前ページ問９で「２．活動は行っていない」と答えた方にお伺いします。】**

**問9-3　あなたが地域でのボランティア活動を始めるきっかけとして、どのような機会や場が必要と思いますか。（あてはまるものすべてに○）**

１．新しく地域活動を始めるきっかけとなるような講座や活動体験会等の開催
２．地域での活動を紹介するイベントの開催
３．地域での活動を紹介する資料の閲覧や相談の場
４．インターネット等での地域での活動の情報紹介
５．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**【引き続き、前ページ問９で「２．活動は行っていない」と答えた方にお伺いします。】**

**問9-4　地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのようなかたちで地域で活動をしたいですか。（あてはまるものすべてに○）**

１．自分の住んでいる地域で貢献できる活動をしたい
２．市民館などの公共施設で生涯学習に関する活動に取り組みたい
３．区役所が市民と協働で取り組む事業に参加したい
４．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
５．地域でのボランティア活動などには参加したくない

**【引き続き、前ページ問９で「２．活動は行っていない」と答えた方にお伺いします。】**

問9-5　地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのような分野に関心がありますか。次の中から**３つ以内**で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は３つまで）

１．町内会・自治会に関係する活動
２．乳幼児に関する活動
３．小中学生に関する活動
４．青年に関する活動
５．外国籍市民に関する活動
６．知識・技能を地域に活かせる活動
７．教育・生涯学習に関する活動
８．地域のまちづくりに関係する活動
９．防犯・防火に関係する活動
10．交通安全に関係する活動
11．介護に関する活動
12．障害者に関する活動
13．地域での健康づくりに関する活動
14．街の美化や緑化、生活環境に関係する活動
15．文化、観光、産業振興に関係する活動
16．スポーツ振興に関係する活動
17．趣味や余暇をいかした活動
18．環境保全に関する活動
19．その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

**下の枠内に番号を１つずつ、３つまで記入してください。**

☐
☐
☐

**【全員の方へ】**

問10　あなたは、町内会・自治会に加入していますか。（〇は１つだけ）

| |
|---|
| １．加入している ――――▶ 次ページ問11へ<br>２．加入していない ――――▶ 問10-1へ |

**【問10で「２．加入していない」と答えた方にお伺いします。】**

問10-1　あなたが町内会・自治会に加入していない理由をお選びください。
（あてはまるものすべてに〇）

| |
|---|
| １．加入するきっかけがない<br>２．加入しなくても日常生活に支障がない<br>３．仕事や子育て、介護等で忙しく時間がない<br>４．加入の仕方がわからない<br>５．会費の支払いに負担を感じる<br>６．いろいろな役をやるのが負担に感じる<br>７．町内会・自治会の地域活動に関心がない<br>８．隣近所とのつきあいがわずらわしい<br>９．町内会・自治会以外で地域活動を行っている<br>10．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）<br>11．特にない |

**【全員の方へ】**

問11　区民（ＮＰＯや市民活動団体などを含む）と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うものは何ですか。次の中から**３つ以内で**番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は３つまで）

１．防犯対策
２．交通安全対策
３．文化・芸術活動の振興
４．商業の振興
５．観光推進、シティーセールス（区のイメージ向上）
６．道路、公園、広場の美化・清掃
７．公園の活用や維持管理
８．自然や緑の保全
９．ごみの分別やリサイクル
10．子どものための施策
11．高齢者のための施策
12．障害者のための施策
13．健康づくりのための施策
14．放置自転車対策
15．消防力の強化や防災対策
16．市民が学習する機会の増加や内容の充実
17．スポーツ・レクリエーションの促進
18．シニア世代の積極的な社会活動の促進
19．若者の積極的な社会活動の促進
20．温暖化防止に関する施策（緑のカーテンや節電など）
21．近隣住民同士のコミュニティ活性化
22．市民活動団体の活動の促進
23．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）
24．わからない
25．特にない

**下の枠内に番号を１つずつ、３つまで記入してください。**

## ■　区役所が推進する主な取組について

## 地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりについてお伺いします。

**問12　多摩区内のどの見どころを他人に薦めたいと思いますか。次の中から３つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は３つまで）**

1．生田緑地
2．生田緑地ばら苑
3．稲田公園
4．小沢城址
5．川崎国際生田緑地ゴルフ場
6．川崎市岡本太郎美術館
7．川崎市多摩スポーツセンター
8．川崎市伝統工芸館
9．川崎市立日本民家園
10．川崎市農業技術支援センター
11．川崎市 藤子・Ｆ・不二雄ミュージアム
12．川崎市緑化センター
13．かわさき宙(そら)と緑の科学館
14．廣福寺
15．菅郷土資料館
16．諏訪社
17．多摩川
18．二ヶ領せせらぎ館
19．二ヶ領用水宿河原線沿い
20．登戸稲荷社
21．枡形城址
22．明治大学平和教育登戸研究所資料館
23．妙楽寺
24．薬師堂
25．よみうりランド
26．その他（　　　　　　　　）

下の枠内に番号を１つずつ、３つまで記入してください。

**問13　あなたは「ピクニックタウン多摩区」という言葉を知っていますか。（○は１つだけ）**

1．聞いたことがあり、内容についても知っている
2．聞いたことはあるが、内容については知らない
3．聞いたこともない

**問14　「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」が近付いていますが、この大会に向けて、多摩区としてどのような取組が必要だと思いますか。次の中から２つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は２つまで）**

1．防犯対策などの安全面の向上
2．地域におけるスポーツの振興（スポーツ大会、イベントの開催、指導者の養成）
3．障害がある人への理解や配慮の促進
4．区内の見どころの情報発信
5．区内の見どころへのアクセス向上
6．大会に関する情報発信、盛り上がるような雰囲気づくり
7．外国人観光客への誘致
8．案内表示やパンフレットなどの多言語化
9．その他（　　　　　　　　　　　　　）
10．わからない
11．特にない

下の枠内に番号を１つずつ、２つまで記入してください。

## 地域福祉・健康のまちづくりについてお伺いします。

**問15　誰もが住み慣れた地域や場所で安心して暮らし続けるため、医療、看護、介護、福祉・生活支援が切れ目なく一体的に提供される仕組みと地域づくりの取組である「地域包括ケアシステム」を知っていますか。（○は１つだけ）**

１．よく知っている
２．ある程度知っている
３．聞いたことはある
４．知らない

**問16　「地域包括ケアシステム」で取り組むべきだと思うものは何ですか。（○はいくつでも）**
※地域包括ケアシステムの概要については裏面に記載がございます。

１．子育て支援
２．高齢者支援
３．障害者支援
４．健康づくり
５．生活上の安心・安全
６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
７．わからない
８．特にない

**問17　あなたの近所付き合いの程度についてお伺いします。（○は１つだけ）**

１．家族のように親しく付き合っている
２．家に行き来したり、親しく話をする
３．親しく話をする
４．ときどき話をする程度
５．あいさつをする程度
６．ほとんど付き合いがない

**問18　困ったとき、近所にちょっとした手助けを頼める人はいますか。（○は１つだけ）**

１．いる
２．いない

問19　多摩区では、健康づくりや仲間づくりを目的に、身近な地域で「みんなの公園体操」・「いきいき体操」・「健康ウオーク」などが行われています。
これらの活動に参加したことがありますか、また参加したいと思いますか。
（○は１つだけ）

１．参加したことがある
２．参加したことはないが、ぜひ参加してみたい
３．参加したことはないが、きっかけや時間があれば参加してみたい
４．参加したことはないし、参加したくない
５．わからない

問20　多摩区役所では、増加する認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守るために、認知症サポーター養成講座を行っています。この講座を受講したことがありますか、また、受講したいと思いますか。（○は１つだけ）

１．受講したことがある
２．受講したことはないが、ぜひ受講してみたい
３．受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい
４．受講したことはないし、受講したくない
５．わからない

**地域包括ケアシステムとは・・・？**

**●地域の実情に応じて、**
「介護・医療・予防・住まい・生活支援・福祉」等が切れ目なく一体的に提供される体制のことです。

**●これを実現するためには、**
自分自身のケア（自助）、みんなの支え合い（互助）、社会保険制度（共助）、行政サービス（公助）による取組が必要です。

**●こうした取組は、**
住民をはじめ、事業者や町内会・自治会などの地縁組織、ボランティア団体、行政などが、一体となって、地域全体で取組を推進していくことが重要です。

## 市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりについてお伺いします。

**問21　多摩区には、専修、明治、日本女子の3つの大学が立地しています。**
**これまで、さまざまな取組を通して、大学の持つ知的資源や多彩な人材を活用し、大学と地域社会との交流連携を深めてきました。**
**あなたが知っている大学・大学生が関連したイベントや取組などはありますか。（あてはまるものすべてに○）**

1．３大学知的探訪
2．多摩区３大学コンサート
3．大学図書館の地域開放
4．大学・地域連携事業
5．書き損じハガキの回収
6．多摩区民祭でのブース展示
7．多摩区民祭でのステージ公演
8．箱根駅伝出場校への応援メッセージ募集
9．各大学公開講座
10．ジモカツ（大学生による地元活動への参加活動）
11．クリーンタウン（向ヶ丘遊園駅周辺や多摩川の清掃活動）
12．多摩区子ども探求クラブ
13．その他（　　　　　　　　　　　　　）
14．知ってる取組・イベントはない

## 区役所が力をいれて取り組むべき施策について

**問22　川崎市では、地域の課題はできるだけ身近な区役所で解決することができるよう、区役所改革を推進しています。区民に身近な区役所が速やかに力を入れて取り組むべき施策は何であると考えますか。（あてはまるものすべてに○）**
※項目の後ろに（市）とあるものは、現時点で主に市役所を中心として進めているもの

1．区役所の業務などについての広報、情報提供
2．区政への市民参加の促進のための施策
3．町内会・自治会、市民活動の支援に関する施策
4．災害時の対応などの危機管理
5．防犯対策
6．交通安全対策
7．音楽など芸術・文化的な催しや活動
8．商店街振興（市）
9．観光推進
10．区のイメージの向上
11．窓口サービスの向上
12．道路の美化・清掃
13．公園の整備や維持管理
14．自然や緑の保全（市）
15．地球温暖化対策
16．大気汚染や騒音・振動などの対策（市）
17．日常のごみ収集やリサイクル（市）
18．子ども・子育てのための施策
19．高齢者のための施策
20．障害児・障害者のための施策
21．健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策
22．主要な駅周辺の再開発（市）
23．道路・歩道の整備
24．放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策
25．コミュニティバスなどの地域交通のための施策（市）
26．区民が学習する機会の提供
27．スポーツ・レクリエーションの推進
28．わからない
29．その他（　　　　　　　　　　　）
30．特にない

## ■　あなた自身のことについて

## このアンケートの統計分析に必要なため、次の項目についてお伺いします。

問23　あなたの性別をお聞かせください。（○は１つだけ）

１．男性　　２．女性

問24　あなたの年齢をお聞かせください。（○は１つだけ）

| | | |
|---|---|---|
| １．18～19歳 | ６．40～44歳 | 11．65～69歳 |
| ２．20～24歳 | ７．45～49歳 | 12．70～74歳 |
| ３．25～29歳 | ８．50～54歳 | 13．75歳以上 |
| ４．30～34歳 | ９．55～59歳 | |
| ５．35～39歳 | 10．60～64歳 | |

問25　あなたの現在の職業をお聞かせください。（○は１つだけ）

１．自営業
２．家族従業（家業手伝い）
３．勤め（全日）
４．勤め（パートタイム）

→ 問25-1へ

５．内職
６．主婦・主夫（家事専業）
７．学生
８．無職（収入が年金のみの方を含む）
９．その他（　　　　　　　　　　）

→ 次ページ問26へ

**【問25で「１．自営業」「２．家族従業（家業手伝い）」「３．勤め（全日）」「４．勤め（パートタイム）」のいずれかに答えた方にお伺いします。】**

問25-1　お仕事の内容を具体的にお聞かせください。（○は１つだけ）

| 自営業、家族従業の方（１～３の中からお選びください） | 勤め（全日／パートタイム）の方（４～８の中からお選びください） |
|---|---|
| １．農林漁業 | ４．経営・管理職 |
| ２．商工サービス業 | ５．専門・技術職 |
| ３．自由業 | ６．事務職 |
| | ７．技能・労務職 |
| | ８．販売・サービス職 |

**【全員の方へ】**

**問26　お勤め先あるいは通学先はどちらですか。（○は１つだけ）**

| | |
|---|---|
| １．川崎市内（多摩区） | ５．東京都（23区内） |
| ２．川崎市内（多摩区以外） | ６．東京都（23区以外） |
| ３．横浜市 | ７．その他（　　　　　　　　　　） |
| ４．神奈川県内（川崎市・横浜市以外） | ８．通勤・通学していない |

**問27　あなたのお住まいをお聞かせください。（○は１つだけ）**

| | | |
|---|---|---|
| １．生田１～３丁目 | 10．菅１～６丁目 | 19．東三田２丁目 |
| ２．生田４～８丁目 | 11．堰１～３丁目 | 20．布田 |
| ３．宿河原１～７丁目 | 12．中野島 | 21．枡形１～７丁目 |
| ４．菅稲田堤１～３丁目 | 13．中野島１～６丁目 | 22．栗谷１～４丁目 |
| ５．菅北浦１～５丁目 | 14．長尾１～７丁目 | 23．寺尾台１～２丁目 |
| ６．菅城下 | 15．登戸 | 24．長沢１～４丁目 |
| ７．菅仙谷１～４丁目 | 16．登戸新町 | 25．西生田１～５丁目 |
| ８．菅野戸呂 | 17．東生田１～４丁目 | 26．三田１～５丁目 |
| ９．菅馬場１～４丁目 | 18．東三田１、３丁目 | 27．南生田１～８丁目 |

**問28　あなたのお住まい（住居）は次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）**

| | |
|---|---|
| １．持ち家（一戸建て） | ５．借家（アパート・間借・下宿） |
| ２．持ち家（マンション・団地） | ６．社宅・寮・公務員社宅 |
| ３．借家（一戸建て） | ７．その他（　　　　　　　　　　） |
| ４．借家（マンション・団地・公営住宅） | |

**問29　あなたの世帯は何人家族ですか。御自分を含めた人数を（　）内に御記入ください。**
**また、ひとり暮らし以外の方は、同居している家族すべてに○をつけてください。**
**あなたからみた続柄でお答えください。**

あなたの世帯の人数（御自分を含む）・・・（　　　　　）人

| | | |
|---|---|---|
| 同居家族 | １．夫 | ７．兄弟、姉妹 |
| （ひとり暮らし以外の方） | ２．妻 | ８．孫 |
| | ３．父 | ９．父母の親（祖父母） |
| | ４．母 | 10．配偶者の兄弟、姉妹 |
| | ５．子ども | 11．配偶者の父母の親 |
| | ６．配偶者の父母 | 12．その他（　　　　　　　　） |

**問30　お子さんをお持ちの方にお伺いします。どの年代のお子さんがいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）**

| | | |
|---|---|---|
| 1．就学前 | 3．中学生 | 5．大学生 |
| 2．小学生 | 4．高校生 | 6．この年代の子どもはいない |

**問31　普段最寄り駅までどのような交通手段をご利用になりますか。（○は１つだけ）**

| | | |
|---|---|---|
| 1．徒歩 | 3．バイク（原付含む） | 5．自動車（送迎含む） |
| 2．自転車 | 4．バス | |

**問32　あなたは多摩区に住んで何年になりますか。（○は１つだけ）**

| | |
|---|---|
| 1．３年未満 | 3．10～20年未満 |
| 2．３～10年未満 | 4．20年以上 |

**問33　多摩区役所からのお知らせや情報をどのような手段で入手していますか。（あてはまるものすべてに○）**

1．市政だより
2．区（市）のホームページ
3．町内会・自治会の回覧板
4．地域の掲示板
5．新聞記事
6．地域情報紙（タウンニュースなど）
7．区役所等公共施設に設置されたポスター・パンフレット類
8．区役所から送られるお知らせ文書
9．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
10．特に多摩区役所からのお知らせや情報は入手していない

以上でアンケートは終了です。
御協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**１１月２１日（月）**までに御投函ください。

平成２９年３月発行

**平成28年度 多摩区区民意識アンケート調査 報告書**

調査主体　川崎市多摩区役所 まちづくり推進部 企画課
〒214-8570
神奈川県川崎市多摩区登戸１７７５－１
電話：044-935-3140

調査実施　株式会社　綜 合 企 画
〒111-0053
東京都台東区浅草橋１丁目７番２号 岩崎ビル４階
電話：03-5829-6203

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。
再生紙を使用しています。

Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市